

(第六章) 四課試業ノ法ヲ設ク、句讀、上、音訓朗暢意義明了ノ者、下、忘誤過多自思ヲ不得者。誦誦、上、隨問隨答一ノ遺漏ナキ者。下、誤脫アリ自カラ思テ不得者。習字、上、字畫端正運筆巧活ナル者。下、字畫不正運筆粗筆ナル者。算術、上、即題即答更ニ遺算ナキ者。下、遺算アリテ再勘不得者。

(第七章) 試業ノ階級上ヲ得ル者ハ一級ニ登シ、下ハ落第トシ猶其級ニ止メ熟業ノ上再試スベシ

(第八章) 上下二等ノ課程ヲ卒業スル時ニ方リ大試験アリ、當日令參事臨校掛官員諸教官從テ相試ミ、登第ノ者ハ其證憑ヲ與ヘ或ハ褒賞ヲ遺スコトアルベシ。但シ大試験ノ時ハ學事關係ノ員ハ勿論、其請求ニ依リテハ親族或ハ他官員ト雖トモ臨席スルコノアルベシ

(第九章) 小試験ハ一級通熟ノ後教師ヨリ願出スルヲ待テ之ヲ試ミ、進級ノ者ヘハ其等第幾級卒業ノ試験狀ヲ與フ

(第十章) 一日五時ヲ以テ正課ノ時限トス、(四月二日ヨリ八時上校、十月二日ヨリ九時上校)

(第十一章) 遊歩場ノ傍澡鹽ヲ設ケ不潔ノ生徒ハ洗嗽セシムベク、教場内ハ新鮮氣ヲ通シ平常ノ溫度ハ大抵華氏六十八九度以上ニ過ギザルヲ要ス

(第十二章) 年中休業日 一、毎月一六日 一、自一月一日至十五日 一、孝明天皇御祭日 一、紀元節 一、新年

祭日 一、神武天皇御祭日 一、大祓 一、天長節 一、新嘗祭日 一、自十二月二十五日至三十一日、右之外所ノ産神祭日

學齡兒童就學勸獎 明治八年七月七日「公立學校ノ儀ハ家塾私塾之比ニ無之ハ不俟論、然ルニ學校資本トシテ寄附金等モ有之、旁人民私有ノモノト誤認シ私情ヲ以テ派出之訓導ヲ好嫌シ、或ハ無謂苦情申立、或ハ會計ヲ錯亂シ、規則

ヲ等閑ニスル等ノ類間々有之趣、右ハ公立學校之名義ニ悖ルノミナラズ一般人心ノ向背且學校ノ盛衰ニ關シ甚以不都合ノ事ニ候」と論達シ、翌九年一月三十一日學齡兒童の就學方を示達する一面、其の四月一日には、明治六年十二月以前の設立に係る家塾の閉鎖を命じた。

教育之儀ハ從來數々相達置候處、各自其身ヲ立ツルノ大本ニシテ一日モ忽スベカラザル論ヲ俟タズ、故ニ於朝廷モ目今厚ク御注意被爲在候儀ニ付、人民タルモノ宜シク其御主意ヲ奉體シ、子弟ヲシテ勉メテ學ニ從事セシムベキハ勿論ニ候處、兎角舊習ニ泥ミ無謂苦情等申立子弟ヲシテ學ニ就カシメズ、且一時就學爲致居候者モ廢學同様更ニ上校不致者モ有之趣、右ハ御趣意ニ悖リ候而已ナラズ、父兄タル者愛育ノ情ニモ相悖リ甚不都合ノ事ニ候條、學齡内ノ者ハ勉メテ就學可爲致、若不得止事故アリテ就學難爲致者ハ其旨詳ニ學區取締ヘ可申出候、此段相達候事

小學生徒心得書 明治七年三月『小學生徒心得書』を布達した。

小學生徒心得書

一、生徒入學ノ上ハ校中ノ定規ニ從ヒ總テ訓導ノ指揮ニ背クベカラザル事

一、午前第八時上校午後二時二十分退校ノ事

一、學業ヲ勤ムルハ固ヨリ論ナク、禮節ヲ重ンジ粗暴ノ言行ヲ堅ク禁止ス、若シ怠惰過失等アルモノハ直ニ放黜セシムベキ事

ムベキ事

一、生徒上校セバ必ズ面々ノ名刺ヲ掛換ベキ事

一、正課中ハ安ニ他席ニ行クベカラザル事

- 一、修業中無用ノ雜談猥リナル所業無之諸事溫和ニシテ稚キ者ヲ侮リ輕シメ或ハ口論致ス間敷事
- 一、校内ノ器物ニ落書或ハ應答ナクシテ人ノ品物等妄ニ相用ヒ又ハ破損等致間敷事
- 一、上校退出共必ズ訓導ヘ禮節ヲ爲シ穩ニ昇降スベシ、途中ニテ惡振リタル遊戲等爲スベカラズ、休日遊歩ノ節モ同斷ノ事

一、上校歸宅ノ都度々々ニハ必ズ父兄ヘ告ゲ出入ノ禮節ヲ怠ルベガラザル事

一、傘履物等亂雜ニ致間敷事

一、病氣又ハ故アリテ不參ノ節ハ其旨學校届出ベキ事

右之件々急度相守ルベシ、此心得書ハ一枚宛相渡候條自宅ニ掲置猶父兄ヨリ此旨時々教示可致者也

明治八年二月九日、生徒の學業試験に關シ「生徒試験ノ儀ハ學術ノ進歩ニヨリ其都度可願出ノ處詮議ノ次第有之、自今壹年兩度ニ確定シ開業後六ヶ月ヲ經ル時ハ闔校ノ生徒同一ニ試験候條、其際必可願出此段相達候也、但年齡殊ニ長ジ或ハ學術優等ノ者ハ期限ヲ俟タズ、習卒スル時ハ其事實ヲ記シ臨時願書差出可申事」と、布達してゐる。

生徒賞與規則 從來學校兒童の卒業試験は、學區取締の擔任であつたが、明治八年一月十二日より北條縣教員傳習所教員と合議施行のことに改め、其の十八日『生徒賞與規則』を定めた。

第一條 褒賞ハ毎年六月十二日兩度ニ區分シ六ヶ月間皆勤ノ者タルベシ、但病氣或ハ事故アリテ六ヶ月間三日迄欠席ノ者ヘハ本文ニ準ジ賞與スベシ

第二條 賞與物品ノ代價ハ該校ノ定費ト區力ノ貧富ヲ斟酌シ出席ノ等差ニヨリ十錢以下五錢以上ノモノタルベシ

第三條 生徒出席ノ等差並賞與物品代價ノ高低ヲ記載シ毎年一月七月兩度ニ取調届出ベシ

第四條 生徒勲勵學術優等ノ者ヘハ定規ニ拘ハラズ觀察ノ上官費ヲ以テ臨時賞與スルコトアルベシ

書籍規則 明治八年二月二十日、「凡教育ヲシテ普及ナラシムルニハ書籍購求ノ法ヲ便ニスルヲ以テ要トス」との趣旨によつて『書籍規則』を定め、各小學校に於て小學教科書の賣却及び給貸方を差許した。

一、該校積金ノ内ヲ以テ日課書籍ヲ買入レ本人ノ望ニ依テ拂渡スベシ、若貧窶ニシテ一時ニ其代價ヲ納ムル能ハザル者ハ月割ニテ上納サスベシ

二、日課書籍ハ自辨勿論ナレドモ最貧窶ニテ之ヲ購求シ難キ者ニハ損料ヲ以テ貸渡スコトモアルベシ

三、月賦或ハ損料割ノ方法ハ書籍代價ノ高低ト本人ノ状態トニ依リ各校適宜ニ之ヲ設クベシ

四、書籍代價ヲ一時ニ納ムル能ハザル者ニハ左ノ書式ノ證書ヲ差出サスベシ(下略)

教員月俸規則 明治七年七月五日教員の派遣旅費を、「教員學校ニ赴ク時縣廳ヨリ里程二里ニ付金二十錢、夫ヨリ一里毎ニ拾錢ヲ加ヘ其學校ニ於テ辨給、二里未滿ハ支給セズ」と定め、其の九月に『小學教員月俸規則』を定めた。

一、諸教員月俸ハ毎月二十八日支給スルヲ定メトス、但シ免職轉任其他非常之事故アルトキハ此限ニアラズ

二、月俸ハ一月ヲ前後ニ分チ新任十五日前ニアルモノハ其全額ヲ給シ、十六日後ハ半額ヲ給ス

三、免職十五日前ニ在ル者ハ猶舊等ノ俸半額ヲ給シ、十六日後ハ其全額ヲ給スベシ

四、上下半ヶ月内ニ免職ノ者再任スルバ、前官ノ俸ハ勿論後官ノ俸ヲ併セ給ス、譬ヘバ十四日免職即日再任スルトモ前官ノ俸半額並後官ノ俸全額ヲ支給スルノ類ナリ

五、一月内再三轉任スレバ日割ヲ以テ相等ノ俸ヲ給ス、譬ヘバ十日ニ轉任スレバ十日分在職ノ校ニ於テ給シ二十日分新任ノ校ニ於テ給ス、若シ轉任昇給等ノ者ハ其増額モ亦日割ヲ以テ新任ノ校ニ於テ給スベシ

六、病氣其他不得止事故アリテ許可ヲ受ケ欠勤スル者七日ヲ超ルトキハ日割ヲ以テ支給スベシ、但七日以上ヲ經テ出勤スル者モ亦準之

七、訓導心得代員及ビ雇教師ハ新任轉免ニ拘ラズ日割ヲ以テ一切之ヲ支給スベシ

訓導心得會議 小學教育ノ普及と連絡を圖るために、明治九年一月十日『各小學訓導心得會議規則』を定めて、翌月より實施すると共に、毎月十七日を學區取締會議の定日とした。

各小學訓導心得會議規則

- 第一條 小學教育法一般畫一ナラシムルヲ旨トシ諸事協議ヲ盡スベシ
- 第二條 集會場並人員ハ其地勢ト里程ノ遠近ニ寄リ學區取締會議ノ上適宜之ヲ決定シ其旨届出ベシ
- 第三條 集會ノ日ハ毎月第一日曜前日タルベシ
- 第四條 議事ハ授業並勸誘ノ方法等總テ教育上ノ事ニ限り決テ職務外ノ事ニ論及スベカラズ
- 第五條 合議ノ際互ニ教護ヲ旨トシ溫言協議、敢テ我意ヲ主張シ激論暴言等ニ涉ルヲ禁ズ
- 第六條 教則校則其他一般ニ關係ノ事件ハ決議ノ次第詳細記載差出シ官ノ許可ヲ得ルニアラザレバ施行スベカラズ
- 第七條 議席ニ於テ無用ノ雜談並飲酒スルヲ禁ズ
- 第八條 議席ハ午前九時ニ開キ午後第三時ニ終ルベシ、尤議事ノ都合ニヨリ時間ノ伸縮ハ其適宜ニ任ス。但本日期

一 飯代價金七錢校費ヲ以テ給與ス、尤里程遠隔ノモノハ二飯代價金十四錢ヲ給與スベシ

二、中等教育

成器中學校 明治五年九月七日舊津山藩學問所修道館を、假りに變則中學校と爲し、後成器中學校と改稱したが、翌六年八月三十日に閉鎖した。

此校從來人民寄附金及民費ヲ以テ設立セシニ、寄附金ハ追日消耗ニ歸シ、且六年管下騷擾（五月廿六日西々條郡貞永寺村ヨリ頑民蜂起兇焰全縣ニ及ブ）ニ遭ヒ、學事ニ向フノ人心モ忽チ渙散シテ一朝之ヲ挽回シ難ク、永遠維持ノ方算立チ難シ。是ヲ以テ文部省ニ稟議シ委託金ヲ以テ校費ニ充ンコトヲ請シニ、中學設立ハ小學普及ノ後ニ屬スルモノニ付官立ハ不相成トノ指令アリ。八月十日猶又文部省ニ稟議シテ曰ク、抑學問ハ人生一日モ闕グベカラザルハ固ヨリ論ヲ不待、然リ而シテ舊縣學校廢止以來學制未立ノ際、生徒一般切望ノ景狀傍觀スルニ不忍、是ヲ以テ學校ヲ設立シ、傍未開ノ人民ニ學問ノ務ムベキヲ示サント欲シ、苦思焦慮縣官一同ヲ論シ月金ヲ割キ寄附セシメ、其他有志輩ヲ鼓舞勸誘シテ資金ヲ募リ、去年九月始メテ中學校ヲ開キ今日迄之ヲ維持セリ。其初志本省學資金ヲ確定シ之ヲ下附スルヲ待チ、益學事ヲ獎勵盛大ナラシメント欲スルニ在テ固ヨリ官立ノ心算ナリ。然ルニ今官立ノ聽許ヲ得ザレバ向來維持ノ方法烏有ニ歸シ、衆庶望ヲ失ヒ學事一般退歩ニ屬セリ、學制ノ程規ハ動スベカラズト雖モ、從前官資或ハ私費ヲ以テ他方ニ游學シ、即今其學力中學ニ入ルベキ者尠シトセズ、然ルニ小學普及ヲ俟テハ此輩腐心廢業スベシ。是ヲ以テ土地ノ現狀ニ因リ始ク適宜ノ施行ヲ允可アラントヲ請フ。八月廿三日ノ指令ニ曰ク、現今ノ處小學普及專一ニ付中學ニ官金ヲ遺拂フ儀ハ難聞届候條、從前ノ通民費ヲ以テ維持ノ儀可相立事、然ルニ即今維持ノ方算ナキヲ以テ遂ニ之

ヲ廢シ、教師及學區取締ノ職ヲ解ク（北條縣史）

三、師 範 教 育

北條縣教員傳習所 明治七年六月十二日、舊津山藩御對面所餘芳閣、其の他の館舎を校舎に充て、北條縣教員傳習所（明治九年四月閉鎖）を設けた。

方今各師範學校ニ於テ教員陶冶ノ法ヲ設クト雖モ、僅々ニシテ日本全國ノ小學ニ分派スベカラズ、故ニ傳習所ヲ設立致スベク督學ノ旨ニ基キ、今般當縣ニ於テモ新ニ傳習所ヲ開キ以テ教育ノ法ヲ盛シニセントス。而シテ教育ノ進否ハ專ラ教員ノ良否ニ關スルガ故ニ、生徒ニ官資ヲ附與シ以テ學術ヲ研究セシム、卒業ノ後ハ必ズ小學ニ奉事スベシ（明治七年七月定）

- 一、生徒ニ官資ヲ給與スルハ將來成業ノ目的アリテ官命ニ應ジ其職ニ從事スルヲ以テ主旨トス
- 二、傳習學校生徒ハ其年齡十八歳以上四十歳以下タルベシ、但シ學術優等ノ者ハ此限ニアラズ
- 三、生徒學術優等ノ者ト雖モ募集ノ期限ニ後ル者ハ切ニ加員スルヲ許サズ
- 四、新ニ入校スル生徒ハ盡ク之ヲ下等生トナシ、學術ノ進歩ニ由リテ上等生トナスベシ
- 五、體質壯健ニシテ已ニ天然痘或ハ種痘ナセシモノニ非ザレバ入校ヲ許サズ
- 六、上等生ハ下等教科ヲ卒業シテ學力アル者ニ非ザレバ之ヲ許サズ
- 七、上下二等卒業ノ上ハ試験ヲ遂ゲ學力ニ應ジテ何等訓導心得ノ辭令ヲ與ヘ小學ニ從事セシム
- 八、即今官資ヲ以テ給與スルモノハ書籍器械並食料トス、但シ書籍器械等ハ其級卒業ノ後ハ必ズ返納スベシ

九、卒業ノ上奉事ノ年限ハ一箇月間學資ヲ受ル者ハ六箇月間、二箇月間學資ヲ受ル者ハ九ヶ月間、餘ハ此比例ヲ以テ三ヲ加フベシ、但シ奉事中相當ノ給料ヲ與フルハ勿論タルベシ

一〇、生徒病變其他止ヲ得ザル事故アリテ退學スルモノハ官資支消ノ方法ヲ立テ願フベシ、其實事證議ノ上之ヲ許ス但シ償金ハ所費ノ學資ニ比例シ之ヲ課ス

一一、學資ハ日割ヲ以テ給シ病變或不得止事件ニテ一時歸宅下宿ヲ願フモノハ、當日ヨリ給與ヲ止メ再ビ歸校スルノ日ヨリ給付スベシ

學校設立保護之方法

當縣ニ於テ小學ヲ普及シ難キハ、目今教員ノ匱乏ニ因ルヲ以テ、昨七年六月本省ノ許可ヲ經テ縣下第十三中學區内山北村衆樂園中ノ館ヲ假師範學校トナシ以テ教員ヲ陶造ス。其費用ノ如キハ當分御委託金ノ内ヲ以テ充之、猶不足アリタルトキハ之ヲ民費ニ課賦ス、一ヶ年ノ費用ノ概額ハ、金七百八拾圓教員其他諸給料、金千二百九十六圓生徒食費、金三百三十六圓筆墨紙薪炭油諸雜費、金拾八圓營繕費、合計貳千四百三拾圓

教育派出規則

師範科授業科卒業ノ上學力ヲ試験シ及第ノ者ハ證書ヲ付與シ管内ニ派出セシムルヲ定規トス。然レドモ目今小學校頗ル盛ニ教員匱乏ノ際、其卒業ヲ待ツニ暇アラザルヲ以テ學力アルモノハ一時師範授業兩科ノ内緊要ノ處ヲ授ケ、更ニ學力ヲ試験シテ假ニ等級ヲ定メ以テ各小學ニ派出セシム

北條縣師範學校 明治八年六月十八日西北條郡衆樂園<sub>現津山市</sub>内の館舎を以て、北條縣師範學校に充て、傳習所ノ規模ヲ

擴張シ、益教員陶造ニ力ヲ用ヒ、逐次各所ニ派出ニ及ベキニ付、父兄タル者宜シク此意ヲ奉體シ、自ラ奮テ子弟ヲシテ必ズ學ニ從事セシムベキ様」にと示達した。

教科は、師範、授業の兩科にして、入學に關する要項は、「年齢十七歳以上、從學ハ一ケ年トシ六ケ月ニテ卒業セシムルコトモアリ、卒業後ハ一ケ年以上奉職ノ義務アルモノトス、學資ハ貸與トスルモ學力ノ進歩ニヨリ公費トス。」である。

翌九年六月三日津山師範學校、次いで其の八月二日岡山縣師範學校津山支校と改稱、校内に附屬小學校を置いた。

#### 四、育 教 行 政

學務課設置 『學制』頒布の明治五年八月、管内教育事務處理のため、縣廳庶務課に學務係を置き、同月二十四日戸長五名を學校係員に補し、更に翌六年一月九日戸長六名に學區取締を兼ねしめた。同七年一月より學區取締を増置すると共に、同月より學務擔任者をして、管内を巡回せしめ、興學の旨趣を懇諭し且學校設立の資金を募集せしめた。

當時ニ於テハ未ダ巡回教師等ノ如キ者ヲ置カズ、時々學務官員ヲ巡回ヲシメ、教員ノ品行、授業ノ良否、生徒ノ勤惰各學校ノ會計ヲ視察セシム。學區取締巡回一定ノ規則ナシ。唯時々引受區内ヲ巡回シ職制中ノ條項ヲ視察踐行ス。

小學生徒試験ハ毎年兩度定期試験ヲ設ケ、習熟ノ者ハ該級卒業ノ免狀ヲ與フ、若シ學術進歩持ニ速カナル者ハ臨時試験ヲ許ス。試験ノ法ハ一定ノ則ナシト雖モ、略金子尙政著述ノ試験法ニ依リ該校ノ教員自ラ之ヲ行フ、小試験ハ學區取締臨席シ、大試験ハ令參事學務官員並ニ學區取締臨席ノ上執行スルヲ定則トス（北條縣史）

明治八年四月二十一日、從來の學務係を學務課と改稱した。

學區内の事務處辨 學區内に於ける教育事務は、學區教育世話方の擔當と定めてゐたが、明治八年一月小學校世話掛と改稱、翌二月二十八日世話掛を廢止すると同時に、學區用掛をして事務に當らしむることとした。

小學校世話掛ノ儀ハ自今用掛リノ事務ト相心得、其學區内ニテ豈人宛順次相立、六ケ月毎ニ交替致シ萬事精細勘定取計、學區取締ノ檢印ヲ受ケ諸帳簿順次ノ者ヘ引渡可申候、此段相達候事

### 第三節 岡 山 縣

#### 一、學 事 一 班

明治九年の調査 現在の岡山縣は、舊岡山・小田・北條三縣を合併したもので、明治九年四月十八日を起原とする。従つて明治九年の學事現狀は、おそらく岡山縣最初の調査であらう。

#### 明治九年學事現狀（岡山縣ヨリ文部省報告書）

一、學區分合 全管ヲ八中學區ニ分チ人口六百乃至九百ヲ以テ一小學區トシ、總計千五百三十四小學區トス、立制以來分合無之、但學校建設ノ實際ニ至テハ土地ノ廣狹人口ノ疎密ニ因リ三小學區又ハ七八小學區ヲ聯ネ、或ハ一區ヲ割テ他ノ學區ニ屬セシムルアリ

一、生徒進歩ノ景況 學力漸次昇級シ上等小學ニ入ルモノ亦増加セリ、昨年現狀具陳ノ際登記セシ學級輕進ノ輩更ニ八級ヨリ溫習セシメシ者モ、稍練習熟現級ニ復シ、或ハ進級試験ヲ經タル者其半ニ居ル

一、教員養成ノ法 既ニ建設セシ溫知學校ヲ九年二月師範學校ト改稱シ、學科教則ハ官立師範學校ニ準據シ生徒二百

名ヲ以テ定員トシ、學級ヲ四等ニ分チ一級六ヶ月即チ在學凡二ケ年ト定メ、而シテ奉職亦二ケ年トス。然ルニ北條ノ合縣ニ遭遇シ、爾來該縣廳ヲ用ヒ、更ニ支學校ヲ建設シ生徒五十名ヲ定員トス。美作地方ノ如キハ教員匱乏授業整齊ナラザルヲ以テ、現今其速成ヲ要シ在學一年奉職モ亦一年トス。在學中ノ費用ハ本校生徒ハ筆墨雜品等自辨ニシテ、食料ノ内毎月金一圓以下ヲ官給トシ、以上ハ之ヲ貸與ス、奉職ノ上半途ニシテ退職スルモノハ月數ニ算シテ還償セシム。其支學生徒ハ優劣ヲ判シ甲乙二級ニ分チ官貸兩費トシ、而シテ貸費ハ職限内ニ總テ還償セシム、唯筆墨雜品ハ本校ノ如シ

一、本校内別ニ中學ヲ置キ其教官ハ英學ノ外總テ師範學校教師ヨリ勤務セシメ、年齡十四歲以上學力素養アルモノヲシテ入學セシメ、普通ノ學科ヲ授ケ之ヲ六級ニ分チ、每級六ヶ月在學三年ニシテ卒業セシム。此生徒凡百名ニ出入シ其費用ハ總テ自辨トス、津山支學中別ニ豫備生徒ヲ養成シ、學力師範學科ニ適スルヲ待テ本科ニ編入ス、年齡費用總テ本校中等生ノ如シ

一、生徒試驗法 成規ニ基キ上下等小學十六級ニ分チ每級六ヶ月ヲ以テ一期トシ、毎月恒例試驗ヲ行ヒ平時設クル所ノ賞罰ノ點數ヲ參考シ、以テ級内ノ座位順序ヲ定メ、進級試驗ハ春秋兩度之ヲ行ヒ、卒業試驗ハ上下等卒業ノ際之ヲ行フモノトス。其優劣昇降ヲ判ズルハ一科ノ總點數二分ノ一、合科三分ノ二以上ヲ得ルヲ及第トシ、以下總テ落第トス

一、生徒授業料收入ノ法 一般ノ成法ナシ唯地方ノ適宜ニ任セ收入セシム、之ヲ一般ノ生徒ニ平均スレバ一ヶ月一人僅ニ二三厘ニ上ラズ

一、學費賦課ノ法 三縣合一ノ際課法自ラ異同ナキ能ハズト雖モ、終ニ一般ノ制度ヲ設ケ一戸五拾錢以上トス。其實際ニ至ツテハ人民ノ貧富ニ應ジ、土地ノ反別ニ割ルガ如キ、姑ラク各地ノ適宜ニ任スト雖モ、要スルニ概ネ一戸五拾錢ニ出入ス。此外別ニ師範學校費トシテ七錢五厘ヲ課ス

一、學費遣拂法 已ニ課スルノ金額ヲ一旦縣廳ニ徵收シ、更ニ各學區取締ニ前借セシメ、毎月遣拂ノ計算表ヲ徵シ年尾其過不足ヲ點檢シ剩餘アレバ翌年ニ送り、不足アレバ一時學區内ニ賦シテ之ヲ補ハシム

一、御補助金配賦ノ法 從來師範學校費ハ總テ公費ヲ以テ支消セシガ、本年來悉皆民業維持ノ法ヲ設ケ、更ニ該校豫備金四千圓及ビ學區取締給ノ半額巡回訓導ノ全給ヲ除キ、餘ハ總テ小學ニ下附シ教員給ノ幾分及ビ書籍器械費ヲ助ケシム

一、學資蓄積ノ法 備前國未ダ此法アラズ、然レドモ一般ノ學資トシテ寄附セシモノ六百七十六圓十錢並ニ學田一町六反六畝二十五步アリ、外ニ七百圓第十五中學區ノ積金アルノミ。元小田縣積金二十一萬六千三百五十二圓アリ、然レドモ往々有名無實ニ屬スルヲ以テ目下精査中ナレバ、整頓ヲ待テ詳細具陳スベシ元金取立ノ分六千八百七十七圓ニシテ他ハ無キモノト追申ス。元北條縣未ダ確法アラズ、但學校建築ノ際有志之輩寄附セシモノ、一時營繕書籍器械ヲ購求シ、其殘剩アルモノハ總テ積金トナシ、年々増殖セシム。然レドモ九年ノ旱災ニ罹リ學費ノ賦課シ難キ區々ハ此金ノ幾分ヲ補ヒ、以テ保續ノ一助トナス

一、教員給料ノ等差 九年三月以來準訓導、教授、助教ノ三類ニ分ツ、其等差左ノ如シ。而シテ住所ノ遠近ニヨリ宿料ヲ給ス、然レドモ名義不適ニシテ且駁雜ニ涉ルヲ以テ、頃日改稱ノ稟議ニ及ビ已ニ官准ヲ得タリ、別ニ雇教員ナル

モノアリ。其給料ハ地方ノ適宜ニ任セ教員ノ指揮ニ從ヒ授業ヲ助ケシメ、各地方限リ之ヲ備ヒ名簿ヲ官ニ達セシム。  
 一等準訓導月俸十五圓、二等準訓導月俸十二圓、三等準訓導月俸十圓、一等教授月俸八圓、二等教授月俸七圓、三等教授月俸六圓、一等助教月俸五圓、二等助教月俸四圓、三等助教月俸三圓

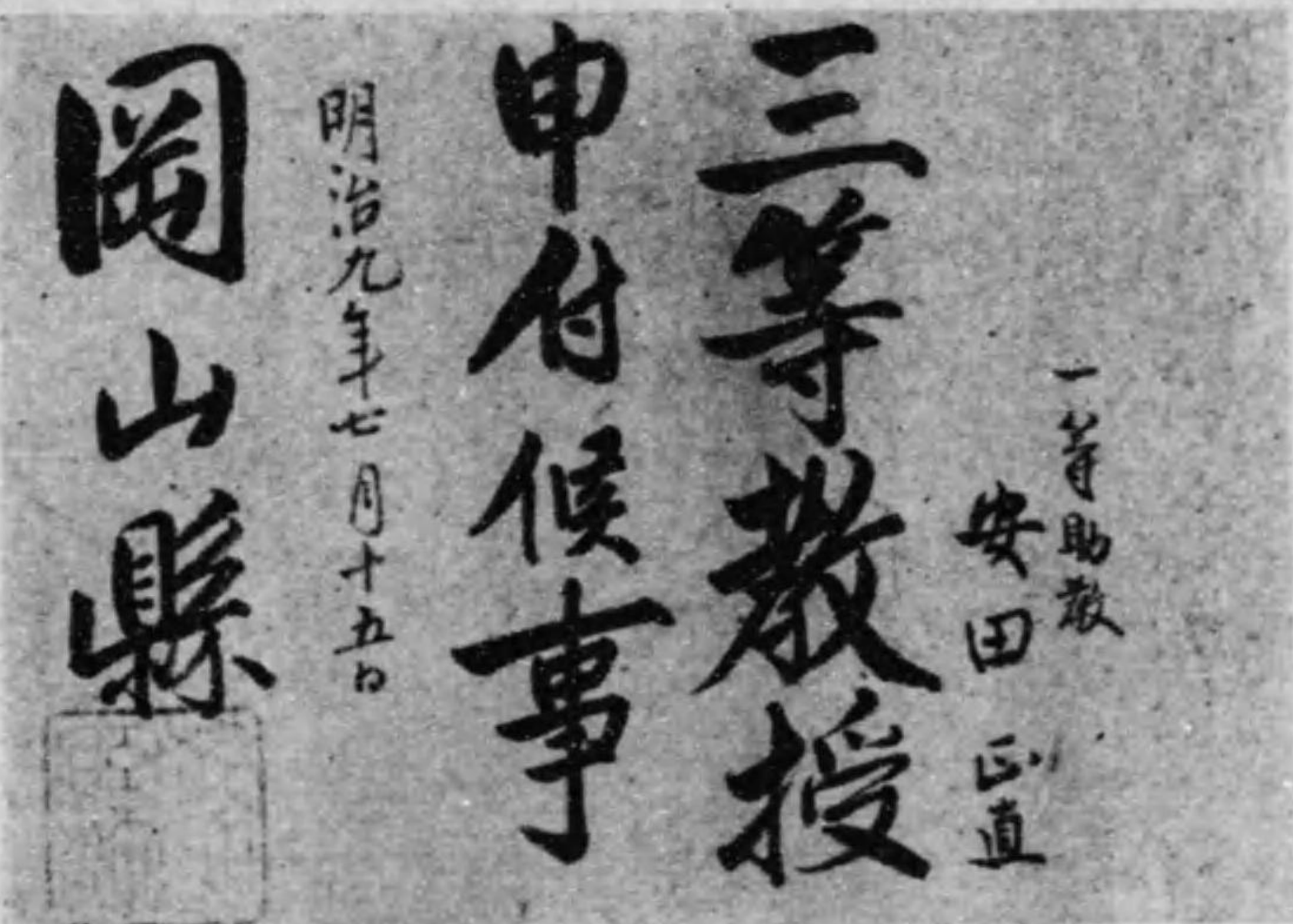
教月俸三圓

一、第五課及學區取締現員 第五課官吏判任官七名、御用掛二名、  
 等外一名、學區取締ハ總テ正副區長ヨリ兼任セシム總計四十五名ト  
 ス。外ニ監學掛ヲ置キ時々學區ヲ巡回シ、教員ノ勤惰生徒ノ進否ヲ  
 監視セシム、前文御用掛ノ職掌之ニ同ジ

一、學區取締給料ノ等差 總テ兼務料三圓ヲ御補助金及ビ賦課金ヨ  
 リ折半給與ス

一、巡回訓導配置之法 學事ノ進歩スルニ從テ教則屢々變更シ、邊  
 邑避郷ニ至テハ教師或ハ未ダ其人ヲ得ザルニヨリ授業整齊セズ。進  
 步遲滯ノ憂アリ依テ昨年來巡回訓導ノ職ヲ置キ、各部師範學校卒業  
 生或ハ本縣卒業學力稍優ナル者ヲ以テ之ニ充テ、二十乃至三四十校

ヲ管理セシメ、常ニ管内ヲ巡回シ專ラ授業ノ事ヲ負擔シ、教員ノ勤惰生徒ノ進否ヲ觀察シ其黽陟褒貶ニ關シ、見込  
 アル時ハ學區取締ト連署具狀セシム。毎月各區教員ノ會議ニハ之ヲ議長トナリ、春秋師範學校ニ會シ教則ノ改正其



三等教授 辭令

他將來施行スベキ件々ヲ議セシム。其給料八十圓ヨリ二十圓ニ至ル、總テ御委託金ヨリ之ヲ給ス

岡山縣學事統計一覽 (明治九年六月二日現在)

國別	學區數	小學校		學齡兒童數	就學兒童數
		本校	分校		
備前	五七一	二五六	五四	四八、六六四	二三、四八二
備中	六二六	四七八	取調中	九七、六六四	三六、三四〇
美作	三三七	一四六	—	三三、九七一	一〇、五四五
合計	一、五三四	八八一	五四	一八〇、二九九	七〇、三六七

岡山縣學事取調書 (明治九年六月二日 文部省 野村中學督學來縣ノ際提出ス)

一、學區分畫ノ狀況

備前、小學分畫ハ人口六百以上九百迄ヲ以テ一區ト定メ、人口疎密土地ノ廣狹ニ因リ概ネ十小學區ヨリ二三小學區ヲ  
 聯合ス。但シ山間僻邑ニテ人民各所ニ散在ノ箇所ニ互テハ、一ノ小學區中ト雖モ遠近ノ便宜ニ從ヒ甲乙兩校へ通學シ、  
 或ハ一區中ニ適宜一ノ分校ヲ置キ之ヲ支校トナスモノアリ、學區總數五百七十一小學區トス  
 備中、學制ニ依リ小學區ヲ定ムト雖モ區畫ノ分界判然ナラズ、譬ヘバ一村ニ人口六千アレバ其村中ニ十小學區ヲ有ス  
 ル迄ニテ、大村ハ一校、小村ハ二三村ヲ合セテ一校ヲ設ク。學區ノ總數ハ六百二十六小學區トス、外ニ廣島縣へ合併  
 セシ備後國六郡ヲ三百二十六小學區トス

美作 學制第六章ニ基キ大凡人口六百人ヲ以テ一小學區トナスト雖モ、學校設立ノ實際ニ至テハ土地ノ形勢ト區内ノ貧富ニ從ヒ一學區ヲ割テ他區ノ學校ニ屬セシメ、或ハ數學區ヲ聯ネテ一學校ヲ設ケ三百三十七小學區トス

一、學資ノ件

備前 學資ハ戶籍ノ區ニ因テ課ス、每區小異アリト雖モ、概ネ每戶五拾錢ノ目途ヲ以テ半ケ年ヅ、先取立トス。實際賦課ノ方法ハ人頭反別或ハ貧富ヲ量リ課スル等、其ノ地ノ適宜ニ任ズ（明治八年マデハ每戶貳拾五錢ヲ賦課ス）  
備中 學資賦課ハ均一ナラズ一ケ月中ノ諸費ヲ計算シ、月々其學區ニ賦課スルアリ、或ハ半ケ年ノ經費ヲ見積リ一ケ年兩度ニ課スルアリ、或ハ諸給料ノミ月々區戶長手前ニテ繰替置キ年末ニ至リ諸費計算ノ上賦課スルアリ、概ネ一戶參拾錢乃至五拾錢トス、實際ノ賦課ハ人頭反別其ノ他適宜トス

美作 學資ハ舊高或ハ每戶ニ賦課ス。其ノ方法タルヤ土地ノ廣狹人口ノ疎密ニヨリ小差アリト雖モ、概略舊高一石ニ付一ケ年金五錢乃至拾四錢、戶課モ亦人民ノ貧富ニ從ヒ三等或ハ四等ニ分チ一ケ年金貳拾四錢乃至壹圓貳拾錢ヲ收入シ、各校定額ノ六ケ月分或ハ一ケ年分ノ金額ヲ前一時ニ蒐集ス。但シ一ケ月地價百圓ニ付壹錢參厘四毛、一戶ニ付貳錢貳厘貳毛、一口ニ付四厘ニ當ル

一、學資費途一校一ケ月分

種別	備前	備中	美作
大ナルモノ	貳拾貳圓	貳拾四圓	參拾參圓

種別	備前	備中	美作	合計
中ナルモノ	拾六圓	拾圓	拾壹圓	
小ナルモノ	拾圓	五圓	七圓	
				拾壹圓

一、授業料

備前 徵收セズ。備中 隨意ニシテ徵收セルモ一人一ケ月壹錢五厘位。美作 備中ニ同ジ、一人一ケ月壹錢參厘六毛ニ當ル

一、優良生徒

種別	備前	備中	美作	合計
生徒優良ヲ以テ目スル者	七校	九校	十三校	二十九校

一、師範學校

種別	備前	備中	美作	合計
學校數	一	一	一	三
生徒定員	二〇〇	一〇〇	五〇	三五〇
卒業年限	二年	二期 (二期六ヶ月)	同上	
卒業生	九二	三〇	一一二	二三四
開校	明治七年六月十二日	明治八年八月十一日	明治七年六月十二日	



明治十年の統計 本表に多數の私立中學校を示してゐるのは、過渡期に於ける一事象であつて、明治十一年當時私學が、教育上重要な地位を占めてゐた證左とも觀るべきである。

岡山縣學事統計一覽 (明治十年現在)

種別	中學校	小學學校	小學師範學校	中學教員			小學教員		
				計	女	男	計	女	男
公學	備前	一	二四四	五	五	六一	六五〇	三九	
	備中		二六六			五七八	五八一	三	
	美術		一六七	支校 一		二二二	二二二		
	合計	一	六七七	二	五	五	一、四一三	四二	
	備前	一九	一		二五	二四	三	一	
私學	備中	七			七	七	一	一	
	美術				五	五			
	合計	七			一二	一二	四	一	
	備前				二五	二四	三	一	
	合計	三	二		三七	三六	四	一	

學齡人員	小學師範學校生徒		小學生徒		中學生徒		小學師範學校教員	
	計	男女	計	男女	計	男女	計	男女
計	一七二	一七二	三〇、五二六	一〇、一五三	三八	三八	八	八
女			一〇、一五三	一〇、一五三				
男			二〇、三七一	二〇、三七一				
計			二六、八六七	六、九一六				
女			一三、八三九	四、二八四				
男			一三、〇二七	二、六三二				
計	六九	六九	九、五五五	四、二八四			五	五
女			四、二八四	四、二八四				
男			五、二七一	二、〇〇〇				
計	二四一	二四一	四九、八七七	二一、三五五	三八	三八	一三	一三
女			二一、三五五	二一、三五五				
男			二八、五二二	一〇、〇〇〇				
計			七九、六四三	一六、九五七				
女			三三、二五三	一六、二九六				
男			四六、三九〇	二、六六一				
計			一、二二〇	一、一五六				
女			一、一五六	一、一五六				
男			一、〇六四	〇、〇〇〇				

不就學人員	就學人員	
	計	計
計	男 一九、二二五	男 一八、九七七
女	九、六四二	六、六六四
計	二八、八六七	二五、六四一
男	九、四六〇	一五、〇二四
女	一三、八六六	二三、三二一
計	二三、三二六	三八、三四一
男	七、七三四	三三、二一八
女	一二、〇八〇	五四、七六七
計	一九、八一四	八六、四八五
男	九、二二三	四七、四二五
女	四、二一六	二〇、五二二
計	一三、四三九	六七、九四六

岡山縣公學所有品額

四萬五千十八圓三錢四厘學校家屋價、五千五百三十二圓八十二錢三厘學校敷地價、千二拾二圓三十三錢壹厘學校附屬地面價、貳萬貳千七百貳圓貳拾貳錢八厘學校器械價、壹萬九千三百四年九圓七拾六錢壹厘學校書籍價、壹萬九千七百六拾圓四拾四錢七厘學校積金額、總計拾壹萬三千四百八拾五圓六拾貳錢四厘

岡山縣學資寄附總計

四千五百八拾貳圓三拾五錢五厘金額、八百九十九坪地面、千貳百六拾八圓器械、貳百壹圓雜品、貳千六百八拾九人、右寄附人員

岡山縣公學費收入

三萬七千四拾壹圓五拾五錢五厘前年ヨリ越額、三千九百四拾九圓七拾五錢學區內集金、四千五百九拾九圓貳錢三厘寄附金、六百四拾七圓三拾五錢五厘生徒受業料、壹萬六千五百拾貳圓貳拾七錢六厘文部省補助金、七百六圓拾四錢積金、利子、四百貳拾九圓六拾錢三厘其他諸入金、千三百七圓三拾五錢五厘師範學校補助金、拾壹萬貳百九拾四圓六拾七錢八厘學區內課金、總計拾七萬五千四百八拾七圓七拾三錢五厘

岡山縣公學費支出

七萬七百拾四圓四拾三錢九厘教員給料、八千六百五拾八圓貳拾八錢諸給料、壹萬千貳百拾三圓拾壹錢九厘學校營繕費、三千四拾五圓九拾三錢貳厘學校借家費、壹萬四千七拾壹圓拾貳錢三厘書籍器械費、三千七拾四圓九拾三錢三厘薪炭油費、貳萬千六百八拾七圓八拾四錢三厘諸雜費、貳百四拾貳圓五拾五錢三厘賞與、壹萬七千貳百拾六圓拾五錢壹厘各小學下渡金、總計拾四萬九千九百貳拾四圓三拾七錢三厘、出納差貳萬五千五百六拾三圓三拾六錢貳厘

私塾の調査 私學が教育機關として、重きを致してゐたことは、明治十年以後も同様である。即ち明治十二年調査の私塾数は六十五に達してゐる。

岡山縣私塾調 (明治十二年現在)

名稱	學科	位	置	學舍主	名稱	學科	位	置	學舍主
龍淵合	中學	岡山區五番町		三宅貞久	晚翠塾	中學	岡山區六番町		堤幾太郎
柚北塾	同	同		奥村重造	誠塾	同	同	弓之町	上森元甫
松村塾	同	同	一番町	松村焼	涵養塾	同	同	紺屋町	堀尾信微

研精館	鴨里學舍	萬年學舍	三省會	培根會	研精會	惜陰會	方圓會	春草家塾	報天義塾	門而學舍	溫故堂	池田學舍	眞風學舍	雲蒸學舍	樂遊會	梅軒	公正學舍
中學	同	同	同	小學	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	中學
御野郡福田村	同 花畑	同 内山下	同 同	同 難波町	同 同	同 妹尾町	同 廣瀬町	同 小橋町	同 東中山下	同 下之町	同 二日市町	同 西川	同 東田町	同 下田町	同 同	同 七軒町	岡山區紺屋町
中野又市	原 繁太郎	青木順一	孟理端應	永井貞	深田良知	日笠類慶	太田正宜	難波春樹	中原有昇	長谷川次潔	山口源八郎	大口精義	岡野篤	平松且海	岡本善藏	妹尾徳風	上田銀名治
貫志學舍	弘木學舍	靜修會	明志學舍	誠意義塾	育一塾會	三餘館	三洲學舍	三須學舍	精華塾	尙友會	正心學舍	遊志塾	三餘塾	玄傲會	集義會	廣道會	靜觀會
同	小學	同	中學	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	小學
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	御野郡原 村
湯川源吉	鹽田喜平	名越爲吉	久我房三	荒木管一郎	津久井 幾	阿部隆延	森田立敬	杉生重義	守安壽雲	神崎庸平	矢吹七五三吉郎	犬飼馨三郎	犬飼源三郎	渡邊 亨	稻家善次郎	石原金三郎	石原精吉

永久學舍	篤志學舍	遠來學舍	百千學舍	正營學舍	思誠學舍	訓蒙學舍	潛龍學舍	誠意學舍	行餘館	有終館	繼志學舍
小學	同	同	同	同	同	同	同	中學	同	同	同
同 笠岡村	同 同	同 新賀村	同 西濱村	同 神島内村	同 横谷村	同 東大戸村	同 東川面村	同 賀陽郡庭瀨村	同 生石村	同 上房郡高梁村	同 香多郡井村
岸戸利八	津田光純	木山玄瑞	倉田文市	伊藤治三郎	小野守一郎	守屋菊野	鳥越松太郎	森田月瀨	東方匡	東 謙五郎	進 群山
育英學舍	興讓館	知本學舍	琢成私學	省定私學	有功私學	溫知館	家塾	集義館	知本館	慶鳴學舍	共之學舍
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
川上郡成羽村	後月郡西江原村	久米南條郡 大戸下村	勝北郡津川原村	同 廣戸村	同 勝加茂西村	同 勝南郡行信村	同 同	同 同	同 周佐村	同 眞島郡垂水村	同 西々條郡二宮村
信原徳太郎	坂田丈平	直原又十郎	宰務誠一郎	齋藤有親	小坂伊三郎	矢吹又太郎	大羽材藏	上野彌平太	直原又十郎	進 群山	三宅綱藏

備考 明治十三年現在ノ私立學校ハ七十八ニシテ、其所在ハ岡山區二十八、小田郡十八、勝南郡五、淺口・御野郡各四、都字・窪屋郡各二、賀陽・勝北・久米北條・上房・後月・川上・赤坂・上道・眞島・東北條各一ナリ。

私塾萬年學舍主青順一の墓碑銘に、「君諱成元、稱太郎左衛門、後更順一、江戸人、來岡山、從事武揚館、置縣之初轉文職與學校之事、君憂女教不全、爲開私塾授業、及縣置女覺補監督職、本縣女學之設君實爲之嚆矢、明治二十三年二月九日卒、齡七十有九」とある。

なほ、大口精義の經營に係る池田學舍學校とありの經費は、舊備前藩主の出資であつて、當時外國語教師として二名の外

人を備つたのは、私塾としては出色のことであらう。

外国人雇入ニ付御願

- 一、英學教師 米合衆國人ヲスケレ、同 セームスハールスピテ
- 一、月 給 學校生徒ノ月謝ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、雇入期限 自明治十二年一月二十日、即洋曆千八百七十九年一月二十日 向五ヶ年  
至明治十七年一月二十日、即洋曆千八百八十四年一月二十日
- 一、結 約 所 神 戸
- 一、住 所 岡山區七番町四十番屋敷士族中川横太郎宅
- 一、塾 名 池田學校

池田學校へ私費ヲ以テ前文ノ教師雇入致候處居留地外住居致候儀ニ付別紙ノ通り外務省寄留免狀御下渡方之儀取計被成下度此段奉願上候己上

明治十二年一月七日

岡山縣令 高崎五六殿

岡山縣下岡山區東田町貳百四拾番屋敷士族池田學校委員	大	口	精	義
同 七番町四拾貳番屋敷 士族池田學校委員	西	穀	一	
同 戸	長	鈴	木	光
	成	瀬	久	微

岡山縣令 高崎五六殿

(指)書面大口精義外登名雇米國人ヲスケレ及セームスハールスピテ雇入中、岡山區七番町四拾番地岡山縣士族

中川横太郎所有家屋雇主ニ於テ借受僱居爲致候儀聞届候事、明治十二年三月七日外務卿寺島宗則

池田學校の經營は、從來舊備前藩主よりの出資に俟つてゐたが、翌十三年一月より其の出資を欠いた。然るに未だ外國語教師の雇傭期間中なるを以て、西穀一は、其の三月岡山區下田町に私立原泉學舎を設けて外國語教師に轉傭した。本舎は滾々として晝夜を舍てざる原泉の如く、絃誦の聲を絶たざること六ヶ年、遂に明治十八年八月私立閑谷費再興の端緒となつたのである。

私立藝娼妓女紅場 藝娼妓の教育機關として、明治九年六月十五日岡山區西中島町に、同年七月六日同區天瀬に女紅場を設けた。前場は『小學教則』に倣ひ上下等各八級とし、學科は讀書・習字・和算・裁縫に別ち、生徒鼓舞獎勵之爲メ適宜ニ等級相設、毎月一回試験ノ上進歩之者へハ昇等之證書ヲ授與。無故遅參ノ者ニハ貳錢之罰金ヲ課シテ入場セシメ、無故不參ノ者ニハ五錢ヲ課ス」と規定し、生徒數百四名を算した。(岡山縣治紀事)

これが明治十三年十二月十四日創立の手藝學校の起源であつて、明治四十一年岡山市西中島に創立の娼妓教育院の前驅である。

本院は修身・作法・裁縫・音樂に就て教授し、教師として江田宇太子女史専ら其の任に當れり。時に名士の講話を聴問せしむるなど、通俗の倫理の鼓吹により徳操を涵養せしむ。(岡山縣教育會誌)

女子教育の鼓吹 明治九年七月二十一日、「女子教育普及ノタメ各郡ニ女紅場ヲ設置シ、年齢十四歳以上ノ婦女子ヲ入場セシメ、裁縫ヲ專修セシメ傍ラ言語禮節身體動止ノ略節ヲ學バシム」べく布達し、更に十月には岡山縣師範學校附屬

として岡山區東中山下に、なほ岡山縣師範學校津山支校附屬として津山二階町に女子師範學校を設けた。

明治九年九月二日管内一般ニ設置セル裁縫所ヲ女紅場ト改稱ス。同十年二月十七日女紅場ヲ最寄小學校ニ附屬セシメ裁縫所ト稱ス(岡山縣史稿)

明治十一年三月十六日岡山縣師範學校附屬裁縫所ヲ女紅傳習所ト改稱、授業傳習相始候條各所小學附屬裁縫所教員其他教員志願ノモノハ勿論一般有志ノ輩ハ該所ヘ可願出此旨布達候事、但生徒ノ授業料ハ相廢シ候事(岡山縣達)

これら當局の女子教育機關の施設に呼應して、民間有識者に於ても「夫レ當今ハ如何ナル時ゾ、吾國ハ漸ク文明ノ域ニ達シ、彼ノ歐米諸國ト並馳セントスル時ニアラズヤ。仲尼曰、幼成ハ天性ノ如ク習慣ハ自然ノ如シト、以テ幼成習慣ノ染着シテ確乎拔クベカラザルヲ察スベシ。父母タルモノハ其女ノ淫逸ナル習慣ヲ欲スルカ、淳良ナル幼成ヲ欲スル乎、人各天ヨリ稟受シタル靈智ノ在ルアリ、其自ラ撰ブ所ニ從ヘバ、吾人ハ女子教育ノ宜シキヲ失シ、淫逸ノ習慣將ニ我國ニ遍カラントスルヲ恐ル<sup>山陽新報</sup>」と。女子教育の重要性を力説し、纏て女子教育機關の擡頭を見るに至つたのである。

私立女子教育機關 (岡山縣治紀事)

名 稱	學 科	所 在 地	設 立 年 月	學 校 主
女子手藝學校	各種	岡山區西中島町	明治九年六月	山本熊太郎
同	同	天 濱	同 年七月	早川種長
青木手藝校	同	東中山下	同 十三年五月	青木順一

二、初 等 教 育

小學校の普及 『學制』に則り、漸次小學校の普及を見た。即ち明治九年六月に於ては本校八百八十一、分校五十四、合計九百三十五、同年末に於ては七百四、翌十年に於ては六百八十一に漸減してゐる。これは土地の廣狹、人口の疎密等を參照し、實際に適應すべく學區を分合した結果で、初等教育は向上の一路を辿つたのである。

第十區務所 區 戶 長

學區取締

巡回訓導

小學普及ノ儀ハ一日モ不可忽ノ儀ニ有之、益々盛大可相成ノ處、聯區内戸數僅少ナルヨリ學資隨テ乏敷永遠隆昌ノ目的難相定地方不尠候ニ付今般左ノ通聯區相替候條地勢ノ便宜ヲ測リ學校ノ位置ヲ定メ合併候様可致此旨相達候事

明治十一年一月十八日

岡山縣令 高 崎 五 六

- |                 |                 |             |
|-----------------|-----------------|-------------|
| 一、笠岡村           | 一、大江村           | 一、走出村、甲努村   |
| 一、西濱村、木ノ目村、吉濱村  | 一、東大戸村、西大戸村、大河村 | 一、小田村、宇内村   |
| 生江濱村            | 入田村             | 一、淺海村、本堀村   |
| 一、大宜村、茂平村、用ノ江村  | 一、吉田村、小平井村      | 一、黒木村       |
| 一、篠坂村、押撫村、有田村   | 一、尾坂村、關戸村、新賀村   | 一、西水砂村、東水砂村 |
| 一、下稻木村、上稻木村、岩倉村 | 山口村             | 一、星田村       |

第二章 學制頒布

- 一、三山村、大倉村
- 一、宇戸谷村
- 一、平宇角村、三ヶ原村、麥草村
- 宇戸村、烏頭村、高階村
- 宇角村、内田村、三谷村

小學校數調 (明治九年未現在)

- 高末村
- 一、江良村、西川面村、東川面村
- 一、矢掛村、小林村
- 一、東三成村
- 一、里山田村、奥山田村、中村

- 横谷村
- 一、馬飼村、今立村、園井村
- 一、廣濱村、總師村、富岡村
- 横島村、入江新田村
- 一、神島内浦、神島外浦

二一〇

郡名	校數	郡名	校數	郡名	校數	郡名	校數
御野(岡山)	二二八	津高	三二	赤坂	三一	邑久	三七
和氣	三九	川上	二七	阿賀	四九		
小田	四六	賀陽	二七	都賀	二五		
哲多	一六	淺口	四一	東南	二九		
窪屋	二六	勝北	一一	勝南	一三		
西北條	一三	大庭	八	眞島	二五		
吉野	七	久米南條	八	合計	七〇四		
西々條	八	久米北條	二〇				

第三十一中學區 御野郡 (岡山)

校名及學區	校名及學區	校名及學區	校名及學區
又新 内山下	修治 難波町	化成 磨屋町	進修 新道
順從 東中山下	擴智 富田町	研智 瓦町	含章 小原町
格致 青江村	富田 富田村	順則 辰己村	石井 三門
春日 七市村	野田 野田村	富山 大安寺村	伊福 上伊福村
福富 福富村	中洲 大供村	紅巖 矢阪	鳥山 津島市場
万倍 万倍村	内田 内田村	就正 西市村	箕山 北方村
河原 西河原村	玉柏 原村	河原 西河原村	笠山 宮本村

この外金山寺村に八十一番小學、下中野村に七十三番小學、新保村に新保小學あり。西中山下温知學校は小學教科傳習所、西中山下遺芳館は私立中學にして教員七名、西中山下万年學舎は私立小學にして教員二名

第二章 學制頒布

同 區 上道郡
廣才 花畑
明志 東中島町
雄島 藤原村
圓山 圓山村
春湊 平井村
與本 桑野村
君津 君津村
操山 門田村
成知 高屋村
操陽 湊村
藤崎 藤崎村
習成 倉富村

二一一

政津	政津村	財田	財田村	砂場	砂場村	葦川	一日市村	恒徳	西大寺村	久保	久保村
豐田	豐田村	湯迫	湯迫村	玉井	觀音寺村	竹原	竹原村	金陵	金岡村		
可知	中川村	古津	矢井	矢井	矢井村	犀戴	西大寺村	淺越	山守村		

同 區津高郡

建部	中田村	加茂	上加茂村	高富	五明村	森久	森久村	母谷	母谷村	東原	中原村
臥龍	金川村	廣面	廣面村	井原	井原村	伊吹	江與味村	勝尾	勝尾村	今保	今保村
甘泉	下畑	圓城	圓城村	高谷	十力	菅野	菅野村	香橋	横井上村	中山	一宮村
承芳	紙工村	奥本	三納谷村	福山	元象	牧郷	中牧村	高山	狼谷	大善	大窪村
今福	建部上村	豐岡	下分	新山	尾原村	古河	野々口村	芳賀	芳賀村	平津	西槍津村

この外富吉村に五十七番小學、天満村に高石小學あり。以上三十一中學區取締五名、教員百九十六名

第三十二中學區 邑久郡

薰陶	濱村	興志	神崎村	幸島	南幸田村	寶傳	寶傳村	潤徳	大ヶ島村	黄島	尻海村
今城	上寺村	松浦	邑久郷村	品山	西片岡村	櫻田	上阿知村	高砂	山田庄村	雲掛	蟲明村
星川	久志良村	百九番	宿毛村	久々井	久々井村	鹿忍	鹿忍村	横尾	横尾村	玉葛	福谷村
汲古	尾張村	羽島	西幸西村	履坦	東片岡村	牛窓	牛窓村	就將	小津村	淳風	上笠加村

同 區和氣郡

晚翠	福岡村	鴨田	磯上村	蘆田	豆田村	須惠	東須惠村	鶴海	鶴海村		
神山	土師村	明倫	服部村	高松	飯井村	狭山	佐山村				

この外山手村に十四番小學、長船村に二十番小學、新村に一番小學、藤井村に鶴山小學あり

同 區磐梨郡

新庄	新庄村	閉谷	閉谷新田	福浦	福浦村	神根	神根本村	平松	稻坪村	室原	室原村
弓削	弓削村	鹽谷	東片上村	三石	三石村	岩戸	椋村	長溝	大中山村	杉澤	上土村
勢力	勢力村	伊里	伊里中村	蕃山	蕃山村	大藤	大藤村	東光	奥吉原村	矢田	矢田村
香登	大内村	井田	井田村	金谷	田倉村	瀧谷	瀧谷村	益原	益原村	鹽田	奥鹽田村
齊部	伊部西村	梶島	灘田村	吉永	吉永中村	和氣	和氣村	笠目	牛中村		
菅原	浦伊部村	日生	日生村	岩崎	北方村	野吉	野吉村	三笠	日笠下村		
協和	西片上村	寒河	寒河村	吉田	吉田村	藤野	藤野村	泉野	岸野村		

閉谷精舎、閉谷新田村にあり、私立小學

佐伯	米澤村	岩淵	稻蔭村	平岩	石村	父井	父井村	宇屋	宇屋村	東谷	東谷村
----	-----	----	-----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----

白石	石岡村	吉原	吉原村	珂磨	可眞下村	太田	多田原村	物理	幸地村	鶉居	大内村
田原	田原下村	釣井	釣井村	稗田	稗田村	鍛谷	鍛治屋村	下村	下村		
岩生	原村	小野田	殿谷村	彌上	彌上村	南方	南方村	谷中	江尻村		

この外土生村に六十七番小學、西谷村に西谷小學、佐古村に佐古小學、澤原村に澤原小學、下村に長尾小學、二日市村に七十九番小學、宗堂村に宗堂小學あり

同 區 赤坂郡

高月	河本村	岩田	岩田村	孤松	西輕部村	鳩岡	是里村	小鎌	小鎌村	射田	伊田村
正崎	正崎村	西山	西山村	眞徳	今井村	黒本	黒本村	長谷	太田村		
借陰	齋富村	幡山	山口村	多賀	多賀村	鹽木	下鹽木村	土師	土師方村		
双井	二井村	國原	國原村	琢成	惣分村	仁堀	仁堀中村	平岡	平岡西村		
神田	神田村	梅溪	鍋谷村	湯嶺	山手村	龍南	仁堀西村	對山	中畑村		
裳佐	牟佐村	石相	町苅田村	周匝	周匝村	杓石	杓石山村	漸進	新莊村		

以上第三十二中學區百十六校公立小學、學區取締四名、教員百七十七名、始めは百十五名なり

第三十三中學區 兒島郡

福南	福江村	藤門	藤戸村	浮洲	粒江村	黒山	浦田村	天城	天城村	會根	會根
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----

第九 中學區 小田郡

右四十九校公立小學、學區取締二名、教員七十七名、天城村靜修館は私立中學、教員一名

中崎	中崎	仙隨	田ノ口村	菰池	菰池村	櫻井	林村	硯井	大崎村	甲南	波知村
東崎	東崎	榴濱	下村	潮生	鹽生村	彦崎	彦崎村	八濱	八濱村	後閉	後閉村
東崎	東崎	保田	上村	呼松	呼松村	田井	田井村	又田	東田井地	山田	山田村
故新	福新	觀瀾	神田村	鷺尾	片岡村	宇野	宇野村	龍淵	胸上村		
廣江	古新	龍王	味野村	追川	追川村	玉尾	玉尾村	清水	北方村		
東塚	東塚	鷲嶺	大島村	常山	用吉村	響灘	利生村	位領	小串村		
松江	松江	扇嶺	吹上村	漸磨	山吉村	長尾	長尾村	新華	宮浦村		
中畝	中畝	筆海	下津井村	硯池	尾原村	秀天	槌ヶ原村	甲北	郡村		



同 區阿賀郡	平溪	西方村	存心	津々村	鹽泉	中津井村	習定	下津井村	飛覺	下營部村	雲洞	井尾村
	博識	九名村	平章	布賀	希賢	坂本村	道蒙	割田村	修齊	田井村		
	通義	三澤村	有義	下大竹村	愛日	東湯野	貫通	字治村	觀調	近似村		
	立志	上黑忠村	有甫	七池村	有修	西油野	擴知	吹屋村	化成	阿賀村		
	確拳	下原村	富業	領家	歛山	平川村	圓山	丸山村	夜山	福地村	高谷	飯部村
	榮軒	玉村	立誠	二ヶ村	明義	高山村	厚情	布寄村	研實	成羽村	高應	神原村
	精倫	山ノ上村	好門	青野村	忍讓	川相村	後湖	東三原村	聖園	山鴨村		
	有源	高屋	元之	井原	對龍	門田	江原	東江原	義之	西江原	明城	花瀨村
	樵處	笹賀	剛志	七日市	篤行	木之子	興業	東江原	鼎足	築瀨村		
	講文	江良村	勸善	山口村	開運	今立村	神島	神島内浦	眞鳥	眞鍋島		

第十一中學區 川上郡

同 區後月郡

同 區賀陽郡	成章	八田部村	淺尾	淺尾村	井尻野	井尻野村	黑尾	黑尾村	修開	久米村	清水	清水村
	日新	今津村	三溪	片岡村	明智	田土村	廣門	長代村				
	高粱	高梁中ノ町	古溪	川面村	齊之	吉川村	智新	上村				
	神溪	高梁西村	弘智	矢川村	崇道	上津村	行定	矢野村	博智	繪村		
	更新	法會村	誠暉	畝家村	誠盛	上神代村	漸秀	井村	三蓋	油野村		
	弘業	則安村	荒谷	田淵村	漸進	八田兩村	江原	西方村	加磨	釜村		
	戶榮	矢戸村	成德	井倉村	活發	八鳥村	神文	下神代村	信知	坂本村	松屋	高瀬村
	乘彝	山田村	天澤	草間村	思誠	新見村	弘道	田治部村	養蒙	山奥村		
	貫誠	宮地村	知足	足見村	貫誠	高尾村	矢削	小坂部村	秀育	井原村		
	實水	河口村	晚翠	上唐松村	淳風	下熊谷村	向陽	菅生村	鎔精	實村		

同 區哲多郡

同 區上房郡

第十二中學區 都字郡

明新	有隣	進取	郁々	精成	資生	育英	鯉山	遜志	進秀	城山	養材	精勤
四十瀨村	中島村	箕島村	早島西分	早島新田	帶江新田	中帶江村	宮内村	原古才村	門前村	東阿曾村	西阿曾村	溝手村
惜陰	要智	伊保	東妹	東磯	芙蓉	西磯	井手	泉	光田	格致	東山	板倉
福井村	沖村	大福村	東磯女兒	東磯村	西磯女兒	西磯村	延友村	西花尻村	平野村	庭瀨村	川入村	板倉村
進德	行餘	恒産	前坂	茶山	金谷	盈榮	大堰	啓己	追琢	冠山	平山	前川
白樂市村	笹沖村	大内田村	栗阪村	妹尾崎村	古新田村	山田村	大井村	栗井村	上足守村	下足守村	平山村	東花尻村
聚芳	明倫	養眞	向山	素行	擴充	報知	上野	琢璞	聖琢	草偃	共迪	發蒙
倉敷女兒	倉敷村	松島村	二子村	別府	中島村	鳥羽村	上野村	眞星村	山ノ上村	川原村	杉谷村	日近井村
淨光	培根	八幡	撫綬	岩倉	明善	明知	精理	知務	回春	進修	弘過	東旭
羽島村	倉敷新田	總龜	撫川村	日畑村	山路村	上庄村	美袋村	種井村	西村	北村	岨谷村	東山内村
誘道	在新	瓜	獎俗	鷹巢	養化	市場						穴粟
濱村	平田村		新庄下村	矢部村	新庄上村	加茂村						穴粟村

同 區 窪屋郡

同 區 下道郡

日進	東正	研究	時習	川邊	有終	時習	日進	東正	研究
子位庄村	酒津村	日吉庄村	岡田村	川邊村	下二万村	岡田村	子位庄村	酒津村	日吉庄村
開智	興文	明德	鳥嶽	矢田	市場	鳥嶽	開智	興文	明德
輕部村	生阪村	西阪村	尾崎村	矢田村	市場村	尾崎村	輕部村	生阪村	西阪村
柿木	三化	順成	弘道	新本	敬學	弘道	柿木	三化	順成
三須	溝口	眞壁	山田村	新庄村	妹村	山田村	三須	溝口	眞壁
西三須村	溝口村	眞壁村	南秦	秦麓	久代	南秦	西三須村	溝口村	眞壁村
金龍	養素	眞壁	倉山	平治	福谷	倉山	金龍	養素	眞壁
上林村	岡谷	眞壁	下倉村	上秦村	福谷村	下倉村	上林村	岡谷	眞壁
					又新				
					原				
					村				

同 區 淺口郡

第十三中學區 東南條郡

日新	上津ノ町山	玉淋	川東	山崎	山西村	日新	勝部村	有章	志戸部	高野	本郷村
同 區 西北條郡											
成器	津山京町	開智	津砲町山	知新	東一宮村	精勤	西田邊村	章開	越畑村		
時習	宮脇町山	田邑	上田邑村	不休	香々美中	誠之	眞經村				
鶴山	津山山下	修明	山北村	鳥羽	東一宮村	成修	澤田村				

同 區 東北條郡

育英	大篠村	成美	知和村	晶葉	宇野村	清水	上横野村				
郁々	小中原村	弘明	下横野村	至域	行重村						

同 區 勝北郡

明知	河面村	豐田	澤西	敬身	豐久田村	致志	廣戸村	吉野	荒内西村	植月	植月東村
開蒙	加茂西	豐並	高圓村	文眞	眞加部村	求心	石生村	梶並	梶並中谷		

同 區 勝南郡

渡里	北山村	至明	稻穂村	飯岡	飯岡村	吉ヶ原	吉ヶ原	有斐	藤田上		
勝田	勝間田	湯郷	湯郷村	教育	國分寺	周佐	周佐				
高取	池ヶ原	修開	鳥淵村	躬行	西吉田	又新	行信				

同 區 吉野郡

有終	小野村	風化	下ノ庄	格致	馬形村	松齡	上石井				
三邊	小ノ谷	芳川	赤田村	旭霧	古町村						

同 區 英田郡

境幡	土居村	致加	福本村	林野	倉敷村	日邊	海田村	河會	北村		
芳英	川崎村	誘善	山外野	里仁	万善村	水南	白水村	上山	上山村		

第十四中學區 大庭郡

遷喬	久世村	訓蒙	古見村	源泉	湯本村	揚善	椹村				
明新	日本村	逝川	下河内村	進良	上阿内村	成功	社村				

第十四中學區 眞島郡

類山 高田村	立身 日名村	旭日 柴原村	明性 西茅部村	聯里 下方村
誠意 栗原村	弘文 荒田村	成章 古呂々尾	精練 種村	究蘊 草加部村
笠場 田原山上	洗心 神庭村	思誠 且土村	研鍊 鐵山村	成德 上村
日向 吉村	星山 見尾村	成化 月田本村	齒蘭 宮原村	請肆 美甘村
修成 垂水村	出籃 三田村	茅部 東茅部村	自新 若代村	後谷 後谷村
同 區 西々條郡				
盈進 薪森村	近知 黒木村	自成 圓宗寺村	自近 中谷村	
千之 吉川村	收養 富西谷村	切磋 土居村	興基 楠村	
同 區 久米北條郡				
喬松 坪井下	五樂 中北下村	揚名 中井和谷	博文 下打穴西	明世 角石畝
岩谷 中北上	身基 山手公文	本立 角石谷	溫知 奥山手村	就正 和田北
共立 上打穴中	開碧 通谷	厚生 下打穴下	潤身 下二ヶ山	秀實 桑上村
啓蒙 下穴打中	文明 中井和畝	精業 久米川南	有功 境村	博智 宮部村

理化學智識の助長 文部省は小學教育に理化學の知識を助長するため、明治十一年二月岡山縣師範學校に、物性論、稱水論、氣論、熱論、電氣論、磁石論、音論、視論等の諸機械を交付した。因に論とは理化學の論斷に要する器械の意味である。

文部省ヨリ岡山縣師範學校へ交附ノ物理器械 (明治十一年二月十三日文部省達)

成立 北庄里方	原榮 原田村	明德 福渡村	明說 一方村
至善 下弓削	立野 下二ヶ村	習慣 下根村	明道 高尾村
同 區 久米南條郡			

「物性論」 鉛製半球、惰性器、毛髮管、同板、衝突球、重力心、滑車、螺旋並緒等、木槌天秤等、中心力、權  
「稱水論」 平均管、長圓体及板、粘著板、曲注管、タンタフス氏ノ高脚杯、アルキミーズ氏ノ法、秤水器、同瓶、壓水器、モロスフアウンテン

「氣論」 排氣鐘、受器、スライジングロツド、スクループラグ、ハンドグラス、コンデンサル、コンデンシングチアンプル、ボールヘット、フリーザル、バツカスイルラストレーション、ゴム製袋、重り及浮泛、晴雨儀管、水銀、金片毛片管、氣銃、廻轉噴出シ、木製長圓管、ウラツシヤルス、油

「熱論」 バームグラス、パーエントゴージ、コンパウンドボール、ファイアジョーリンジ、返射器、ウヲルラストン氏器械、ワイゴーズ、スベシフヒツクヒード、流通風、水用寒暖計、コンダクトメートル、ヨリピイル、ハイロメートル

ル、酒燈

「電氣論」 ホルツ器械、猫皮、インシュレーテッドサツボルト、フリクシヨシリンダ、エレクトロマスコープ、テ  
ルリアン、スツール、ムーヴエブルコーチングスジャル、ダイヤモンドジャル、セツトヲフジャルス、スタンドエ  
ントベルス、エセルスブーン、スパイラルチューブ、シヨインテッドシスチャージャル、ガスピストル、パウタルボ  
ンプ、ヒスホールス貳ダズン、カスケード、リユミナスポイント

「磁石論」 パールマグネット、Uマグネット及輪、針及臺、ハンセンズバッテリー、ハウタルカツプ、コントラクチングヘ  
リツクス、デコンボーショングセル、エンクトロマグネット、ヘリアルリング、リフチングコイル、レホルウイングマグ  
ネット、ヤルヴァノメートル、電信器雛形、ダツブルヘリセス、ハントルスエンドワイルス

「音論」 度響器、齒輪、螺旋壓器、振動板、黄銅棒及球、グイアベーン、ヴァイロンセロハウ、ラルガンパイプ、  
ソードパイプ、空所鐘

「視論」 台付三角硝子、無色同、モルチブライングレンス、透鏡一組、鏡一組、眼雛形、レボルウイングジスケルバ  
ラタス、ゾートローフ(右ハ米國ヨリ不達到着ノ答ニ付接手次第可及御廻付候)  
なほ、小學校に對しても、亦該知識の助長に努めたものである。

岡山縣赤坂郡高屋村立高陽小學

三等獎勵品目錄之通り付與候事

明治十六年十二月一日 文部省

(目錄) 理化小試器械一組、理化小試書一部、指數器一個、綴字捷徑一組、掛算盤一個、圖引具五組、繪具一組、  
地理描圖法一部以上

小學教科書 『學制』頒布當時には、未だ所定の教科が無く、下等小學第八級には『西洋衣食住』、『學問のすゝめ』、  
『啓蒙智恵の環』。第五級には『西洋夜話』、『窮理問答』、『天變地異』。第二級には『道理圖解』、『西洋新書』等を使つた。  
翌六年刊行の『小學讀本第一卷』第一に、「凡地球上の人種は五に分れたり、亞細亞人種、歐羅巴人種、馬來人種、  
亞米利加人種、亞弗利加人種是なり。日本人は亞細亞人種の中なり。人に賢きものと、愚なるものとあるは、多く學  
ぶと學ばざるとに由りてなり、賢きものは、世に用ひられて、愚なるものは、人に捨てらるゝこと、常の道なれば、  
幼稚のときより、能く學びて、賢きものとなり、必無用の人と、なることなかれ」とある。この讀本は、亞米利加の  
リーダーを直譯したものと云はれてゐる。

斯かる難解の字句を入學一年の後期から用ひ、教師が一句づゝ唱へるのを、生徒が齊唱して語記したにも拘はらず、  
當時の生徒は學問の初歩を、四書、五經と心得てゐただけに、如何に漢字が多くても、假名交り文は難事とは思はな  
かつた。(小學讀本解題)

文部省は明治六年四月、『小學用書目錄』を示し、更に翌五月『小學教科書ノ内當省藏版之分各地方官ニ於テ學校入用  
之爲メ刷行致ス儀ハ可差許候』と示達して、小學教科書の普及を容易ならしめた。

小學用書目錄 (文部省布達)

綴字の部 五十音草體圖 五十音圖 濁音圖 數字圖 算用數字圖。習字の部 習字本 筆のはしめ 勸學習字本

習字ちかみち 皇國官名誌 啓蒙手習の文 世界風俗往來 算術の部 加算九々圖 乘算九々圖 數學書 西洋度量  
 早見 西洋算法比例法 洋算獨學 修身の部 和語陰陽錄 勸孝通言 修身談 畫學の部 國法階梯 讀方の部 小  
 學讀本 西洋英傑傳 童蒙必讀官職道しるべ 育英新論 西洋見聞圖解 物理訓蒙 地理の部 地理初步 郡名產物  
 日本地理往來 導歌地理のしほり 首書繪入世界都路 世界國名盡 萬國道中記 萬國地理訓蒙 挿畫地理往來 歴  
 史の部 内國史略 史略 参考太平記 條約國史略 物理學の部 物理階梯 窮理日新發明記事 訓蒙究理問答 理  
 學摘要 究理通 發蒙一端理學問答 訓蒙究理圖解補遺。  
 縣下にて刊行の教科書 なほ、文部省は地方の實情に則した、小學教科書及び参考書の編纂と其の刊行を認めた。  
 岡山縣下にて編輯又は出版せる小學教科書並参考書

圖書名	出版年月日	編著者	藏版、發行所
管内村名	明治六・二・二二	小田縣	小田縣
西洋綴字並數字	同 六・三・二九	同	同
干支	同	同	同
日本國名	同	同	同
童蒙習字本	同 六・三・二八	笠岡 森田 佐平	同
日用々文章	同	同	同
明倫操要	同 六・三・七	小田縣	小田縣

習	同	井原	大津寄田
皇國地理略	同	小田縣	柳本三郎
輿地誌略(前編、後編各三册)	同	小田縣	同
史	同	同	同
天文	同	倉敷	小學明倫館
經緯	同	倉敷	同
よみかき	同	同	同
正變日本國名書	同	岡山	美延堂
女子願我見草	同	岡山	渡邊源米
調蒙村名盡	同	岡山	楊智堂
備前村名盡	同	岡山	師範學校
下等習字本	同	岡山	弘文北會
動物生理學	同	岡山	武内彌三郎
岡山縣地誌略	同	岡山	細護會
漢史簡覽五册	同	岡山	同
小學習字本一册	同	岡山	同
同	同	同	同
同	同	同	同
同	同	同	同
小學應用書五册	同	岡山	文榮堂

第二章 學制頒布

小學珠算階梯	同	一三・二二・二四	岡村正義編	岡山	弘文北舍
小學書讀文章	同	一一・一	岡山福井孝治	岡山	博文堂
小學算術教授書	同	一一・三・三一	三浦全證	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	明石全證	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	能本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	武本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	江本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	佐久間信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	福井孝治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	田邊正典	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	村邊正典	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	高橋孫太郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	江木信	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	岡村正義	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	武田信	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	由良次郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	長谷川次郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	能勢榮一	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	山崎慎一	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	福井孝治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	根木鹿治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	上田及淵	岡山	博文堂

第二章 學制頒布

小學珠算階梯	同	一三・二二・二四	岡村正義編	岡山	弘文北舍
小學書讀文章	同	一一・一	岡山福井孝治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	三浦全證	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	明石全證	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	能本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	武本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	江本信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	佐久間信義編	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	福井孝治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	田邊正典	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	村邊正典	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	高橋孫太郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	江木信	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	岡村正義	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	武田信	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	由良次郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	長谷川次郎	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	能勢榮一	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	山崎慎一	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	福井孝治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	根木鹿治	岡山	博文堂
小學算術進文鈔	同	一一・三・三一	上田及淵	岡山	博文堂

小學普通文讀本 訓蒙讀本 四冊	明治一八・五・二〇	岡山縣學務課	岡山 細謹會
初等小學讀本要句	同 一九・一・一〇	森 岩太郎	同 西尾書房
國史一班	同 一九・二・二七	入江 廣太郎	同 細謹會
實地體育法	同 一九・五・二	佐久間 舜一郎	同 西尾書房
岡山縣地理小誌	同 一九・八・一七	橫井 琢磨	同
小學新撰地理階梯	同 二〇・二・一五	佐久間 舜一郎	同
修身要訓	同 二〇・三・一六	進藤 貞範	同 英文會
幼保育の手引	同 二〇・四・一	岡山縣學務課	同 細謹會
小學讀本 八冊	同 二〇・五・五	榎本 常	同
小學習字本 八冊	同 二〇・五・二二	近藤 鼎	同
科 小學習字本 八冊	同 二〇・六・一	西 南台	同

この外、明治五年小田縣は『史略皇國・支那・西洋』を、同八年九月小田郡笠岡村三村立庵は『小學讀本六冊』を、同九年五月西北條郡文華堂は『萬國地誌略三冊』を刊行してゐる。

明治二十年四月岡山縣學務課編輯の『修身要訓』は、宮内省藏版明治十五年十二月の『幼學綱要』に則り、専ら幼學の爲に心術の基礎を立てるべく善行美蹟を網羅したものである。而して縣下に於て出版した教科書の多くが、岡山縣師範學校教師の編纂であることは、長谷川次潔、佐久間舜一郎、福澤毅、高橋孫太郎、進藤貞範、横井琢磨等の著者名によつて窺はれる。

岡山縣下に刊行の小學教科書

紀元二千五百五十五年第一月新鑄

**備前國郡名畫**

官許 岡山縣藏梓

上道郡

元属本村文派稱呼不用  
村字者加園分之下做之

**網濱門田國**

岡山縣學務課編輯 卷三

**小學普通文讀本**

第二

先取此級借用改しを  
正し  
種便為替として正  
仕官由之故も兼及

福井孝治著 卷之四

**小學書讀文章**

發行所 博文堂

小學書讀文章 卷之四

福井孝治編輯

受取法部省  
第五卷  
受取證

一金何百何何何也  
右正 諸子

是より先き、文部省は明治十二年六月十二日「文部省藏版ノ書籍ハ兼ニ悉皆翻刻ヲ許セシガ、今後刊行スル書籍ノ内版權ヲ有シ翻刻ヲ許サザルモノアルベシ」と制限し、次いで同二十一年七月七日府縣に於ける小學讀本編纂方の禁止を内訓した。



習字教科書 從來習字教科書は、縣下各地區々であつたため、明治十年四月十四日、下等小學習字用書として、編譯  
級編輯のものを採定した。

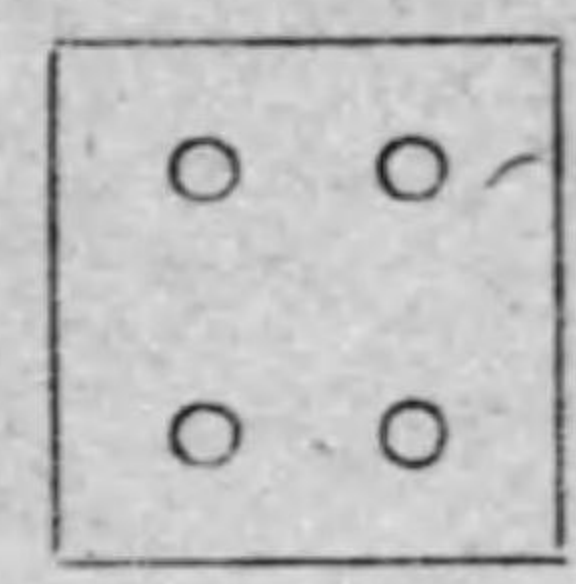
下等小學習字方法

一、習フ處ノ文字ハ等級ニヨリ大小多寡アルベシ。一、草紙ハ每級白半紙ニ限ルベシ。一、筆ハ等級ニヨリテ差異アルベシ、但シ白半紙及墨汁ヲ必ず用ウルハ師範附屬小學ノコトニシテ一般小學ノ如キハ此限ニアラズ

第八級

一、就學後七週間ハ石筆ニテ石磬上ニ假名ノ字形ヲ教ヘ再ビ假名習字手本ヲ與ヘテ執筆運筆ノ法ヲ授クベシ。一、該級ニ於テハ片假名平假名及ビ數字ヲ一ヨリ十迄總計百六字ノ習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字七字ツ、ヲ習ハシメ、一期即六ヶ月間ヲ二十二週間トシ最初石筆ニテ習ハシムル七週間ヲ除キ殘ル十五週間ニ習ヒ卒ラシム

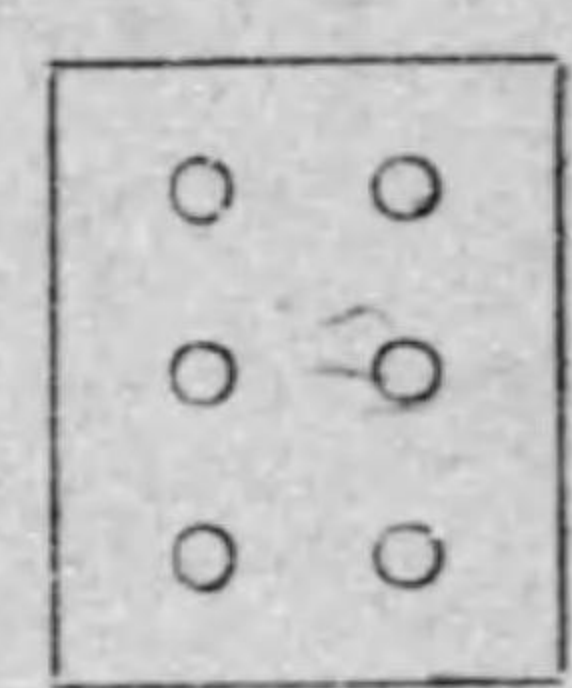
每週清書  
ノ書式



第七級

一、該級ニ於テハ總計二百二十字ノ楷書習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字十字ツ、習ハシメ二十二週間ニ習ヒ卒ラシム

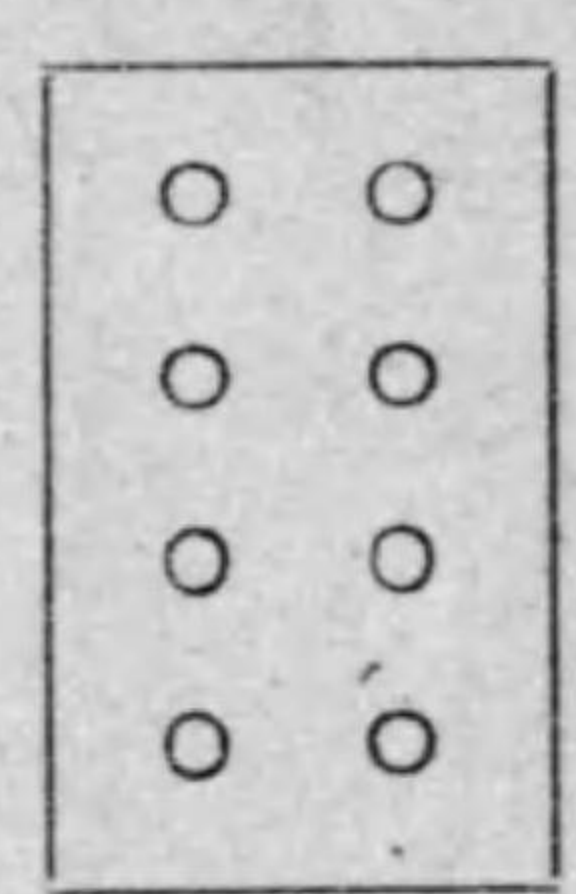
每週精書  
ノ書式



第六級

一、該級ニ於テハ總計三百八字ノ楷書習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字十四字ツ、習ハシメ二十二週間ニ習ヒ卒ラシム

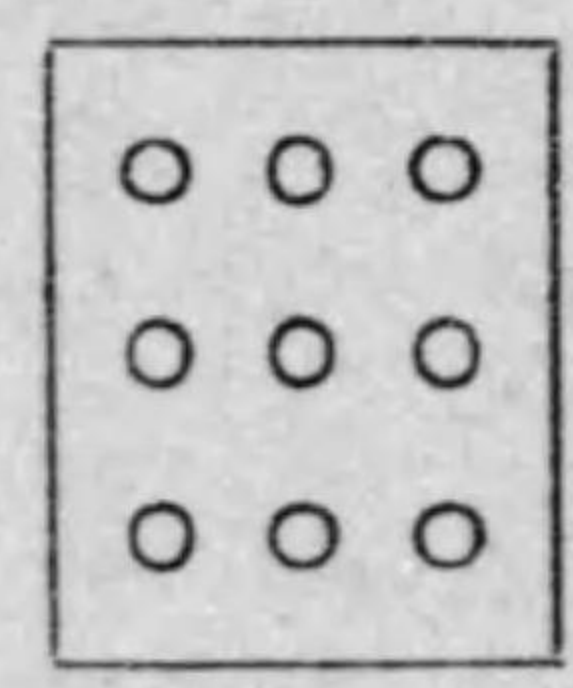
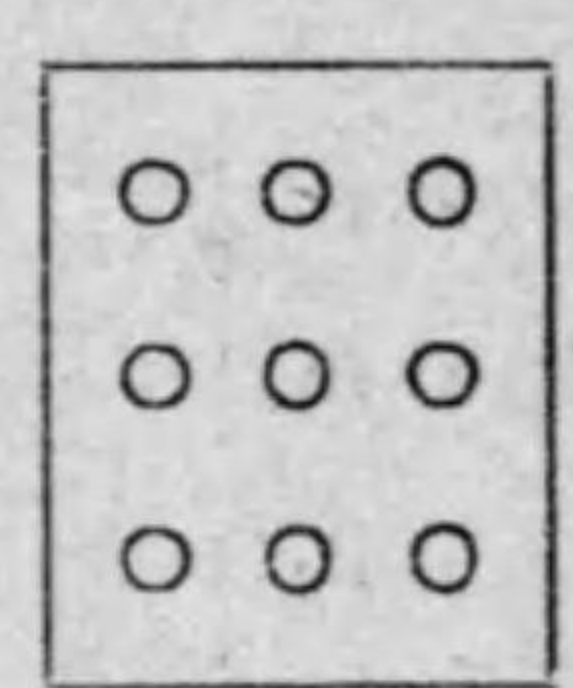
每週精書  
ノ書式



第五級

一、該級ニ於テハ總計四百六十二字ノ楷書習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字二十一字ヲ習ハシメ二十二週間ニ習ヒ卒ラシム

每週清書  
ノ書式



第四級

一、該級ニ於テハ字數ヲ増シ字形モ稍々小縮ニスベキノ所行書ニ轉ズルヲ以テ文字ノ大サ且書式トモ總テ五級ニ同フ

ス、尤習字手本ニ用ウル文字モ亦五級ノ文字ニ異ナルコトナシ

第三級

一、該級ニ於テハ總計六百十六字ノ行書習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字二十八字ヲ習ハシメ廿二週間ニ習ヒ卒ラシム

毎週清書

ノ書式

○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

月日  
姓名

第二級

一、該級ニ於テハ前級ヨリ一層字數ヲ増シ字形モ尙ホ小縮スベキノ處、草書ニ轉ズルヲ以テ文字ノ大サ且書式モ總テ五級ニ同フス、尤習字手本ニ用ウル文字モ亦五級ニ用ウルモノト異ルコトナシ

第一級

一、該級ニ於テハ總計七百九十二字ノ草書習字手本ヲ與ヘ毎週異形ノ文字三十六字ツ、ヲ習ハシメ二十二週間ニ習ヒ卒ラシム

毎週清書

ノ書式

○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

月日  
姓名

上等小學科業用書籍拂下

就學兒童の増加は、自然進級兒童の増加を來した。然るに上等科生の書籍は下等科に較べて高價であるため、「貧乏」徒ハ往々學資ノ匱乏ニ遮斷セラレ、中途ニシテ廢學シ或ハ休業ト唱へ可惜學齡ヲ曠過スルモノ」あるやの杞憂の下に、岡山縣は明治十二年一月二十三日『上等小學科書籍拂下規則』を定めた。

第一條 上等小學科業用書籍拂下ノ旨趣タルヤ貧家ノ子弟ト雖モ學事ニ從事シ勉學ノ一端ヲ助ルガタメ設ルモノナレ

バ、全級科業用書一名毎ニ各一部ツ、ヲ限リ拂下ヲ許ス、尤モ生徒ノ名義ヲ以テ他方ヘ受授スルヲ允サズ

第二條 書籍拂下ヲ請フ者ハ、授業受持教員ノ證印アル書面ヲ以テ郡區役所ヘ願出ツベシ

第三條 拂下書籍代價納メ方ノ義ハ、即金ヲ以テ其郡區役所ヘ收納スベシ(下略)

右に該當の小學科業用書は、小學物理書・小學化學書・小學書法階梯・小學日本文典・修身論・初學人身究理・日本史略・日本地誌要略・萬國史略・萬國地誌要略・具氏博物學・經濟要旨・漢史簡覽等である。

小學生徒試驗法 明治十一年一月二十二日付を以て、「小學生徒ニシテ開校・試験、或ハ校中一同山野ヘ遊歩ノ節衣服

等ヲ改メ候者有之候處、自今平日參校ノ服ニテ外貌ヲ不飾様可爲致」と告諭し、其の十月二十五日『小學生徒試驗法』を改定した。

小學生徒試驗法

一、試業ヲ別チテ三種トス、恒例、進級、卒業試験是ナリ。恒例試験ハ毎月末其月學脩セシ處ノ諸學科ヲ驗スルモノニシテ其優秀ニヨリ席次ヲ改ム、而シテ進級試験ハ春秋兩度其級ニ於テ學脩セシ諸學科ヲ驗シテ優秀ト其級毎次恒例試験ノ優劣トヲ照合シ、合格ノ者ハ昇級セシメ不合格ノ者ハ尙ホ原級ニ止ム、而シテ卒業試験ハ上等或ハ下

等ノ各級ヲ踏ミ終リシ後、其教科ヲ驗シ其優劣ト各種進級試験ノ優劣トヲ合計シ、合格ノ者ハ進メテ上等或ハ中學ニ入ルヲ許シ、不合格ノ者ハ尙ホ原級ニ止ムルモノトス。但シ卒業試験ハ各級共通シ一科ゴトニ驗スルモノトス

- 一、諸科驗スル處ハ其級各生同一ノ箇處タルベシ
- 一、讀書課ハ口答タルベク、語記問答ノ二科ハ被驗生ノ學力能ク普通ノ假字ニテ綴リ得ベケレバ筆答セシメ、若シ否ラザレバ口答セシムベシ、故ニ今假リニ語記問答ノ兩科ハ下等第八第七兩級ニ限り口答トシ其他ハ悉ク筆答トス
- 一、口答試験ハ一生宛一室ニ入レテ試ミ決シテ他生ヲシテ聽カシムベカラズ、筆答試験ハ衆生ヲシテ一席ニ並列セシメテ試ムベシ

- 一、口答試験ハ驗査表ヲ製シテ其誤失ヲ點驗シ、筆答試験ハ各生ノ答紙ニ就テ點驗スベシ
- 一、試験ハ點數ノ多寡ニヨリテ其優劣ヲ判定スベシ
- 一、恒例試験ハ毎科二十點、進級試験ハ一百點、卒業試験ハ二百點ヲ與ヘ、而シテ毎科驗スル所ノ題ノ難易ニ應ジ點數ヲ配賦シテ多寡アルベシ(下略)

下等小學進級試験假規則 (明治十年九月)

第一章 汎 則

第一條 此試験ハ素ヨリ生徒平生學力ノ優劣ヲ判シ其進退ヲ定ムルモノト雖モ、人員ノ多キ或ハ學力不滿ト雖モ僥倖ニシテ合格スルモノナシト云ヒ難シ、故ニ教師最注意シテ習熟セシメ一時ノ僥倖ヲ期スル等ノ事勿ラシメンヲ要ス

第二條 每校必ズ試験ヲ開ク時ハ時日ヲ費スノ夥多ナルヲ以テ、今假リニ土地ノ便利ト生徒ノ都合ニヨリ數校ヲ合セテ一團トシ、一團毎ニ一試験ヲ開クモノトス

第三條 試験ハ訓導及學區取締出張ノ上ニテ施行ス、但開場ノ期ハ豫メ各團ヘ達スベシ、右開場中ハ該團諸校休課タルベシ

第四條 開場中該團ノ諸教員並ニ區戶長保甲長等悉ク出張ノコト

第五條 每團試験ノ外教師生徒及外來人ノ控所各一ヶ所ヲ設ケ置クベシ

第六條 開場中被試生徒ノ父母親戚ハ勿論、其他同村同區ノ者ハ可成丈參觀セシムルヲ要ス

第七條 試験場臨席ノ者ハ試師(即生徒ヲ試験スルモノ)ノ指揮ニ應ズルノ外妄ニ動止言談ス可ラス、但試師ノ外皆腰掛ニ憑ルヲ常トス

第二章 役 員

第一條 役員ハ訓導學區取締區戶長幹事一人試師一人採點者三人伺候二人教員及保甲長トス

第二條 幹事及採點者ハ教員中ヨリ撰擧ス

第三條 試師ハ出張ノ訓導之ヲ勤メ或ハ該團ノ教員中ニテ臨時其人ヲ撰ブベシ

第四條 伺候ハ教員中ヨリ申合ノ上其任ニ當ルベシ、但交代スルモ妨ナシ

第三章 役 員 心 得

第一條 訓導及學區取締心得

一、漸次各團へ轉臨シ速ニ試験ヲ終、直ニ卒業ノ證書ヲ交付スベシ

第二條 區戸長及保甲長心得(但校長周旋方屬ス)

- 一、生徒ノ優劣風俗ノ良否等ヲ觀察シテ其父兄ヲ鼓舞勸奨シ、愈風俗ノ善良ヲ期スベシ
- 一、該團試験一切ノ俗務ヲ取扱フベシ

一、豫メ筆紙墨其他須用ノ物品等ヲ用意シ、幹事ヨリ請求アレバ之ニ應ジ不都合ナカラシコトヲ要ス

第三條 幹事心得

- 一、試験ノ事件器械ノ調達等ニ滯滞ナカラシメ兼テ諸教員ノ事務ヲ監督スベシ
- 一、試師ノ用便ヲ達シ或ハ生徒ノ事故ヲ帳簿ニ記載スル等ノ事ヲ主ルベシ
- 一、試験後各校教員ヨリ出ス處ノ表ヲ纏メテ出張吏員へ出スベシ

第四條 試師心得

- 一、出場ノ生徒ヲ指呼スルハ勿論臨場諸人ヲシテ教場規則ヲ守ラシメ、或ハ其妄動ヲ制止スル等該場内ノ事一切其權ニ歸ス、但生徒在場ノ間ニ限ル
- 一、一科ノ試験了ル毎ニ各生ノ答紙ヲ收メ幹事ニ付シテ、採點者ニ送致スベシ
- 一、試問中恒ニ生徒ノ動靜ヲ察シ其厭屈ノ色アルヲ認ムレバ、適宜ノ時間ヲ量リテ開瀾氣中ニ運動セシムベシ
- 一、既ニ試験ニ臨テハ勉メテ場中ヲ靜肅ナラシメ、時々巡回眼ヲ各生ニ配注シテ其目注雷同等ヲ防ギ、施爲活潑ニシテ多ク時間ヲ費ス可ラズト雖モ、徒ニ躁急ニ涉リテ生徒ノ心ヲ擾亂シ其疑懼ヲ來ス勿レ只言語明亮解説詳細ニ

シテ題意ノ通達センコトヲ要ス

第五條 採點者心得(教員控所ヲ以テ採點室ニ充ツ)

- 一、逐次生徒ノ答紙ヲ閱檢シ之ヲ手本ニ照シテ公平至當ニ正誤ヲ區別シ、(朱ヲ以テ正當ノ者ニハ其番號ノ上ニ○符ヲ印シ、誤答ノモノニハ其減ズベキ數ヲ記シ其末尾ニ於テ○點幾何、誤ノ符點數幾何ヲ記シ置クベシ)。直ニ第三號書式ノ試験表ニ記入シ更ニ第二號書式中ニ改記シ、幹事ニ委シテ共ニ出張吏員ニ出スベシ、但此間該級試験全ク終リシ時一時間ヲ越エザルヲ要ス
- 一、豫メ料紙ヲ用意シ試師及幹事等ト共ニ卒業證書ヲ製シ、試験表ト共ニ差出スベシ
- 一、硯具(朱及墨)及紙等ハ豫メ數組ヲ用意シ置クベシ
- 一、試験答紙ハ毎校一科ヲ一綴トシ各級ヲ一括トシ各括(即各校ノ分也)ヲ一束トシ試験表ト共ニ出ス可シ、而テ每括必ズ校名ヲ付シ置ク可シ

第六條 伺候心得

- 一、外來人控所へ參觀規則ヲ揭示シ以テ該人へ説示ス可シ
- 一、參觀人ノ犯則ヲ糺シ其甚シキモノハ場外へ呼出シ説諭ヲ加ヘテ退場セシム可シ
- 一、試験答紙ヲ幹事ヨリ受取採點者へ送致スベシ
- 一、生徒ノ就席ヲ退場ニ當リ試験場ノ出入ヲ先導スベシ

第七條 諸教員心得

- 一、習熟ノ生徒アル時ハ第一號書式ノ願書ニ通テ製シ試験ノ期ニ先テ願出ツベシ、但試験ノ期ハ豫メ報告ス可シ
- 一、期日ニ至レバ我受持ノ生徒ヲ引率シテ試験ニ赴キ、途中往還ノ看護ヲ爲ス可シ
- 一、撰ニ應ジテ幹事試師及採點ノ任ニ當ルベシ
- 一、申合ノ上伺候ノ任ニ當ルベシ
- 一、試験ノ事件ニ付テハ一々幹事ノ指揮ニ從フ可シ
- 一、生徒控所ノ取締ヲ爲ス可シ
- 一、豫メ第二號第三號書式ノ表ヲ製シテ採點者ニ附托シ置クベシ
- 一、幹事ヨリ第三號ノ表ヲ返還スル時ハ直ニ第四號ノ表ヲ製シテ幹事へ出スベシ
- 一、歸校ノ後直ニ第三號ノ表ニ照シ第五號書式ノ表ヲ製シ該校見易キ位置ニ揭示シテ衆人ニ示スベシ
- 一、右諸事ニ關スルノ外常ニ教場ニアルベシ

第四章 生徒及參觀人心得

- 第一條 生徒心得
- 一、出入進退教師ノ指令ヲマツベシ
  - 一、試験ノ當日ハ朝晨ク起キ我教師ニ從ヒ起業前三十分迄ニ試験ニ赴ク可シ、且携具ヲ遺忘ス可ラズ、但起業時限ニ後ル、モノハ當日ノ試験ニ昇ルヲ許サズ、携具、但六級以上ハ石盤ヲ持タシム、鉛筆二本、小刀一柄、罫紙十枚以上、半紙二枚、硯墨及習字筆共、辨當、但鉛筆小刀ニ換フルニ小筆墨壺矢立等ヲ以テスルモ妨ゲナシ

第二條 參觀人心得

- 一、參觀ハ老若男女ヲ論ゼズ之ヲ許スト雖モ十五歳以上ノ者ニ限ル
  - 一、參觀ヲ欲スル者ハ其姓名ヲ伺候教員ニ告テ控所ニ待ツベシ、但止ヲ得ザル時ハ伺候ニ告テ其指示ヲ待ツベシ
  - 一、教場ニ於テ喫煙又ハ談話放笑等爲ス可ラズ
  - 一、在場中ハ必腰掛ニ倚リテ手ヲ膝上ニ托スベシ
- 右ノ通堅ク相守ル可シ

第五章 試場及其器具

- 第一條 試場ハ廣潤ニシテ暗カラズ、四圍屏障アルヲ要ス
- 第二條 正面ヲ試師ノ位置トシ此ニ大塗板二枚ヲ聯揚シ傍ニ一机ヲ安テ左ノ諸具ヲ排置シ且椅子一脚ヲ備フ、白墨、塗板拭、半紙、鞭、鉛筆、小刀、該級須用書籍器械、水入（土瓶ノ如キモノヲ可トス）
- 第三條 兩邊ニ椅子數脚ヲ並列シ一邊ヲ諸教員ノ坐トス
- 第四條 正面ト一邊トノ隅角ニ於テ一机ヲ置キ上ニ硯具（朱及墨共）ト生徒名簿ヲ備ヘ又椅子一脚ヲ安置シテ幹事ノ坐トス
- 第五條 中央塗板ニ對スル處ハ皆被試生徒ノ席ニシテ、机腰掛一組二人ノ割合ヲ以テ並ニ數十脚ヲ排列シ其間縱橫四通ノ餘地ヲ存シテ巡回視察ノ便路トス、但此列机ニハ順次番號ヲ付シ各生徒ニモ亦之ニ付スル番號ヲ與テ以テ就席退出ノ雜沓ヲ豫防ス

第六條 生徒ノ後方腰掛數脚ヲ供ヘ參觀人ノ坐席トス

第七條 兩邊ノ末尾參觀人ノ兩端ニ近キ所椅子二脚ヲ對置シ伺候教員ノ坐ヲ設ク  
以上器具ノ外火煙携具等該場ニ置ク可ラス

第六章 試驗法

第一條 各級試験ノ科目ハ算術・書取・問答・習字・讀書ノ五項(五級以上ハ六項トス)トス、其試問ノ順序モ亦コ  
、ニ序スルガ如ク算術ヲ先トシ讀書ヲ終トス

第二條 試験同級ノ生徒ハ勉メテ同時一席ニ於テ一問宛回答セシムルヲ要ス

第三條 讀書科ヲ除ク外ハ答ヲ表スルニ言語ヲ以テセズ毎科一々紙上ニ筆記セシム

第四條 讀書科ハ各一席ニ呼出シ讀誦及講義セシム

第五條 毎科ノ點數ヲ一百トシ總計ノ點數ヲ五百(五級以上ハ六百)ト定ム

第六條 點數ハ豫メ毎問ヘ配賦シ置キ無失ノ者ニハ全點ヲ與ヘ、以下誤謬多寡輕重ヲ按シ漸々之ヲ減却ス

第七條 毎級一科ニ付二分ノ一總計ニ付五分ノ三以上ノ點數ヲ得ルモノハ、卒業ノ證書ヲ交付シテ進マシム

第八條 前條ニヨリ總科ノ點數二分ノ一ヲ下ルモノアル時ハ尙原級ニ止ラシム

第九條 算術・書取・問答ノ三科ハ各十件ヨリ少カラズ十五件ヨリ多カラザル問題ヲ與フベシ

第十條 習字科ハ大凡其級ニ於テ每週習フ處ノ文字ノ數ト等シカルベシ

第十一條 作文科ハ大凡填字行文合テ二章ヨリ少カラズ三章ヨリ多カラザルベシ

第十二條 讀書科ハ八級ハ單語十款連語三章トシ、七級以上ハ每書各四分ノ一葉ヨリ少カラズ、三分ノ一葉ヨリ多カ  
ラザルベシ

第十三條 各級試験ノ問題ハ訓導之ヲ撰出スベシ

第七章 採點法

第一條 算術科

一、記數及命位法ハ一數字ヲ誤ル毎ニ全點ノ三分ノ一ヲ減ジ零ヲ數字ニ記スルモノハ三分ノ二ヲ減ジ、位ヲ誤ルモ  
ノハ零點トス、但該法若シ二數字ヲ以テ終ル時ハ一數字ヲ誤ル毎ニ二分ノ一ノ點數ヲ減ズベシ

一、心算ハ答ヲ失スレバ直ニ零點トス

一、標目(即等標及加減乘除標等ノ如シ)等ヲ尋ル時モ猶前條ニヨル

一、式等ハ一數字ヲ誤ル毎ニ全點ノ三分ノ一ヲ減ジ、二位ヲ誤ル毎ニ二分ノ一ヲ減ズ

一、設題ハ答式共ニ其當ヲ得ルモノニハ全點ヲ與ヘ、答其當ヲ得ズト雖モ式其當ヲ得、式其當ヲ得ズト雖モ答其當  
ヲ得ルモノニハ五分ノ一ヲ與フベシ

第二條 書取科

一、字畫ノ難易ニ應ジテ豫メ文字ノ右肩ニ點數ノ符號ヲ記載スベシ

一、假名字ハ異體ノ文字ヲ記スモノニハ全點ノ三分ノ二ヲ減ジ、濁音次清音符ヲ失シ或ハ多畫ノ文字ニシテ一畫ヲ  
誤ルト雖モ、尙字形ヲ爲スモノハ三分ノ一ヲ減ズベシ

一、七級以上ニ於テハ變體草體相錯雜スト雖モ、正體ト變體ト相錯雜スルニ非レバ妨ゲナシトス  
 一、漢字ハ多畫ノ文字ニシテ一兩畫ヲ誤ルト雖モ、尙字形ヲ爲ス者ハ一畫ヲ誤ル毎ニ全點ノ二分ノ一ヲ減ジ寡畫ノ文字ハ一畫ヲ誤ルト雖モ零點トス

第三條 問答科

一、答ノ精粗ト點數配賦ノ多少トヲ酌量シテ増減スベシ

第四條 習字科

一、字畫嚴正ニシテ運筆稍法ニ合フ者ニハ全點ヲ與ヘ、以下其巧拙ヲ按シテ點數ヲ増減スベシ

第五條 作文科

一、填字ハ字畫端正ニシテ填スル處ノ文字適當スルモノニハ全點ヲ與ヘ、以下其優劣ニ應シテ漸ク之ヲ減削ス  
 一、行文ハ章句能ク對語調能ク整テ文意通暢スト雖モ字畫方正ナラザルモノ之ニ次ギ、字畫方正ト雖モ文意通暢セザルモノ又之ニ次ギ、以下之ニ比例シテ文ノ優劣ニ從ヒ互ニ相減シテ零ニ至ル

第六條 讀書科

一、誦讀ハ若シ誤讀スルモノアレバ反覆尋問シ全ク答フル能ハザル時ハ、衆人ノ讀易キ文字ハ一字ヲ誤ル毎ニ全點ノ五分ノ一ヲ減シ、讀難キ文字ハ一字ヲ誤ル毎ニ八分ノ一ヲ削ルベシ  
 一、講義ハ其減却法猶誦讀ノ如シト雖モ、通章ノ主旨ヲ誤ルモノハ三分ノ二ヲ削ルベシ  
 一、點數ハ全點ノ四分ノ一ヲ以テ誦讀ニ當テ四分ノ三ヲ以テ講義ニ當ツベシ(森田佐平手記)

小學教則改定 『學制』に準據して、制定の『小學教則』を、明治十一年六月二十一日左の如く改定した。

小 學 教 則 (岡山縣達)

甲 種

上等小學教則

尋常小學上等科ハ小學ニ於テ各自ニ之ヲ施スノ便ナルニ如カズトイヘドモ、今其生徒ノ少キト資本ノ乏キトニヨリ、一郡或ハ一部落ノ中ニ於テ土地ノ便宜ニ隨ヒ小學五六級又ハ十數校ヲ以テ一部トナシ、其間ニ一ノ上等小學ヲ設置スルモノトス。其資金ハ其部内ノ課金ト官ノ扶助金及ビ生徒受業料ヲ以テ之レニ充ツ。但右ハ設立方法ノ概略ヲ豫定スルモノナレバ之レヲ實施スルニ當リテハ、地方ノ便否ヲハカリ適宜ニ之レヲ施行センコトヲ要ス

第一年第一期第八級

讀書、日本地誌要目、日本史略ヲ用キテ輪讀セシム。輪講、前日輪讀セシ處ニ就テ輪讀セシム。語記、前日輪講セシ處ニ就テ語記セシム。算術、記數命位及ビ加減乘除ヲ一層精密ニ授ケ兼テ珠算ノ四則雜題ヲ授ク。作文、記事及ビ書牘文ヲ綴ラシム。口授、物品談、修身談較其說ヲ高尚ニス。地理、談諸書ニ據テ自然地理天文地理ヲ授ク。習字、楷書ヲ授ク。畫法、曲直線及形體ヲ畫カシム。體操、體操書ニ據ル以下之ニ做ヘ。

第一年第二期第七級

讀書、日本地誌要略・日本史略ヲ用キテ輪讀セシム。輪講、前級ノ如シ。語記、前級ノ如シ。算術、數質分數小數ヲ一層精密ニ授ケ兼テ珠算ノ四則雜題ヲ授ク。作文、前級ノ如シ。口授、前級ノ如シ。習字、前級ノ如シ。畫法、畫法楷梯ニ據リテ物品

ヲ畫カシム、體操。

第二年第一期第六級

讀書漢文簡覽・萬國地誌要略ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術諸等求率單率比例ヲ一層精密ニ授ケ、兼テ珠算ノ異乘同除ヲ授ク。作文前級ノ如シ。口授前級ノ如シ。習字行書ヲ授ク。書法前級ノ如シ。體操。

第二年第二期第五級

讀書萬國史略・萬國地誌略ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術合率比例按分遞折比例ヲ授ケ兼テ珠算ノ同乘異除ヲ授ク。作文前級ノ如シ。口授修身談前級ノ如シ。物理談・文法談・諸書ニ據テ授ク。習字前級ノ如シ。書法前級ノ如シ。體操。

第三年第一期第四級

讀書萬國史略・小學物理書・日本文典ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術混和法和較法百分算ヲ授ク。作文前級ノ如ク且ツ論說文ヲ綴ラシム。口授前級ノ如シ。幾何幾何初步ニ據テ授ク。習字草書ヲ授ク。書法前級ノ如ク兼テ幾何畫法ヲ授ク。體操。

第三年第二期第三級

讀書修身論・小學物理書・日本文典ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術百分算累乘法・開平方ヲ授ク。作文前級ノ如シ。口授修身談前級ノ如シ。化學談・生理談・博物談諸書ニ據テ授ク。幾何前級ノ如シ。習字前級ノ如シ。書法前級ノ如シ。體操。

第四年第一期第二級

讀書小學化學書初學・人身究理・具氏博物書ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術開立方級數法ヲ授ク。作文前級ノ如シ。口授修身談・博物談前級ノ如シ。經濟談諸書ニ據テ授ク。國政談諸書ニ據テ我國々體政體ノ大略ヲ授ク。幾何前級ノ如シ。記簿商家必用ニ據テ單記法ヲ授ク。習字細字速寫法ヲ授ク。書法前級ノ如ク兼テ地圖畫法ヲ授ク。體操。

第四年第二期第一級

讀書小學化學書・經濟要旨・具氏博物書ヲ用キテ輪讀セシム。輪講前級ノ如シ。語記前級ノ如シ。算術求積法ヲ授ケ且諸法ヲ溫習セシム。作文前級ノ如シ。口授幾何・記簿・習字・書法前級ノ如シ。體操（右畢テ卒業試驗ヲ經テ中學ニ入ラシム）  
下等小學教則

第八級

讀書五十音圖・以呂波圖・濁音圖・次清音圖・單語圖ヲ教フ。復習前日授ケシ處ニ就テ復習セシム。語記前日授ケシ處ニ就テ語記セシム。算術數字圖・算用數字圖ヲ以テ其讀方ト書法トヲ教ヘ且計數器ヲ以テ物數ノ計ヘ方及ビ百以下ノ記數法命位法ヲ授ケ加減算九々ヲ語誦セシメ容易ナル加減心算ヲ教フ。書取假字ノ三本濁音次清音及ビ單語圖ヲ假字ニテ書取ラシム。問答單語圖或ハ實物ニ就キ其性質及ビ用方等ヲ問答シ兼テ色圖ノ七色ニ及ブ。口授物品談・養生



談・修身談。習字、石盤若クハ硝子盤ニテ假字ノ三體ヲ教ヘ次ニ習字本ヲ與ヘテ執筆運筆等ノ法ヲ授ク。體操、體操書ニ據ル以下之ニ倣ヘ。

第七級

讀書、連語圖・小學讀本卷ノ一ヲ教フ。復習、語記、前級ノ如シ。算術、八位以下ノ記數法命位法ヲ授ケ兼テ乘除九々ヲ誦讀セシメ容易ナル乘除心算ヲ授ク。書取、單語圖・連語圖ヲ書取ラシム。問答、單語圖及ビ實物色形體線度ヲ問答シ兼テ人體ノ部分ニ及ブ。口授、物品談・養生談・修身談・地理談。習字、楷書ヲ授ク、體操。

第六級

讀書、小學讀本卷ノ二・地理初步ヲ教フ。算術、加減心算及ビ加減運算ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ一ヲ書取ラシム。復習、誦記、問答、口授、習字、前級ノ如シ。體操。

第五級

讀書、小學讀本卷ノ三・本縣地誌略卷ノ一ヲ數フ。算術、乘除心算及ビ乘除運算ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ二ヲ書取ラシム。作文、記事文填字。口授、物品談・修身談・地理談・物理談。復習、語記、問答、習字、前級ノ如シ。體操。

第四級

讀書、小學讀本卷ノ四・本縣地誌略卷ノ二・三ヲ教フ。算術、四則心算及ビ四則應用問題ヲ授ケ兼テ珠算ノ加減法ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ三ヲ書取ラシム。復習、語記、前級ノ如シ。作文、記事文及書牘文填字。問答、單語圖或ハ實物ニ就キ較ヤ高尚ナルコトヲ問答ス。口授、物品談・修身談・地理談・博物談。習字、行書ヲ授ク、體操。

第三級

讀書、小學讀本卷ノ五・日本地誌略卷ノ一・二ヲ教フ。復習、語記、問答、習字、前級ノ如シ。算術、容易ナル分數心算及運算ヲ授ケ兼テ九歸々除表ヲ誦讀セシメ珠算ノ乘除法ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ四ヲ書取ラシム。作文、容易ナル記事文及ビ書牘文ヲ綴ラシム。口授、修身談・博物談・歷史談、體操。

第二級

讀書、小學讀本卷ノ六・日本地誌略卷ノ三・日本略史上ヲ教フ。復習、語記、作文、問答、口授、前級ノ如シ。算術、小數心算及ビ奇零三位以上ノ小數法ト諸等心算及ビ諸等法トヲ授ケ兼テ珠算ノ四則應用ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ五ヲ書取ラシム。習字、草書ヲ授ク、體操。

第一級

讀書、日本地誌略卷ノ四・日本略史・萬國史略ヲ教フ。算術、容易ナル求率法單比例ノ心算及ビ運算ヲ授ケ兼テ珠算ノ四則應用ヲ授ク。書取、小學讀本卷ノ六ヲ書取ラシム。作文、問答、口授、習字、復習、語記、前級ノ如シ。體操。(右畢テ卒業試験ヲ經テ上等小學ニ入ラシム)

乙種

普通小學ハ人民生活上必需ノ要路ナレバ都鄙ノ別ナク一般必行スベキハ勿論ナレドモ人民ニ産業ノ厚薄アリ、子女就學ノ時日ニ多少アリテ、往々普通全備ノ科ヲ踏シメ難シ、依テ更ニ民情ヲ酌量シ假則ヲ設ケ之ヲ乙種教則トス。一、等級ヲ分チテ八級ト定メ毎級ノ修業ヲ六ヶ月ト假定ス。二、年齢ハ滿六歳ヨリ十四歳迄ノ者ニシテ在學ハ四ケ年

間トス。三、毎日修業ノ時間ハ五時間トス、右ノ外總テ尋常小學ノ規則ニ準據スベシ

第八級

讀書五十音圖・伊呂波圖・濁音圖・次清音圖・單語圖ヲ授ク。算術珠算基數大數小數名命等ヲ授ケ兼テ加減九々ヲ誦セシム。習字五十音いろは及ビ行草二體ヲ以テ適宜ニ地方必用ノ文字ヲ習ハシム。書取正草二體ノ假名ニテ單語ヲ書取ラシム。口授修身談・地理談・品物談・養生談・日用ノ事件。

第七級

讀書小學讀本卷ノ一・本縣地誌略卷ノ一。算術珠算加減運算ヲ授ケ乘算九々並ニ九歸表ヲ誦セシム。習字楷行草ノ三體ヲ以テ適宜ニ地方必用ノ文字ヲ習ハシム。書取作文ニ有用ノ文字ヲ書キ取ラシム、口授前級ニ同ジ。

第六級

讀書小學讀本卷ノ二・本縣地誌略卷ノ二。算術珠算九歸同ク還原ヲ授ケ歸除表ヲ誦セシム。習字書取前級ニ同ジ。口授歷史談・修身談・養生談・日用ノ事件。

第五級

讀書小學讀本卷ノ三・本縣地誌略卷ノ三。算術珠算歸除同ク還原ヲ授ケ乘除定位並ニ諸法雜題ニ及ブ。作文記事文・填字。習字、口授前級ニ同ジ。

第四級

讀書日本地誌略卷ノ一二・小學讀本卷ノ四。算術筆算記數法及ビ加減乘除運算ヲ教ユ。習字前級ニ同ジ。作文記事文。

書讀文填字。口授修身談・養生談・歷史談・經濟談・日用ノ事件。

第三級

讀書日本地誌略卷ノ三四・日本略史卷ノ一。算術算術四則應用ノ設題及ビ容易ナル分數ヲ教ユ。作文記事文・書讀文。口授前級ニ同ジ。

第二級

讀書萬國地誌略卷ノ一二・日本略史卷ノ二。算術筆算小數(十分分數)及ビ諸等法ヲ教ユ。作文、習字前級ニ同ジ。口授前級ニ博物談ヲ加フ。

第一級

讀書萬國地誌略卷ノ三・萬國地誌略卷ノ一二。算術筆算求率法及ビ單率比例ヲ授ク。作文記事並ニ論說・書讀文。習字、口授前級ニ同ジ。

教員の任用 『學制』頒布當時教員の資格は、小學に在りては二十歳以上、中學に在りては二十五歳以上と、年齢に制限を附けるのみで、全く材幹本位で任用した。

明治九年五月廿四日に至り『小學校新教員試験規則』を定め、「新ニ教員ニ任ズル者ハ師範學校ニ於テ學力ヲ試験シ授業法ヲ傳へ、尙附屬小學ニ入レ授業ノ巧拙ヲ視察シ等級ヲ命ズ云々」と、試験の外に實地授業の講習を受けしめることとした。

教員授業法傳習入校規則

一、入校中ハ訓導ノ教訓ニ任ズ 一、入校ハ三週間以上トス 一、師範學校ニ寄宿セシメ賄ヲ遣ハス、(賄トハ師範學校費ヨリ一日貳拾錢ヲ支給シ、通學者ニハ月給ヲ給シテ賄ヲ給セズ) 即ち在職者は、其の儘入所受講せしめ、新に任用せんとするものは、受講後等級を附して任用するものである。

同年九月の布達によると、新任者は三週間乃至五週間假に其の校に備入れ巡回訓導によつて學力を試査し、一等助教以下の見込ある者は區戸長・巡回訓導・學區取締の連署にて採用方を縣令に伺ひ、三等教授以上の者は學區取締より採用方を伺ふことになつてゐる。

翌十年七月に至り小學校教員の年齢を、滿十八年以上と定めた。但し會議所限りにて雇入の者は(これは授業生とも云ふべく、教へつゝ修學する暫定的の助手で、多く十四五歳以下)例外として認めたのである。

三、中等教育

學區の更改 既述の如く『學制』は、全國を八大學區後七大學區に改むに、更に一大學區を三十二中學區に分け、每區に一中學校を置く劃一制であつた。



明治十一年の小田郡小學校教員

第四大學區第一中學區、御野・上道・津高三郡明治六年九月三十日第一中學區ト改稱、邑久・和氣・磐梨・赤坂四郡同月三十二日中學區ト改稱

第三中學區、兒島郡同月三十三日中學區ト改稱

第五大學區第九中學區、小田・後月二郡外ニ現廣島縣神田・沼隈・品治四郡、第十中學區現廣島縣深安・芦田・沼隈・品治四郡、第十一中學區、川上・阿賀・哲

多・上房・賀陽五郡、第十二中學區、都宇・下道・窪屋・淺口四郡、第十三中學區、東南條・西北條・勝北・勝南・吉野・英田七郡、第十四中學區、大庭・眞島・西々條・久米北條・久米南條五郡

明治八年小田縣を岡山縣に合併の結果、第五大學區後四大學區と改む中、第九・第十・第十一・第十二の各中學は存置し、第四大學區中の御野・上道・津高三郡を第十三中學區、邑久・和氣・磐梨・赤坂四郡を第十四中學區、兒島郡を第十五中學區と變更したが、翌九年北條縣を岡山縣に合併の結果、第五大學區後四大學區と改む中、第十三中學區を第十六中學區、第十四中學區を第十七中學區に變更すると共に、小田縣管下の備後六郡を廣島縣に合併後、川上・小田・後月三郡を以て第十中學區と定めた。即ち岡山縣は第四大學區第十中學區より、第十七中學區に至る九分制となつたのである。

公立二中學校 明治七年六月溫知學校内に創立の中學生養成所を、同九年四月岡山縣師範學校變則中學科と改め、同十一年には津山にも變則中學科を設けた。而して同十二年二月十日、前者を岡山中學校、後者を津山中學校同十三年六月廿二日廢校と改めた。これが岡山縣の公立二中學校である。

尤も『岡山縣學事調』明治八年のものに「御野郡西中山下遺芳館及萬年學舎、兒島郡天城村靜修館は私立中學」、同年のものに「中學校公立一、私立三一」、同十一年のものに「公立二、私立三十六」とあるを以て、公立二中學校の設立に先だち私學による中等教育が實施されてゐたと觀なければならぬ。

明治十二年度地方稅支辨中學校費

種別	費目	
	俸給	給與
岡山中學校	二、二三八・〇〇	四二四・七七
津山中學校	八七六・〇〇	一一一・四〇
合計	三、一一四・〇〇	五四六・一七
	旅費	需用費
岡山中學校	一二二・四一	二二五・〇〇
津山中學校	五一・〇〇	一四〇・〇〇
合計	一七三・四一	三六五・〇〇
	書籍費	器械費
岡山中學校	六六一・〇〇	三六七・九六
津山中學校	一〇〇・〇〇	七四・〇〇
合計	七六一・〇〇	四四一・九六
	管轄費	合計
岡山中學校	三五九・〇〇	四、三九八・一四
津山中學校	七〇・〇〇	一、四三二・四〇
合計	四二九・〇〇	五、八八〇・五四

二中學校の修業は四ヶ年、八級より一級に及び半期進級制であつたが、同十二年四月「岡山中學校教則」を改めて甲乙の二種とし、甲種の教科書は洋書に依らず修業三ヶ年、乙種の教科書は洋書に依り四ヶ年終了とした。

岡山中學校教科課程表 (明治十二年四月定)

種別	課目	第一		第二		第三	
		年	年	年	年	年	年
甲	文	(三) 習字	(三) 作文	(二) 同上・同上	(二) 同上・同上	(二) 同上・同上	(二) 同上・同上
	地	(五) 兵要萬國地理小誌	(五) 地形論	(一) 同上			
	史	(六) 皇朝史略	(六) 十八史略上	(六) 元明史略上	(六) 萬國通史	(六) 同上	(四) 西洋開化史
	數	(六) 小數諸等數	(六) 求積ニ至ル	(六) 代數一次方程式	(五) 同上	(六) 幾何	(六) 三角法
	體						
	經			(二) 生理淺説	(三) 同上	(六) 新式化學	(二) 同上
	博				(一) 同上		
	簿				(三) 單記	(四) 複記	
	生				(二) 中學動物學	(三) 中學植物學	(三) 寶氏經濟學
	化						
	理			(五) 物理全誌	(三) 同上		
	畫	(二) 物品	(二) 植物	(二) 動物	(二) 山水	(三) 幾何畫法	(三) 製圖
	修	(二) 四書ノ内	(二) 同上				
	身						
	學						

種別	科目	種														
		體操	經濟學	博物學	簿記	生理學	化學	理學	畫學	修身學	體操	經濟學				
英學	第一	八級							(二) 物品	(二) 四書ノ内						
		七級							(二) 植物	(二) 同上						
	第二	六級							(五) 生理淺説	(二) 動物						
		五級	(三) 讀本													
第三	四級	(三) 文典		(二) 中學動物學	(三) 單記	(一) 同上		(三) 同上	(二) 山水							
	三級	(三) 花文		(三) 中學植物學	(四) 複記		(六) 新式化學	(三) 同上	(三) 幾何畫法							
第四	二級	(三) 開化史		(三) 寶氏經濟學	(三) 地質學		(二) 同上		(三) 製圖							
	一級	(二) 同上														

乙											
種	博物學	簿記	生理學	化學	理學	文章學	地學	修身學	書學	史學	數學
								(二)四書ノ内	(二)物品	(六)皇朝史略	(四)四則、小數、分數
							(五)萬國地理	(一)同上	(二)植物	(六)十八史略上	(五)諸等數、百、分算
							(四)地形論	(一)同上	(二)人物	(六)元明史略上	(五)開法、級數、求積
						(五)文章軌範	(二)同上		(二)山水	(六)萬國史	(六)代數一次方程式
	(二)單記	(二)生理學		(六)物理學	(四)同上			(三)幾何書法			(五)代數高次方程式
	(一)中學動物	(三)同上	(一)同上	(四)化學	(三)同上	(三)八大家文		(二)同上			(四)幾何平面
	(二)動物植物	(一)複記		(四)同上		(四)同上					(四)同面積上
		(二)同上		(二)同上		(三)同上					(六)三角

體操	天文學	經濟學	地質學
			(一)地質
	(二)天文	(三)經濟	(四)同上

(備考) 授業時數、甲乙種共每週二十四時間、體操ハ時間外ニ課ス。授業料月額縣内者金拾錢、縣外者金貳拾錢  
 明治十二年通常岡山縣會に於て、備中高梁に中學校設置の建議を提出したが實現しなかつた。(岡山縣會史)

岡山縣中學校教科課程表

和漢文	修身	科學	初等科		中等科		高等科	
			前級期	後級期	前級期	後級期	前級期	後級期
七	二	數時	第八級期	第七級期	第六級期	第五級期	第四級期	第三級期
文作書讀 文名文書漢近文日 交假讀文易法本	善嘉 行言	嘉嘉	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同	同	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
六	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
文假同漢和同 文名上漢和同 交上 文上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
六	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
文假漢同漢同 文名上漢和同 交上 文上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
六	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
文假漢同漢同 文名上漢和同 交上 文上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
七	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同	同	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
七	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同	同	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
七	三	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
詩同同 歌上上 文上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
七	三	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同	同	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
七	二	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上
八	六	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上

金石	植物	動物	生理	歷史
				二 史 日本歷
				二 同
		二 用慣育構分總 等性殊造科論、 効性發法、		二 同
		二 同		二 史 支那歷
	二 効育構分總 用殊造科論、 等性發法、			二 同
	二 同			二 史 萬國歷
			二 養其諸吸循及肉骨總 生効器等血消皮骼論、 法用並ノ呼化膚筋、	二 同
			二 等 及 感 覺 器 等 及 神 經	二 同
二 分石學金總 化化、石論 法學金理、				
二 意質等用產性 學、談地狀、 大地別効、				
四	四	四	四	一六

地理	三角法	幾何	代數	算術	英語
二 理 日本地 日本地 總論				五 數數題四 、小分難	六 讀取譯 方字習、 字綴書
二 國地理 理、萬 日本地				五 開平 諸 百分算 比例	六 同
二 理 萬國地			二 術 整 數四	二 求級開 積數立	六 取讀文 讀法譯 方書譯
二 象空地地 論中球文、 顯論		二 何 平 面幾	二 術 分 數四		六 同
二 論產陸物象海 生地論、洋 物物、生顯		二 同	二 方 程 式		六 文法讀 、方 作 文 譯
		三 同	二 同		六 同
		二 何 立 體幾	二 級 錯 順		六 作 讀
		二 曲線 立 何常用 體幾	數 列 列		文 方
					六 同
	二 數化八 用法、對 結 二變				七 作 讀 修
	二 角實對 算法、三 數 用				文 書 辭
					七 同
					七 作 讀
					文 書
					七 同
一 〇	四	一 二	一 〇	一 二	七 六

英語	和漢	修身	科學		初等 中學 配科	
			第一級	第二級		
三讀本	ウエブスト ル綴字 キルソ ニ讀本	小學外篇	第八級	第一級	初等 中學 配科	
讀本	同	同	第七級	第一級		
讀本	同	孝經	第六級	第二級		
讀本	同	忠經	第五級	第二級		
讀本	同	論語	第四級	第三級		
讀本	同	同	第三級	第三級		
初歩作文	同	同	第二級	第四年		
同	同	同	第一級	第四年		
及修辭書	同	近大思錄	第四級	第一級		高等 中學 配科
同	同	同	第三級	第一級		
詞格論	同	近中思錄	第二級	第二級		
同	同	同	第一級	第二級		

岡山縣中學校教科用書

通計	體操
一三	三
九	動器動徒 械械手 運運運
一三	三
九	同
一三	三
一	動器 械械 運運
一三	三
一	練步動徒 兵手 操運
一三	三
一	同
一三	三
一	同
一三	三
一	同
一三	三
一	同
一三	三
九	同
九	同
九	同
八	同
九	同
七	同
四	同
一	同
九	三
一	六

圖畫	習字	法本 令邦	記簿	經濟	化學	物理
器具等	二楷書					
寫實物	二同					
模寫	二行書					
模寫	二草書					
幾何圖						二重學 ノ大意
何圖						ノ電氣學 ノ大意
二同					二無機 學大意	
二同					二同	
二同				二配生總 財財論		
二同			二單式	稅行幣交 租付銀貨		二重學 ノ總論
二同			二複式			二熱學 ノ總論
法遠景寫		二法現 行ノ			二金非 屬屬	二磁氣 學
景寫法					三意學ノ 大	三意學ノ 大
一四	八	二	四	四	一一	一三

圖畫	習字	本邦法令	記簿	經濟	化學	物理	金石
本上等書學	楷書						
同	同						
同	行書						
同	草書						
圖法一斑						改正 物理全誌	
同						同	
同				實氏 經濟學	訓蒙化學		
同			馬耳蘇氏 記簿法	同	同		
景法初射	ワレン射		同			土都華氏 物理學	金石學 勞氏地質 學初歩
同	同				羅斯河 化學書	同	同
畫法幾何		類集法規			同	同	
同					同	同	

植物	動物	生理	歷史	地理	三角法	幾何	代數	算術
			國史學要	與地誌略 日本地誌 要略				筆算摘要
	小動物 口授		同	略 國地誌要				同
	同		同	要略 萬國地誌			代數教科 書	同
			十八史略 續十八史 略	地理論略		幾何教科 書	同	
普通植物 學			十八史略	同		同	同	
同			泰西史鑑			同	同	
		生理養生 論	同			同	同	
		同	西史綱紀 正續近世			同		
					三角法			
					同			



四、師 範 教 育

岡山縣師範學校 明治九年三月十八日、溫知學校を岡山縣師範學校と改稱した。故に岡山縣の師範教育は、明治七年六月十二日創立の溫知學校から出發してゐる。同八年十一月岡山城内の溫知學校を、岡山藩學校舎に移轉、翌九年三月十八日福山師範學校を併せ、四月には變則中學科並に小學校を附設し、八月には岡山縣師範學校津山支校を設け、同校にも亦小學校を附屬した。なほ本校の附屬として岡山東中山下に女子師範學校を設け、九月には津山二階町に津山支校附屬女子師範學校を設けた。

自明治九年一月 至同 十二月 岡山縣師範學校費

費 目	岡 山 本 校	津 山 支 校	女 子 部	合 計
給 料	四、二二六・一八八	六九〇・一〇六	三四七・二五四	五、二六三・五四八
書籍購入費	八七・五七三	四三・二〇〇	一五九・九〇八	二九〇・四九二
器械購入費	三一・一三三八	一六九・二一五	一五一・七一九	六三二・二七二
賃 費	二八・六八七	—	—	二八・六八七
他 計	三、六五〇・一〇五	七三三・〇七七	二四二・八四九	四、六二六・〇三一
合 計	八、三〇三・八八九	一、六三五・五九八	九〇一・七二八	一〇、八四一・二一五

岡山縣師範學校創立當時の生徒は、溫知學校のものを主とし、之に津山・福山兩師範生を加へられたるにより、教科

目も暫時三校のものを折衷して規定されたと聞き及び申候、生徒は年齢に差あり、學力も不同、一面には教員の需  
要は早天の雲霓を望むの有様なれば、教科規定の年月に關せず、相當の生徒は選抜して編入、卒業せしめらるゝ次第  
にて大に自習を督勵せられ、講堂を自習所に充て朝六時寄宿舎を出て、終日此處に詰め各々所定の自習科目に付研究  
し、教室へは自習所より出入せり。生徒の組合せも學力を基準とせられたる情況、當時の教科目は左の通りに候（岡  
山縣師範學校創立五十年記念誌）

科 目	第 一 科	第 二 科	第 三 科	第 四 科	本 科
正 科 目	勸善訓蒙前篇 國 史 略 日 本 外 史 泰 西 史 鑑	同 上 後 篇 同 上 前 續 同 上 前 續	生 理 發 蒙 同 上 前 續 同 上 前 續	同 上 前 續 十 八 史 略 佛 國 民 法	教 導 學 說 小 學 教 授 法 (口授 筆記) 文 部 省 月 報
自 習 科 目	究 理 圖 解 西 國 立 志 編 日 本 地 理 小 誌 御 誓 文 御 宸 翰 幾 何 形 體 圖	究 理 問 答 博 物 新 編 文 章 軌 範 萬 國 新 史	西 洋 事 情 人 體 問 答 元 明 史 略 日 本 地 圖	地 學 事 始 民 選 議 院 王 代 一 覽 萬 國 地 圖	元 老 院 職 原 抄 告 諭 大 意 地 球 儀

算術	算術手引草	同上ノ續	同上ノ續	同上ノ續及天元術
算和	算類問答	同上ノ續	同上ノ續	同上ノ續及天元術
算洋	洋算例題	同上ノ續	同上ノ續	正圖式

師範學校卒業生派出規則 明治九年十二月『師範學校卒業生派出規則』を定め、師範學校卒業生は派出の形式によつて小學校に勤務せしむることゝなつた。因に當時の教員初任給は次の如くである。

上下等卒業ノ試験ヲナシ點ヲ計算シ、附屬小學ニテ授業ノ巧拙ヲ視察シ、左ノ表ニ照準シ等級ヲ命ジ卒業證書ヲ相渡ス

一等教授八圓 二等教授七圓 三等教授六圓(上等卒業ノ分) 一等助教五圓 二等助教四圓 三等助教三圓(下等卒業ノ分)  
外ニ赴任旅費トシテ二里以上ハ宿料一圓、五里以上ハ一圓五十錢ヲ給ス

明治九年十二月十四日師範學校卒業生の述懐に、「十二月十九日各袴を着けて縣廳に出頭し辭令を受けた、中には靴を穿いたものもあつた。三等助教月俸三圓だつたが、當時の米價は一石三圓計りなのと、質素儉約を旨としてゐたため、生活には苦痛を感じなかつた云々。」

自分は明治九年九月から小學校に勤めた。月末に戸長代理が月俸を杉原紙に包み恭々しく渡して呉れ、受領證は要しない。翌十年巡回訓導(現今の視學)から教授法について、「教師は授業中椅子を用ゆる勿れ、一日に數里の距離を徒歩する覺悟を以て、生徒の机間を巡視せよ」と教へられた。當時後月郡教員の大部分は、舊福山藩士族で随分窮して

ゐたが、金錢の事は言はない。適々口にするものがあると、「彼れは野卑、交際すべき人でない」と云つて、頗る擯斥した、生活には窮しても増俸とか恩給とかには目も呉れなかつた。(平野恒吉記)

明治十一年二月二十一日、師範學校並に小學校教員の階級月俸額等を改正した。(岡山縣達)

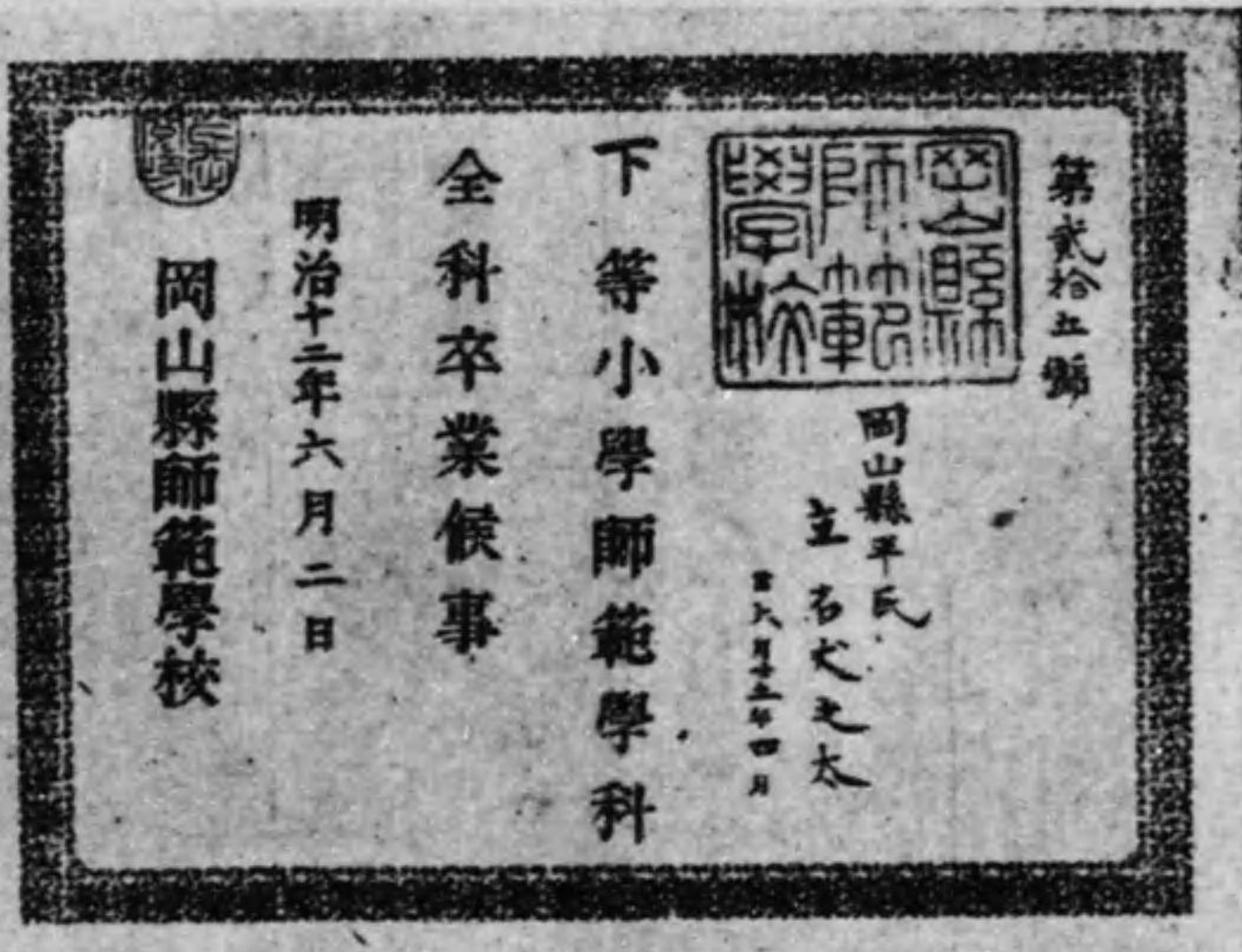
名 稱	月 俸	名 稱	月 俸	名 稱	月 俸	名 稱	月 俸	名 稱	月 俸
一等訓導	自廿六圓至三十圓	四等訓導	自十一圓至十五圓	二級訓導補	七圓	五級訓導補	四圓	授業生	
二等訓導	自廿一圓至廿五圓	五等訓導	十圓	三級訓導補	六圓	六級訓導補	四圓	區務所 助教定限 ナシ	
三等訓導	自十六圓至二十圓	一級訓導補	八圓	四級訓導補	五圓	六級補導補	三圓		

師範學校學則改正 明治十一年十一月『師範學校學則』を改めて、上等師範科・下等師範科の二種とした。翌十一年

二月二十七日師範學校津山支校を本校に併せ、其の三月二十一日下等師範科入學者は、「年齢十八歳以上三十歳以下ノモノヲ每區務所部内ヨリ三名ヲ限り、學力試験ノ上入校差許」ことに改め、同年六月十八日「上等師範科ハ在學二年、下等師範科ハ在學一年」と定め、なほ十二月二十三日夜の如く改正した。

- 一、師範生徒入校中ハ賄費ニ限り悉皆校費タルベシ
- 一、生徒在學二ケ年ノモノハ卒業ノ上奉職二ケ年、在學一ケ年ノモノハ奉職一ケ年トス

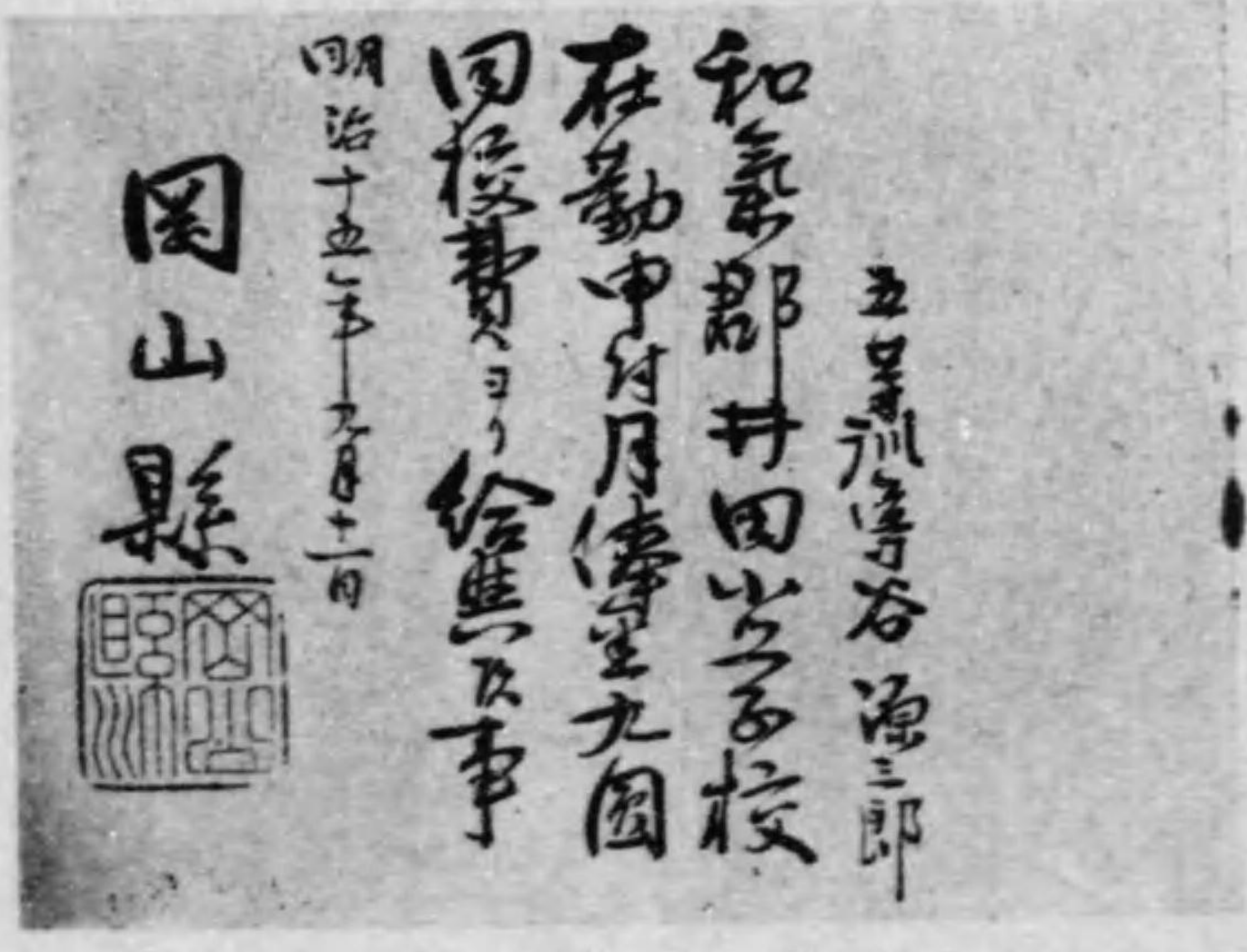
一、下等小學師範學科ヲ分テ四級トシ在學一ケ年トシ三ケ月ヲ以テ一期トシ每期ニ進級試験ヲナス  
 一、小學師範學科ヲ卒業シ各小學校ニ派遣セシムルトキハ三級訓導補以下トシ在職滿十二月ニシテ必ズ解職スベシ、  
 滿期後尙ホ小學校教員ニ從事志願ノ者ハ本校ニ於テ授業傳習ノ上  
 更ニ教員等級ヲ定メ再勤セシムベシ(抄)



書證業卒校學範師學小等下

余は明治十二年二月岡山縣師範學校下等科に入學一ケ年程度、同年廢  
 範科に編入せらる 同十五年二月十日卒業せり。然るに就職に關し何等の手續  
 無かりしかば、某教育家より和氣郡伊里村蕃山小學校の教師に辭職  
 者の有ることを聞き、早速同校に安達教師を訪ねて内談せしに好都  
 合なりとて、學務委員と交渉の上、其の申請によりて和氣郡役所  
 和氣郡より、蕃山小學校教師を委囑して月俸九圓を給するとの辭令  
 片上町に接せり。即ち縣は師範學校の卒業者に對して關涉せず、只學務委  
 員より郡役所に教員の候補者を具して申請するに止まる。而して卒  
 業八ケ月後の九月十一日、縣より「任岡山縣五等訓導」并に「和氣  
 郡井田小學校在勤申付月俸金九圓同校費ヨリ給與候事」の辭令に接  
 せり。斯くの如く縣より教員に對し訓導の名稱と任命の辭令を交付されたり、これ全國同時に行はれたるものならん  
 か。(谷源三郎記)

岡山縣女子師範學校 明治七年一月田中文部少輔の建白書に、「學制御發布以降就學ノ徒稍旺盛ニ赴キ候處、獨女子ノ  
 教育ニ於ケル因襲ノ久シキ、或ハコレヲ忽略ニ附シ遂ニ日用常行ノ際、男子ト相軒輕スルモノアルニ至ルハ殊ニ欠點ト  
 スル處ニ候、今ヤ國  
 人民ヲシテ漸次開明ノ  
 域ニ臻ラシメント欲セ  
 バ女子師範學校ヲ設ク  
 ルヲ以テ一大要務ト  
 ス。蓋シ女子ノ性質婉  
 靜善ニ能ク其ノ教科ヲ  
 講習スルヲ得ルノミナ  
 ラズ、向來幼稚ヲ撫養  
 スルノ任アレバナリ。  
 仍テ先ヅ東京府下ニ一  
 個ノ女子師範學校ヲ設



令辭用任導訓

ケ、根柢ヲ培養シ結果ヲ他日ニ期スベクト存候云々」と。この建白より三ケ年後の明治九年十月、岡山縣は岡山區東中  
 山下に岡山縣女子師範學校を設けた。

今般岡山市中ニ於テ女子師範學校新設候ニ付、小學通例ノ書及算術加減乗除ヲ略ボ學ビ得ルモノ、年齒大約十三年以上十六年以下ヲ限り、自費ヲ以テ入學差許候條三十一日迄ニ申出ヅベシ、十六歳ニテモ便宜入學セシム、(明治九年十月六日岡山縣告示)

裁縫教員養成所 明治十年二月八日岡山及び津山の女子師範學校を閉鎖し、同月十七日裁縫教員養成のために、岡山縣師範學校に裁縫所を附設した。

岡山縣師範學校附屬裁縫所規則 (抄)

- 一、此場ハ女子裁縫縫針ノ各科ヲ授業シ師範タルベキモノヲ養成スル處トス、因テ各女紅場教授志願ノ者及人民中廣ク入學ヲ許ス、但漸次紡績組織ノ業ヲ教授スベシ
  - 一、衣服首飾等美麗ヲ去リ質ニ清潔ヲ要ス
  - 一、生徒ハ十四歳以上五十歳以下トス
  - 一、賄料ハ自辨トス、授業料一ヶ月二拾錢ト定ム
  - 一、讀書數學ノ二科ヲ設置ス
  - 一、生徒傳習ハ一ヶ月ヲ一期トシ一級ヲ卒ヘ六ヶ月ヲ以テ一等ヲ昇進ス
  - 一、卒業ノ上ハ教員トナシ其等ニ應ジ給料ヲ與ヘ各地ヘ派遣セシムベシ
- 一、課程表

級	下等	中等	上等
六	雜巾、襦袢、單物、帷子、女帽子、吉原頭巾	船底スツポリ、サンヤカツギ、福連羽織、絹裾縮入、唐縮縮長着	禮服類、平服類、短朋服、編幅服、達磨服、背廣服
五	銀杏頭巾、宗十郎頭巾、長襦袢、シヤツ	縮緬羽織、薄羽織、被布羽織、振リ袖ノ類	背廣襦太取、引廻シ服、丸羽織、割羽織、雨衣、ゾボン
四	男女袴、附着類、裾縮入クケ襟	合羽仕立、裏附襟高袴、平袴洗濯法	袷羽織丸縫、縮入羽織丸縫、絹縮入長着
三	單羽織、巡リ下着、裏付羽織	羅紗羽織、兩徳羽織、手サシ手コウ	縫分ケ法、掛ケ縫法、縫紋、縫模様、袋物
二	半股引、江戸脚袴、バツチ、股引、足袋	打カケ、風呂敷刺縫、賽錢袋、押繪、巾着	祭服多種
一	男女帶端クチ、女就業袴、江戸腹掛	比翼仕立、縫分ケ頭巾、重掛押繪切入、帛紗丸縫	法衣多種

因に同年三月十三日師範學校附屬裁縫所並備中玉島・美作津山裁縫所教員の等級を定めてゐる。故に當時玉島・津山

にも裁縫教員養成所があつた。(岡山縣治紀事)

月俸金一等教師八圓 二等教師六圓 三等教師五圓 一等助教四圓 二等助教三圓

五、社 會 教 育

書籍館開設 明治十一年一月二十九日岡山縣師範學校に書籍館を開設した。尤も閱覽者の多くは學校職員生徒であつたらしい。

今般岡山縣師範學校内ニ於テ書籍館相設候條、有志ノ輩ハ別紙規則ニヨリ各自要スル所ノ書籍ヲ觀覽スベシ、此旨相達候事

岡山縣師範學校書籍館觀覽規則

- 第一條 本館備置ノ書籍ヲ緘閱セントスル者ハ、校ノ内外人ヲ問ハズ必ズ左ノ規則ヲ遵守スベシ
- 第二條 本館ハ毎日午前八時ニ開キ午後三時ニ至リテ閉ト雖モ、日ノ長短ニ依リ開閉時間ヲ伸縮スルコトアルベシ但大祭日並ニ一月一日ヨリ同七日迄、七月二十日ヨリ八月十九日迄、十二月二十二日ヨリ同三十一日迄ハ觀覽ヲ許サズ
- 第三條 外來人ハ名刺ヲ以テ守門者ニ其旨趣ヲ告ゲ、書籍館入門牌ヲ受クベシ
- 第四條 入門ノ後ハ事務局受付所ニ至リ入門牌ヲ出シ、其來由ヲ告ゲ吏員ノ指示ヲ待ツベキ事
- 第五條 吏員ヨリ與フル緘閱切符ヲ以テ縱覽場ニ就キ、該場備置ノ典籍目錄ニ因リテ各要スル所ノ書名冊數及ビ本人ノ宿所姓名ヲ該切符ヘ詳記シテ典籍掛ニ出スベシ

- 第六條 總テ書籍觀覽ヲ請フ者ハ典籍陳列場ニ入ルヲ許サズ、但看者ノ請願ニ因リ臨時登場セシムルコトアルベシ
- 第七條 書籍ヲ點汚破壊或ハ亡失スル者ハ之ヲシテ必ズ同一ノ書籍ヲ購還或ハ其價ヲ償ハシムベシ
- 第八條 縱覽場ニ就テ書籍ヲ觀覽スルノ間、自カラ筆墨ヲ具シテ謄寫抄録スルハ碍ゲナシト雖モ點汚セザル様特ニ注意スベシ

- 第九條 縱覽場ニ排列スル所ノ贖物昆蟲其他諸物品ニ手ヲ觸ル、ヲ禁ズ
- 第十條 内外人同場ニ就キ書籍ヲ觀覽スル際相互ニ行儀ヲ正シ禮讓ヲ重ンジ、苟モ妨碍ノ所行アルベカラズ
- 第十一條 書籍ヲ觀覽スル者ハ舒坐默讀タルベシ、最モ喧噪ノ雜談及ビ喫煙等ヲ嚴禁ズ
- 第十二條 觀覽者ノ行厨ヲ持スル者ハ必ズ食卓ニ就テ喫飯スベシ
- 第十三條 退場ノ節ハ借覽書籍ヲ典籍掛ヘ返還シ、前キニ出ス所ノ緘閱切符及ビ出門牌ヲ受ケ出門スベシ、但緘閱切符及ビ出門牌ヲ所持セザル者ハ出門ヲ許サズ

明治十二年一月より本館に於て、小學校教科書の拂下げを取扱ひ、不十分な書店の欠陥を補うた。

郡區新聞縱覽所 明治十一年十一月十五日、各郡區役所に對して人智開發啓蒙上、新聞縱覽所の設置方を懇願した。新聞紙ハ人ノ聞智ヲ博フスルモノニ付、郡區役所ニ於テ成丈費用繰合、東京日々、郵便報知兩新聞購求吏員展讀ノ上、該役所内人民控所又ハ所在町村便宜ノ場所ニ於テ人民ヘ縱覽爲致候様可取計、尤諸費ノ儀ハ總テ定額内ヲ以テ支辨候儀ト可相心得此旨相違候事、但シ費用ノ都合ニヨリ二部購求致シ難キ分ハ何レカ一部ニテモ苦シカラズ

爾來、新聞雜誌の發行數と購讀者の増加とは、明治二十一年三月に至り本布達を廢するに至つた。併し此簡易な社會

教育施設は、民衆自體の經營として、其の後久しく行はれたのである。

新聞縦覽所設置調 (山陽新報)

開設	所在	開設	所在	開設	所在
明治三・三・三	淺口郡柏崎村、邑久郡役所	同 一五・六・〇	兒島郡下津井村	明治三・一・三	岡山區東中山下
同 三・三	御野郡上出石村	同 一九・八・六	岡山區東中島町、御野郡上伊福村、津島村、万成村	同 五・三〇	岡山區小原町
同 三・五	淺口郡役所	明治 九・二	岡山區弓之町明治會	同 三・二・九	川上郡手莊村七地
同 四・六	小田郡大江村	同 三・四・二	上道郡九幡港正行會	同 三・三・〇	上房郡高梁新町
同 五・二	西々條郡竹田村	同 五・六	岡山區榮町	同 三・一・三	岡山商業會議所
同 不詳	邑久郡福谷村	同 三・七・七	勝南郡中尾村	同 三・三	吉備郡庭瀬村
同 四・九・三	兒島郡小串村				

六、教育行政

第五課設置 明治九年一月七日『岡山縣職制』を廢して『岡山縣諸官員事務章程』を定め、教育事務は第五課の所管とした。

岡山縣諸官員事務章程 (明治九年九月十四日改定)

第五課、學事ヲ獎メ學校ヲ興シ教員任免學區取締ノ進退ヲ管シ學資金書籍等ノ事ヲ掌ル、其事務ヲ分チ勸學雜務ノ二科トナシ管掌スル所ノ節目左ノ如シ

勸學科

- 第一條 管内ノ子弟ヲ勸奨シ就學ノ道ヲ宏張セシムル事
- 第二條 學校ヲ設立シ教則ヲ一定シ將來維持ノ方法ヲ按シ轉校分合改則等ノコトヲ調理スル事
- 第三條 教員ノ能否勤惰ヲ視察シ學區取締及訓導ノ所見ヲ參考シ其黜陟ヲ具狀スル事
- 第四條 學區取締訓導ノ勤惰ヲ視察シ其進退ヲ具狀スル事
- 第五條 新ニ教員ヲ擧グルトキハ師範學校ニ於テ試験ノ上之ヲ選用スル事
- 第六條 師範學校ノ生徒ヲ募集シ其課業ノ熟否ヲ督スル事
- 第七條 時々學校ヲ巡視シ學事ノ進否ヲ督スル事
- 第八條 各公學校ノ生徒ヲ試験シ教員ノ供狀ニ依リ階級ヲ昇降シ賞與等ノコトヲ調理スル事
- 第九條 私學家塾ノ開業願ハ師範學校ニ於テ試験ノ上學制ニ照シ其許否ヲ調査スル事、但私塾及醫學開業願ノ許否モ亦成規ニ照シ調査スル事

雜務科

- 第十條 定規ニ從ヒ委托金ヲ下附シ其遺拂ヲ檢査精算スル事
- 第十一條 各公學校ノ費用ヲ檢査シ其計算ヲ明ニスル事
- 第十二條 毎年一回各學校ノ備品ヲ調査スル事
- 第十三條 學費賦課ノ方法ハ各區ノ便宜ニ任カスト雖區戶長學區取締ト協議シ毎年十一月ヲ以テ翌年經費ノ概算ヲ立

テ賦課ノ豫算表ヲ調製スル事

第十四條 各區教育ノ景況及學費統計表ヲ調製シ文部省へ上申及管内へ頒布スル事

第十五條 金錢、物品、土地、家屋等寄附納ノコトヲ調理シ褒賞ノ件ハ第一課へ協議スル事

第十六條 各學校俗務掛ノ勤惰ヲ督シ其進退ヲ區處スル事

第十七條 學務一切ノ諸記録ヲ收理スル事

第五課出張所 明治十年八月二十日より、同十一年九月まで、岡山縣師範學校津山支校内に岡山縣第五課出張所を設けて、美作一圓の勸學事務に當つた。蓋し同地方は、當時早害のために學校の閉鎖さへ唱へられてゐたからであらう。

在美作師範學校並變則中學生徒ニ告諭 (明治十年八月二十日)

學問ノ世道人心ニ大功用アル固ヨリ論ヲ待タズ、大ハ天下ノ經濟ヨリ小ハ室家ノ經理ニ至ルマデ、一舉一動皆之レガ範圍ニ入ラザルナシ、世人モ亦身ヲ立テ志ヲ得ル此道ヲ捨テ、他ニ求ムベキナキヲ知ル、故ニ四氏ヲ論ゼス子弟學齡ノ期ニ至ルヤ、學校ニ負笈シ精ヲ勵ミ思ヲ潛メ致々進取シテ已マズ洵ニ美事ナリト謂フベシ。教育ノ普及シテ駸々タルノ景象ヲ見ル、苟モ之レガ司牧タルモノ豈樂ンデ喜バザランヤ。蓋シ喜ハ憂ノ存スル處一喜アレバ又一憂ナキ能ハズ、凡今生徒ヲ觀ルニ研鑽ノ功ヲ積ミ造詣スル處能ク身ヲ立テ志ヲ得ルノ域ニ至ルモ、其趨舍スル處或ハ實用純全ヲ得ズ一回ビ津宮ニ出入シ縫腋ヲ着ルニ至リテヤ、風度超然意氣粗豪議論高尚宇内ヲ睥睨シ、義理明晰幽微ヲ闡折スルモ誠ニ今日自家才上至近要緊ノ事理ヲ問へバ邈乎トシテ其卑白ヲ辨知セザルニ至ル、所謂浮華空譚ニ流レ、其心徒ニ高遠ニ驚馳シ日用實際ニ屑々タラズ、是其學問ノ要旨ヲ得ルモノト謂フ可ケンヤ。凡我教育黨陶スル所以ノ道ハ

人民各學ブ所アリテ智ヲ開キ材ヲ伸ベ能ク義理ノ存スル所ヲ知り、懋メテ沈實老成ニシテ輕佻浮靡ノ風ヲ去リ、今日實用施行ニ就キ幾多ノ成跡アランヲ期ス。然ルニ是レヲ履マズシテ彼ニ趨ル、苟モ此ノ如キモノ其形ハ喜ブベキアル

副校長 九山久太郎

第五中學校區敬請書

校長兼務申付事務

明治十年二月三日



副校長 戶長 兼務 辭令

モ、其跡ニ就キ之レヲ見レバ豈憂ノ存スルモノト謂ハザルヲ得ンヤ、浮華空譚ハ從前ノ學徒モ尙指彈シテ容レザル所、況ンヤ開明ノ今日ニ於テヤ。諺曰芝蘭ヲ栽培スレバ惡草ヲ芟鋤ス可シ。蓋シ弊害除カザレバ善良ヲ求メ難シ、切ニ望ムラク諸子浮靡粗豪ノ惡草ヲ芟リ沉實老成ノ芝蘭ヲ栽培センコトヲ、今ヤ師範ニ中學ニ典籍器械教育ノ法備具セザルナシ、諸士ノ單志力行茲ニ得ルモ亦尠シトセズ、獨リ其趨舍スル處趣ヲ異ニシ終ニ未ダ實用純全ノ結果ヲ觀ザルモノアリ豈遺憾ノ至リナラズヤ、之レガ司牧タルモノ豈懷フテ憂ヘザランヤ、請フ諸子焉ヲ勉メヨヤ

右陳述スル處直情徑行ニ涉ルモノアリ、然レドモ子弟輩ノ斯學ニ從事スルモノ往々此窩臼ヲ脫セザル者アルニ似タリ、今ヤ文運旺盛學校ノ設ケ月一日ヨリ隆ニ、教育ノ法日一日ヨリ精ナリ、其施設ノ如何ニ於ケル亦一言ノ間然スベキナシ、只生徒ノ風習此疵病アルヲ患フルノミ、古人言ヘルアリ曰ク道ハ近キニアリ而シテ之ヲ遠キニ求ムト、豈ニ方今諸生ノ病根ヲ暗指スルニアラズヤ。因テ之レガ規箴ヲ垂以テ告諭ニ代フ、諸

子以テ如何トナス

學務所設置 學區内の教育事務は、其の區内の正副戸長に、會議所管内の事務は會議所小學雜務掛をして總括處辨せしめてゐたが、明治十年二月十七日會議所に學事御用掛三名、監學掛補二名を置いた。

同十年四月二十七日、岡山縣師範學校に監視部を設けて、師範學校及び各學區ヲシテ相密合セシメ、凡テ教科ニ關スル諸事ヲ整頓シテ一途ニ出ルヲ要シ、學事ノ隆盛ヲ期ス」と規定したが、基年ならずして廢止してゐる。

從來小學校長は學區正副戸長の兼務であつたが、同十一年一月十九日新に專任校長を置くと共に、區務所を設けて、小學事務の一切を取扱はしめることゝなつた。

區務所位置及區長調 (明治十年十一月八日設置)

區務所名	所在地	區長	區務所名	所在地	區長	區務所名	所在地	區長
第一	岡山 東中山下	佐藤 英久	第九	淺口郡 玉島村	三宅 栗夫	第十七	阿賀郡 唐松村	村上 鐘八郎
第二	御野郡 金川村	原 道夫	第十	小田郡 笠岡村	森田 佐平	第十八	眞島郡 高田村	池田 稻夫
第三	赤坂郡 町苅田村	水谷 亥孝太	第十一	後月郡 井原村	小寺 純一郎	第十九	西々條郡 竹田村	中島 衛
第四	和氣郡 西片上村	大森 安太郎	第十二	下道郡 岡田村	高見 實眞	第二十	西北條郡 津山山下	小澤 幸
第五	邑久郡 尾張村	兒島 東雄	第十三	賀陽郡 高松村	和氣 辰包	第二十一	勝北郡 眞加部村	守安 徳太郎
第六	上道郡 大多羅村	佐々木 默三郎	第十四	上房郡 高梁本町	板倉 信古	第二十二	英田郡 倉敷村	井手 毛三
第七	兒島郡 迫間村	石黒 武吉	第十五	川上郡 下原村	渡邊 磊三	第二十三	久米南條郡 桑下村	美見 孝治
第八	窪屋郡 倉敷村	林 孚一	第十六	哲多郡 井村	名和 彌三郎			

學區取締・小學掛・小學校長の職制並事務 明治十一年一月二十一日、學區取締・小學掛・小學校長等の職制並事務章程を定めた。

學區取締職制並事務章程

(職制) 職制及び諸公達ニ基キ學校維持ノ方法ヲ案シ、學齡子女ノ督勵小學教員及び掛吏員ノ勤惰授業ノ得失ヲ視察シ、學資金ノ出納其他教員ニ關スル一切ノ事務ヲ管掌ス

(事務章程) 分テ二款トス、其上款ニ屬スル者ハ意見ヲ附シ官裁ヲ乞フベシ、其下款ニ屬スル者ハ成規ニ準據シ專制調理スルヲ得ベシ、款外格例ナキモノハ事ノ輕重ニ從ヒ兩款ニ準シ措置スベキモノトス

第一條 小學教員及び掛吏員ノ進退黜陟ヲ具狀スルコト、但雇教員世話掛ハ下款ニ屬ス

第二條 學校ノ設立廢合及名稱ヲ改正スルコト

第三條 學校ヲ建築シ及臨時募金寄附金ヲ以テ營繕スルコト

第四條 學校敷地附與願ノコト

第五條 小學區域ヲ變更スルコト

第六條 學資金徵募ノ方法ヲ設ケ及ビ更正スルコト

第七條 蓄積金ノ方法ヲ立案スルコト

第八條 爲學資寄附金品願ヲ取扱フコト

第九條 小學生徒及び學事ニ關スル奇特者ヲ褒賞スルコト



- 第十條 貧困子女ノ就學法ヲ立案スルコト
- 第十一條 私學開業願ヲ取扱フコト
- 第十二條 學校ノ營繕等ニ因リ臨時閉鎖スルコト(以上上款)
- 第一條 學事統計表ヲ進達スルコト
- 第二條 學資金ノ出納ヲ監査スルコト
- 第三條 小學費勘定帳ヲ進達スルコト
- 第四條 部内ヲ巡回シ學事ヲ視察スルコト
- 第五條 雇教員ヲ進退シ之ヲ上陳スルコト
- 第六條 小學教員及ビ掛吏員ノ疾病事故アツテ不參スルヲ開屈ケ之ヲ上陳スルコト
- 第七條 學事勸獎ノ爲メ人民ヲ召集スルコト
- 第八條 小學生徒試験ニ臨監スルコト
- 第九條 小學ノ備品ヲ點檢スルコト
- 第十條 學校ノ開業ヲ上陳スルコト
- 第十一條 小學生徒卒業試験ノ節官吏ノ臨席ヲ申請スルコト
- 第十二條 巡回訓導小學教員ノ任罷ヲ部内及ビ聯區内へ報告スルコト
- 第十三條 毎年學事ノ統計ヲ部内へ報告スルコト

第十四條 各小學課金一ヶ年遺拂出納表ヲ製シ翌歲六月迄ニ部内へ報告スルコト(以上下款)

小學掛職制並事務章程

(職制) 學區取締ノ指揮ヲ受ケ成規ニ基キ學資金ノ出納物品ノ購求記録ノ整理ヲ掌リ取締欠勤スルトキハ、小學教員及ビ掛吏員ノ黜陟ヲ除クノ外總テ代理スルヲ得ベシ

(事務章程)

- 第一條 學資金ヲ學區取締ノ監査ヲ得テ出納スルコト
- 第二條 小學教員及ビ掛吏員ノ給料旅費日當ヲ支給スルコト
- 第三條 學校需用ノ物品ヲ調理スルコト
- 第四條 學事統計表ヲ製スルコト
- 第五條 學資金ノ勘定帖並報告表ヲ製スルコト
- 第六條 學校ノ備品帖ヲ整理スルコト
- 第七條 生徒試験ノ節臨席シ事務取扱ノコト
- 第八條 寄附金並附屬地等詳ニスルコト

小學校長職制並事務章程

(職制) 學區取締ノ指揮ヲ承ケ人民ヲ勸獎シ及ビ教員ノ勤怠學歩ノ進否ヲ視察シ一切ノ校務ヲ管掌ス  
(事務章程)

- 第一條 小學統計表ヲ製スルコト
- 第二條 小學修繕等ヲ取扱フコト
- 第三條 小學物品、購求等ヲ取扱フコト
- 第四條 小學物品ヲ整理スルコト
- 第五條 小學生徒試験ニ事務ヲ取扱フコト

(明治十二年二月二十二日、學區取締、巡回訓導、小學校長、小學事務掛の職務心得を制定)

明治十一年四月より、岡山縣當局は毎年一回乃二回、管下の學區取締及び巡回訓導を召集して、「教育上一切ノ利害得失ヲ論シ、其實益ヲ求ムル」ために、教育會議を開くこととした。是に先だち同年一月兩職に對して、「布達布告ヲ了知スベキハ國民ノ通義タルヲ以テ、各學校ニ於テモ適宜取捨口授問答等ノ科中ニ挿入シ、生徒ヲシテ其概意ヲ解得セシメ候様可致」と諭達してゐる。

郡區長取扱學務事項 明治十一年九月二十日『郡區町村編制法』の施行と同時に、從來の學區取締事務を郡區長に兼任せしめ、更に郡區長取扱の學務事項を定めた。

郡區長學務取扱事項 (明治十一年九月二十日)

- 一、學制諸布達ヲ循守シ部内小學校及附屬裁縫所等維持擴張勸誘ノ事ヲ管シ小學校長及事務掛ヲ指揮監督スベシ、但小學校ノ新築及興廢分合又ハ閉鎖等ハ其時々縣廳ヘ伺出ベシ
- 二、郡區長ハ小學區會議ヲ監督指揮スベシ、但小學區會議ハ總テ町村會合會議規則ニ依準スベシ

- 三、學區取締ノ事務ハ郡區長之ヲ兼務シ書記ノ内一名ニ其事務ヲ擔任セシムベシ
  - 四、學區取締ノ事務ハ部内ノ學事ヲ調査シ毎年例期集會規則ニ因リテ其意見ヲ述ブベシ
  - 五、書記ヲシテ時々部内小學校ヲ巡視セシメ學事ノ進否ヲ檢スベシ
  - 六、學區取締ハ學事統計表ヲ調製スベシ
  - 七、私學私塾家塾ノ設立ニ奥書ヲナス
  - 八、小學校教員ノ人選ハ該小學區ノ協議請求ニヨルト雖モ、別ニ見込アルモノハ縣ヘ具申スベシ
- これと同時に、「今般地方稅施行ニ付小學校費及教員掛員等更ニ左ノ通相定。學區取締ハ郡區長ニ兼務セシメ候條、諸事其指揮ヲ受ケ小學校ノ事務ハ該町村内叶議ノ上戸長及掛員ニ於テ負擔シ衰廢ノ儀無之様厚ク注意可致、但在來ノ教員ハ其儘据置候儀ト可相心得事」と前提して、其の取扱方を布達した。

- 一、各小學校費ハ自今委託金及小學校補助費ヨリ支出スルノ外一切ノ費用、總テ小學區限町村ノ叶議ヲ以テ支辨スベシ
- 一、小學教員ハ小學區域町村ノ見込ヲ以テ、掛戸長ヨリ郡區ヲ經テ縣廳ヘ具申スベシ、其試験授任等級ハ從前ノ違ニ準ジ、給料等ハ補助費及叶議費ヲ以テ事務掛ヨリ相渡スベシ、若見込人無之時ハ郡區長ヲ經縣廳ヘ請求スベシ、但時宜ニヨリ縣廳ヨリ特ニ教員ヲ差遣スルコトアルベシ、其給料ハ委託金及補助費ヨリ本文ニ準ジ支給スベシ
- 一、每小學校ニ校長一名事務掛二名ヲ置クモノトシ、校長及事務掛ノ内一名ハ戸長之ヲ兼務シ事務掛一名ハ別ニ其學區村ニ於テ叶議撰定シ、戸長ヨリ郡區長ニ届出計算出納等ノ事務ハ各立會ノ上取扱フベシ、其給料ハ總テ適宜ノ

額ヲ定メ補助費及叶議費ヨリ支給スベシ、但校長ハ別ニ撰定スルモ適宜タルベシ

一、小學補助委託金及地方稅小學補助費ハ學齡人員ニ割合各郡區役所ヘ配付シ以テ各小學校ノ費用ヲ補助スベシ、各小學校ヘ支給ノ目的ハ委託金及補助費ハ學齡人員ニ因リ相定置、郡區長ニ於テ費用調査ノ上、小學教員並事務掛等ノ給料及生徒優等ノ賞與其他必需ノ書籍器械等買入學事緊要ノ事ニ支出スベシ、各小學校ニ在テハ學區取締ノ指揮ヲ受夫々仕拂其出納勘定帖簿等ハ從前ノ規則ニ準ジ、事務掛ヨリ郡區長ニ進達スベシ

一、叶議費及寄附金積金等ハ本年當乙第二十一號達難形ニ照準シ受拂原簿ヲ設置、且其報告表ヲ製シ郡區長ヘ進達スベシ

斯くて郡區内に於ける學務の一切は、郡區役所に於て取扱ふこととなつた。因に郡區役所の位置は、概ね在來の區務所の位置によつたものである。

郡區町村編制並郡區役所位置 (明治十一年九月二十日岡山縣布達)

郡區名	町村數	郡區役所位置	郡區名	町村數	郡區役所位置	郡區名	町村數	郡區役所位置
岡山區	八一	東中山下	和氣郡	六九	西片上村	倉敷郡	五一	高松村
御野郡	五三	上伊福村	邑久郡	六七	尾張村	玉島村	四一	高梁本町
津高郡	九〇	金川村	上道郡	一〇四	圓山村	川上郡	五〇	下原村
赤坂郡	七八	町苅田村	兒島郡	九〇	味野村	後月郡	三一	井村
磐梨郡	五三	吉原村	都宇郡	三八	下掛川村	下道郡	二二	新見村

眞島郡	九〇	高田村	西北條郡	二二	津山山下	勝北郡	三一	勝加茂西村	勝南郡	六九	勝間田村
大庭郡	四六	久世村	東南條郡	三九	津山山下	吉野郡	五三	下町村	久米北條郡	五二	桑下村
西々條郡	五一	竹田村	東北條郡	二〇	綾部村	英田郡	六〇	倉敷村	久米南條郡	六二	下弓削村

### 第四節 教育思潮

鎖國政策一途で終始した徳川幕府は倒れて新政府は成立した。民心の新なると共に舊習一掃の思想に伴れ、新文化の鼓吹は澎湃として國內に漲つた。『五箇條ノ御誓文』は、封建政治に囚はれてゐた人々に對しては、恐らく空谷の聲にもまさる激しい衝動を與へたであらう。

明治五年の『學制』頒布より、明治十二年の『教育令』發布に至る當時、我が國に入り來つた外國思想の主なるものは、英米の功利主義、獨逸の國家主義、佛國の自由主義等であつた。

我が國の學者中専ら功利主義を鼓吹した者は福澤諭吉で、『學問のすゝめ』は最も露骨に其の思想を示したものである。國家主義の紹介者として著名なる者は、加藤弘之・津田眞道・海江田信義等で、加藤弘之が明治五年に譯述せるブルンチェリーの『國家汎論』、同八年に譯述せるビーデルマンの『立憲政體起立史』等は、其の代表的著書である。佛國の自由主義に就いては、明治六年に高橋達郎がルソウの思想に基づく、米人ウエーランドの道德論に據つて『自由新論』を公にしたのを初めとし、同八年には鈴木唯一がグランベールの『律例精義大意』を傳へ、同九年には更に同人がモンテスキューの『萬法精理』を譯し、同十年には服部徳がルソウの『民約論』を譯した。佛國思想の流れを

波むチヨン、スチュアート、ミルの『自由の理』も、同年に中村正直が譯出した。中江篤介の『民約譯解』の出た同十五年頃に至つて、自由思想は隆盛の極に達した。(學制五十年史)

斯く一般の思想と共に、教育上の新思想新傾向の紹介も盛んになり、歐米の教育書は續々として翻譯せられた。其の主なるものは明治六年に箕作麟祥はチャムバーの『百科全書教導説』を公にし、翌七年にはウィツケルンヤムの『學校通論』を譯出した。

和蘭人ファン・カステールは同八年に『學室要論』と題して、ハートの原書を譯出し、同九年に『教師必讀』と題して、ノルゼントの原著を譯し、また『彼日氏教授論』と題して、ページの原著を譯した。同十年には小泉信吉外一名譯『那然氏小學教育論』、同十一年には甲斐織衛譯『加氏教授論』が出で、同十二年には山成哲造譯『和氏教授法』が出で、同十三年には村岡範爲馳譯『平民學校論』、スベンサー原著尺振八譯『斯氏教育論』等が出た。スベンサーの教育論は尺振八の譯の外に、有賀長雄、小田貴雄の譯も出て、實際教育界に多大の影響を及した。思想のみならず、制度も相次いで紹介せられた。明治六年に佐澤太郎は『佛國學制』と題して、佛蘭西の法律書より、ナボレホン以後十九世紀の中頃になるまでの教育法規を譯し、同十年に土屋政朝は『佛蘭西學制』と題して、ルイ・トリビエーの佛蘭西法規を譯した。尙明治八年に柴田承桂の譯出せる『普魯士學校規則』をはじめ、各國の學制が次第に紹介せられた。外國人にして我が國の政府に招聘せられ、教育制度の確立、教育思想の發達に、多大の貢獻をした者も尠くない。(學制五十年史)

是等外國の教育學說並に教育制度によつて、我が國從來の教育が、經世實用に遠ざかつて居たことを覺り、實學主義の勃興となつたのである。

### 第三章 教育令公布

#### 第一節 教育令の概要

學制廢止の事由 『學制』は、規模秩序に於て整つてゐるが、餘りに劃一的で其の理想とするところが、當時の民度に對して高遠に過ぎ、從つて實施が容易でなかつたため、明治十二年九月二十九日太政官布告を以て『教育令』の公布を見るに至つた。

明治新政と共に起つた自由民權思想は、明治十年以後に至つて學界と實生活とを問はず各方面に彌蔓した。其の中に就いて、最も強い反應を呈したのは政治界である。岡山縣兩備作三國有志人民が、明治十二年十二月二十九日元老院に『國會開設建言書』を提出したのは時代思潮の反映である、『教育令』の公布も亦時代思想變遷の現はれに外ならない。

學制頒布以降茲ニ五閱年、教育ノ途漸ク關ケ奎文ノ景象ノ社會ニ現ハレシハ固ヨリ氣運ノ然ラシムル所ト雖モ、畢竟其功ヲ學制ノ力ニ歸セザルコトヲ得ズ。願フニ世ノ開明ニ赴クヤ、百般ノ事徒ニ株守ヲ用ヒズ措置時ニ隨フハ施政上關グ可ラザルノ緊務タリ。今學制ノ條款ニ就キ反覆審査シテ之ヲ目下ノ情況ニ照シ、之ヲ將來ノ進度ニ測レバ、往々加除訂正ヲ要スベキモノアリ。於是乎臣等ノ嘗テ實驗セシ所ヲ參シ、更ニ教育方法ノ要領七十八項ヲ掲出シ、且名稱ノ妥當ナランコトヲ欲シ、改メテ日本教育令ト題ス。因リテ草案一冊ヲ上奏シ謹デ進止ヲ取ル、(明治十一年五月十四日 日本文部卿)

教育令の要旨 『教育令』は、條項四十七箇條而も小學校に關するものが大部分を占めて居る。『學制』に於ては學校

の監督は學區取締をして當らしめてゐたが、『教育令』に於ては町村人民の選舉に依る學務委員をして學校の設置監督に當らしめることとなつた。或は義務教育年限も、從來は十三歳迄に小學校を終へることを原則としてゐたが、『教育令』に於ては「凡兒童六年ヨリ十四年ニ至ル八ヶ年ヲ以テ學齡トス」、而も「凡兒童學齡間少クトモ十六ヶ月ハ普通教育ヲ受クベシ」、又は「公立小學校ニ於テハ八箇年ヲ以テ學期トス、土地ノ便宜ニヨリテハ此學期ヲ縮ムルコトヲ得ベシト雖モ四箇年ヨリ短クスベカラズ、此四箇年間ハ毎年授業スルコト必四箇月以上タルベシ」とか、或は「學校ニ入ラズト雖モ別ニ普通教育ヲ受クルノ途アルモノハ就學ト看做スベシ」とか、「學校ヲ設置スルノ資力ニ乏シキ地方ニ於テハ教員巡回ノ方法ヲ設ケテ兒童ヲ教授セシムルコトヲ得ベシ」とか、其の教科目も讀書・習字・算術・地理・歴史・修身の初歩とし、土地の情況に應じて野畫・唱歌・體操等を加へ、又物理・博物・生理等の大意を加へ、女子には裁縫科を設けることに改正。又教員の資格は、原則としては師範學校卒業者であるが、年齢十八年以上にして、教員に相應せる學力を有するものは、男女共教員になり得る事になつた。

斯くの如く『教育令』は、『學制』に較べて學校の設置及管理、教科の内容に至るまで趣を新たにしたため、岡山縣は其の精神によつて左の如く論達した。

明治十二年九月第四十號ヲ以教育令公布相成候處間々誤解ノ輩有之、後來小學ノ興廢ハ人民ノ隨意ニ相成候様心得候ヨリ種々ノ思想ヲ起シ、夫ガ爲メ教育上幾分ノ衰兆ヲ來シ候箇所往々有之趣以ノ外ノ事ニ候、抑學事ハ民生一日モ欠グ可ラザルモノニテ從來政府ヨリ厚ク御世話相成、人民ニ於テモ御趣意ヲ奉體シ漸次旺盛ニ赴候折柄追々各自ノ自治ニ任ゼラレ候儀ニテ決シテ勝手ニ興廢不苦トノ旨趣ニハ無之候條、各町村ニ於テモ愈學事上進ニ注意致シ、此際方向ヲ

誤リ將來衰頹ニ傾カザル様可致此旨論達候事（明治十三年二月十四日）

**教育令の改正** 『教育令』公布後の實狀に鑑み、文部省は翌十三年十二月二十八日『改正教育令』を公布するに至つた。改正の意圖が奈邊に在つたかは、『教育令改正案』に明らかである。

：是レ明治十二年九月四十七條ノ新法ヲ定メ、以テ舊學制ニ代ル所以ナリ。蓋シ此改正ニ當リ舊法ノ尠雜ヲ變リ過度ノ制限ヲ除クニ急ナルヨリ、其勢ノ及ブ所往々放任ス可ラザルモノヲ併セテ放任スルニ至レリ。其然ル所以ノ故ヲ考フルニ、亦偶然ニアラザルナリ。夫レ學制ノ頒布ニ當リ、執事者意ヲ成功ニ銳クシ、校舍ヲ壯大ニシ外觀ヲ裝飾スルノ事往々ニシテ免レズ、是ニ於テカ、學問ノ益未ダ顯ハレズシテ、人民之ヲ厭フノ念先ツ生ズ。議者其弊ノ因ル所ヲ深考セズ、徒ラニ罪ヲ學事ノ干涉ニ歸シテ之ヲ尤ム。而シテ教育令此際ニ成レルヲ以テ爲メニ其精神ヲ謬ラルルモノ蓋シ寡シトセズ。臣ヲ以テ之ヲ觀ルニ前日ノ弊タル學制ノ主義ニアラズシテ施行ノ宜シキヲ失フニアリ、干涉ノ過度ニアラズシテ干涉ノ途轍ヲ過ツニヨレリ。何トナレバ前日ノ干涉スル所ハ、唯學校ノ設立費用ノ募集等専ラ外部ノ事ニ止マリ、授業ノ得失ヲ考へ、費途ノ緩急ヲ察スルガ如キ内部ノ事ニ至テハ、其意ヲ經ル蓋シ寡ケレバナリ。而シテ議者一切之ヲ干涉制度ノ上ニ歸シ、反動ノ幾夫ノ普通教育ト雖モ亦干涉ス可ラズト云フニ至ル、過テリト云フベシ；苟モ文明ヲ以テ稱セラルル國ニシテ普通教育ノ干涉ヲ以テ政府ノ務トセザルナシ、是レ豈其國運ニ關スル大ナルガ故ニアラズヤ、我國ノ如キ教政ヲ施シテヨリ纔カニ數年未ダ其效績ヲ見ザル深ク怪ムニ足ラズ、其施行ノ間ニ當リ僅々ノ弊ヲ見ルガ爲ニ其精神ヲ挫シ又皮相論者ノ說ニ謬ラレテ、此主義ヲ揉メバ何レノ日ニカ此民ト共ニ文明ノ域ニ進ムコトヲ得ンヤ、是レ臣ガ今日ニ當リ教育ノ主義ヲ定メンヲ希望シテ已マズ、教育令ノ改正案ヲ進奏スル所以ナリ；

**改正教育令の要旨** 『改正教育令』の要旨は、公立學校・幼稚園・書籍館等の設置廢止等にして、其の府縣に係るものは文部卿の認可を経べく、町村に係るものは府知事・縣令の認可を要することとなつた。更に就學に就ては、「父母後見人等ハ其學齡兒童ノ小學科三箇年ノ課程ヲ卒業ラザル間已ムヲ得ザル事故アルニアラザレバ、少クトモ毎年十六週目以上就學セシメザルベカラズ、又小學科三箇年ノ課程ヲ卒業リタル後ト雖モ、相當ノ理由アルニアラザレバ毎年就學セシメザルベカラズ」と規定。學校教則は、從來當該小學校に於て定めてゐたが、爾今文部卿より頒布の綱領に基き、府知事、縣令に於て編制、文部卿の認可を経て施行することと改めた。

要するに『改正教育令』は、『學制』と『教育令』とを折衷したものである。而して最も注意すべきは、明治六年以來學事獎勵のために、年々府縣に交附し來つた國庫補助金（小學委託金）の廢止である。

## 第二節 初等教育

### 一、幼稚園

**幼稚園の發端** 明治五年の『學制』には、「幼稚小學ハ男女ノ子弟六歳迄ノモノ小學ニ入ル前ノ端緒ヲ教フルモノナリ」と示し、其の目的を「小學校の設立は漸く加はり、學齡の子女就學の途は開けたるも、學齡未滿の幼兒は誘導の法其宜しきを得ざるが故に、教育の本旨に副はず、兒輩の爲め良教師をして専ら扶育誘導せしめ、遊戲中不知就學の階梯に就かしめ教育の基礎を立つべし」に置いてゐる。即ち幼兒保育の實質とは餘程の隔りがある。

文部省は幼兒保育の實施上、明治十一年六月『幼稚園保姆練習科規則』を定めて保姆の養成に當つた。其の後『教育

令』及び『改正教育令』に於て、幼稚園に關する規則を定めて、其の設置を獎勵するに至つたのである。

學齡未滿ノ幼稚ハ殆ンド教育ヲ受クルノ地ナクシテ、徒ニ危險鄙猥ノ遊戲中ニ生長セザルヲ得ザルノ情況ナリ、若シ措キテ問ハザルトキハ日ニ頑陋ノ慣習ニ陥リ、大ニ天賦ノ良質ヲ毀損スルヲ免レズ；地方ノ教育家タルモノハ其土地ノ狀況ヲ察シ、或ハ整備ノ編制ニ採リ、或ハ簡易ノ方法ヲ設ケ、以テ幼兒ヲ待ツノ準備ナカルベカラズ、是レ目下緊要ノ事項ト云フ可シ。（文部省第十五五年報）

當局の獎勵と、一面小學校の入學年齡が嚴格を欠いでゐた當時として、幼兒をも小學校に入學せしむる傾向を生じたため、文部省は明治十七年二月十五日、府縣に令達して學齡未滿の兒童は幼稚園に於て保育すべく、小學校に於て學齡兒童と、同一の教育を受けしめることを禁じた。（學制五十年史）

**幼稚科の課程** 我が國に於ける幼兒保育の嚆矢は、明治八年十二月京都柳池校に設置の『幼稚遊嬉場』である。それより四ヶ年後の同十二年十二月制定の『岡山區公立小學校教則』に、「小學校ノ學科ヲ上下二等トシ、每等ヲ六級トシ每級ヲ六ヶ月トス。下級ノ前ニ幼稚科ヲ設ケ年齡未滿ノ者ハ該科ニ就カシム。」と、而して幼稚科の課程を、次の如く定め

てゐる。

一、讀書、五十音圖 イロハ圖・濁音・次清音圖ヲ教ユ。一、復習 前記授ケシ處ニ就テス。一、算術 數字圖ヲ以テ其讀方ト書法ヲ教ヘ且計數器ヲ以テ物數ノ計ヘ方ト五十以下ノ記數法ヲ授ク。一、書取 假字ノ正體濁音及正音圖ヲ書取ラシム。一、口授 物品談・養生談・修身談。一、問答 五官ノ作用及實物ニツキ其性質効用等ヲ容易ニ問答ス。一、習字 石盤若クハ硝子盤ニテ假字ノ正體ヲ教ユ、但シ毎週四字。一、體操 體操書ニヨル

幼稚保育規則 文部省は、學齡未滿の幼兒を小學校に於て學ばしめるは、其の心身發育に支障あるを虞れ、府縣に幼兒保育方を講ぜしめた。岡山縣の規定は次の通りである。

幼稚保育規則 (明治十八年九月廿一日)

第一條 學齡未滿ノ幼兒ヲ保育セントスルトキハ總テ本則ニ據ルモノトス

第二條 保育科ノ保母ハ老實懇篤ナルモノタルベシ、但小學校教員充備ノ箇所ニ於テハ當分ノ内老成ノ者ヲ撰ビ兼務セシムルモ妨ゲナシ

第三條 幼兒ノ年齡ハ大約滿四年以上六年未滿トス、但時宜ニ依リ滿三年以上四年未滿ノモノモ入場ヲ許ス、又六年ニ滿チシモノモ六ヶ月以内ハ在場ヲ許スコトアルベシ

第四條 保育科ヲ甲乙二種トシ甲種ハ二組ニ分チ年齡五年未滿ノモノヲ二ノ組トシ、滿五年以上ノモノヲ一ノ組トス、乙種ハ組ヲ分タズ年齡五年以上トス

第五條 保育時間ハ一日四時以内毎科ノ時間ハ三十分ヲ程度トス

第六條 保育科目ハ甲種二ノ組ニ於テハ室内會集修身ノ話庶物ノ話木ノ積立板排ベ箸排ベ環排ベ紙織リ紙摺ミ珠繫ギ豆細工畫キ方數ヘ方遊嬉唱歌トシ、一ノ組ニ於テハ之ニ紙剪リ紙刺シ縫取り書キ方讀ミ方ヲ加ヘ珠繫ギヲ省キ、乙種ニ於テハ修身ノ話庶物ノ話木ノ積立板排ベ箸排ベ環排ベ豆細工畫キ方數ヘ方書キ方讀ミ方遊嬉トス、但唱歌ハ授業法ノ整フヲ待チテ之ヲ施行スベシ

幼稚科の設置 『幼稚保育規則』の制定に先だち、明治十七年十一月岡山縣師範學校に幼稚科を設けた。これは大阪府

の幼稚園に倣つたものである。「開園當時の園兒は七十五人内外でした。保育法はベル式で、只今から見ますと餘程變化してゐますが、其の根本精神は少しも變つてはゐません」。(保母榎本常談)

岡山縣師範學校幼稚科規則 (明治十七年十一月十三日定)

第一章 通 則

第一條 本科ハ當校附屬小學ニ於テ學齡未滿ノ幼兒ヲ保育スルモノトス

第二條 幼兒ハ男女ヲ論ゼズ年齡三年以上六年以下トス、但シ時宜ニヨリ未滿ノモノト雖モ入科ヲ許スコトアルベシ

第三條 幼兒ハ大約年齡ニ由テ一ノ組ヨリ三ノ組マデ三組ニ分ツ

第四條 保育科ニ於テハ總テ試驗ヲ用ヒザルモノトス

第二章 保育規則

第一條 保育科目ハ會集、修身ノ話、庶物ノ話、木ノ積立、板排ベ、箸排ベ、輪排ベ、珠繫ギ、紙織リ、紙摺ミ、紙刺シ、縫取り、紙剪リ、書キ方、數ヘ方、畫キ方、讀ミ方、唱歌及遊戯トス

第二條 保育時間ハ一日四時間ヲ超ユベカラズ、又毎科ノ時間ハ三十分ヲ過グベカラズ

第三條 年中休業日ハ小學校ニ同シ

第四條 保育ノ要旨ハ左ノ如シ

會集、會集ハ毎日先ツ幼兒ヲ遊嬉室ニ集メ唱歌ヲ復習セシメ且時々行儀等ニ付キ訓誡ヲ加フルモノトス。修身ノ話

修身ノ話ハ幼兒日常ノ諸心得及ビ和漢聖賢ノ教ヘニ原キ平易ナル話ヲナスモノトス。庶物ノ話、庶物ノ話ハ日常ノ庶物魚鳥花果等幼兒ノ好愛スルモノニ就キ簡單ナル說話ヲナスモノトス  
以上話說ノ際ハ實物標本或ハ繪圖等ヲ示シテ之レヲ問答シ以テ觀察注意ノ良習ヲ養ヒ兼テ言語ヲ養ハシメンコトヲ要ス。

木ノ積立、木ノ積立ハ立方體、長方體、方柱體、三角柱體等庶物ノ木片ヲ與ヘ、机上ニ於テ種々ノ形ヲ造ラシメ以テ構造ノ力ヲ養成スルモノトス。板排ベ、板排ベハ彩色セル薄キ正方形、三角形等ノ小板ヲ交ヘ與ヘ種々ノ形ニ排ベシメ以テ美麗ヲ好ム心ヲ養成スルヲ主トス。箸排ベ、箸排ベハ大約一寸ヨリ五寸マデノ箸ヲ與ヘ種々ノ形ヲ排ベ、輪排ベ、輪排ベハ鐵又ハ眞鍮ノ全環ヲ交ヘ與ヘ種々ノ形ヲ習ハシメ、其目的ハ略箸排ベニ同ジ。珠繫ギ、珠繫ギハ始メニハ彩色セル麥藁ノ切レト孔ヲ穿チタル色紙ノ切レトヲ交ヘ糸ニテ繫ガシメ終ニハ南京珠ヲ繫ガシメ以テ縫取ニ入ル階梯トス。紙織リ、紙織リハ細ク切りタル色紙ヲ經筋緯筋トシ種々ノ模様ヲ編マシメ以テ色ノ配リ方ヲ知ラシム。紙摺ミ、紙摺ミハ色紙ヲ與ヘテ舟、鶴等ノ形ヲ摺マシメ以テ想像ノ力ヲ養フ。紙刺シ、紙刺シハ柄アル紙ニテ紙面ニ紋形花草等ノ形ヲ刺シ穿タシメ以テ縫取ノ下畫トナサシム。縫取り、縫取りハ紙刺シノ科ニテ刺シ穿チタル紋形花草等ノ形ヲ色紙ニテ縫取ラシメ以テ針ノ運び方ヲ知ラシム。紙剪リ、紙剪リハ色紙ヲ與ヘテ方形、三角形等ニ剪リ之レヲ白紙ノ台紙ニ貼付ケテ種々ノ形ヲ造ラシメ或ハ種々紋形等ヲ剪抜カシメ以テ工夫ノ力ヲ養ヒ兼テ剪刀ノ用ヒ方ヲ知ラシム。畫キ方、畫キ方ハ始メニハ罫アル石盤上ニ縱線横線ヲ以テ物ノ略形ヲ畫カシメ終ニハ鉛筆ヲ以テ之レヲ罫アル紙ニ畫カシムルモノトス。數ヘ方、數ヘ方ハ實物ニツキテ數ヘ方ヲ知ラシムルヲ首トシ兼ネ

テ十以下ノ數字ヲ知ラシムルニ注意スベシ。書キ方、書キ方ハ片假名平假名ヲ以テ已ニ授ケタル物ノ名稱等ヲ黑板ニ書キ示シ石盤ノ上ニ習ハシムルモノトス。讀方、讀方ハ始メニハ片假名平假名ヲ以テ幼兒ノ知リタルモノ、名稱等ノ綴リ易キモノヲ黑板ニ書キ示シテ假名ノ稱ヘ方用ヒ方ヲ教ユルヲ旨トシ、後ニハ假名ヲ記タル骨牌ヲ以テ物ノ名ヲ綴ラシム。唱歌、唱歌ハ容易ニシテ面白キ唱歌ヲ爲サシメ時ニ樂器ヲ以テ之レニ和シ自ラ其胸廓ヲ開キテ健康ヲ補ヒ其心情ヲ和ラゲテ徳性ヲ養ハンコトヲ要ス。遊戲、遊戲ハ幼兒ニ適スルモノヲ撰ビテ之レヲ爲サシメ以テ身體ヲ健ヤカニシ精神ヲ爽ヤカナラシメンコトヲ要ス(下略)

翌十八年二月二十五日岡山區西中山下又新小學校に、其の十一月十五日後月郡井原小學校に幼稚科を設けた。

二、小 學 校

普通小學概則 明治十三年三月五日布達の、『岡山縣公立小學概則』に、「公立小學ハ每町村或ハ數町村聯合シテ設立スルモノニシテ、總テ地方ノ協議費ヲ以テ之ヲ維持シ、文部省補助金及地方稅ヲ以テ其幾分ヲ扶クルモノトス。小學所屬ノ町村ヲ學區ト稱シ一郡區役所部内順次ニ番號ヲ付スベシ。小學ノ教則ハ本縣定ムル所ノ普通小學概則ニ依リ斟酌制定スルモノトス」とある。而して『普通小學概則』明治十二年五月十二日定は、『教育令』公布以前のものである。

普通小學ハ都鄙ヲ問ハズ一般習學スベキハ論ヲ待タズト雖モ、往々其俗ト産業ヲ殊ニシ從テ習學時日ニ長短アレバ、一定ノ法則ヲ以テ數百ノ學校ニ實施シ、劃一ノ教則ヲ以テ一般人民ヲ教育セントスレバ、或ハ學科高尚ニ過ギ或ハ學期其度ニ適セズ、遂ニ柄鑿相容レザルノ弊ヲ生ズルニ至ルヲ以テ、今般更ニ其法ヲ更メ縣廳ニ於テハ其學科ノ大綱ヲ示シ、各郡區學區取締巡回訓導ヲシテ、土地ノ情況ト人民ノ産業トヲ斟酌シ、恰好適宜ニ之ヲ按ジ、縣廳ノ許可ヲ得



テ實地ニ施行セバ、其實益ヲ奏スル豈昔日ノ比ナランヤ、由テ學科ノ大綱ヲ定ムル左ノ如シ。

- 一、此ノ學科ハ凡六ヶ年ニ宛テ用書細目等ノ事ニ至リテハ地方ノ適宜ニ制定スルモノトス
- 一、土地ノ状況ニヨリテハ此科目ヲ増減取捨シ隨テ學期ヲ伸縮スル等ノ事アルベシ
- 一、此學科ヲ卒ヘタルモノハ中學ニ入ルベキモノトスレドモ、或ハ別ニ高尚ナル學科ヲ設ケテ授クル等ノコトモアルベシ

- 一、此教則ハ一郡區或ハ一學區限リ撰定スルモノトス
- 一、撰定ノ上ハ縣廳ノ許可ヲ受ケ然ル後施行スルモノトス

小學教科、讀書（懸圖類・讀本類・修身・經濟・地誌・歴史・理學・化學・生理・博物）、算術（珠算・洋算）、習字、作文・幾何・畫學・簿記・書取・問答・口授・體操・女子手藝、

明治十五年の學區 學區の劃定に就いて、「學區ノ境界ハ一町村ノ境界若クハ數町村聯合ノ境界ト符合スルヲ要ス。學區ハ其區内學齡兒童ノ學校ニ往來スルニ不便ナキヲ要ス。學區ハ小學校ヲ設立支持スルニ足ルヲ要ス。」の三項を要件とし、劃定後は五ヶ年間は據置くを定則とした。明治十五年十二月町村分合の結果、縣下一區三十壹郡を七百四十五學區に分け、各區に一小學校を置いた。（岡山縣布達）

岡山	郡區	學區數	郡區	學區數	郡區	學區數
山	御野	五	津高	三二	赤坂	三二
					磐梨	一九

和氣	四〇	淺口	四九	上房	一四	勝南	一四
邑久	三六	小田	四二	阿賀	二五	東南條	一七
上道	二七	後月	一九	哲多	二二	東北條	二二
兒島	五二	下道	一八	眞島	三三	勝北	二〇
都宇	一六	賀陽	三三	大庭	一三	吉野	一二
窪屋	一九	川上	三七	西々篠	一六	英田	一六
						合計	七四五

岡山縣學區表（明治十五年十二月二十七日）

學區番	學校區	所在地	通學區域町村名
(岡山區) 一	弘西	岡山區弓之町	上出石町、中出石町、廣瀨町、小畑町、一番町、二番町、三番町、四番町、五番町、六番町、七番町、八番町、瀧本町、下市町、難波町、富田町、岩田町、萬町、弓之町宇馬道通以北、古京町宇濱屋敷
二	又新	同 磨屋町	内山下、中之町、下之町、石關町、下出石町、上之町、丸龜町、山崎町、野田屋町、桶屋町、柿屋町、磨屋町、野殿町、西田町、東田町、弓之町宇馬道通以南、東中山下之内榮町北横町以北、西中山下之内同上、西川之内字七ノ橋以北
三	晚翠	同 天瀬	榮町、紙屋町、川崎町、橋本町、西大寺町、船着町、天瀬、大工町、大雲

(御野郡)										五	四
十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	環翠	(後)朝清輝
放海	春日	福富	青江	新保	進智	順則	富山	石井	伊福	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	御野郡	同	同	同
大供村	七日市村	福富村	青江村	新保村	西市村	今村	大安寺村	巖井村	上伊福村	小橋町	船頭町
<p>巖井村、万成村            大安寺村、野殿村            野田村、北長瀬村、上中野村、島田村、高柳村            今村、中仙道村、西長瀬村、田中村、辰巳村、平田村            西市村、米倉村、万倍村、富新田村、下中野村            新保村、富田村、東古松村、奥田村、岡村、二日市村ノ内字西村            青江村、泉田村、福田村、豊成村之内字新福            福富村、洲崎村、濱野村、福島村、福成村            二日市村之内字西村ヲ除ク、十日市村、七日市村、七日市村、豊成村之内字圓覺            内田村、大供村、下出石村、西古松村</p>										<p>寺町、仁王町、常盤町、高砂町、下田町、尾上町、濱田町、瓦町、七軒町、櫻町、東中山下之内榮町北横町以南、西中山下之内同上、西川之内字七ノ橋以南            新道、瀬尾町、小野田町、小原町、二日市町、下内田町、片瀬町、久山町            上内田町、船頭町、紺屋町、油町、平野町、藤野町、兒島町、高橋町、山科町            西中島町、東中島町、小橋町、花畑、門田屋敷、大黒町、上片上町、下片上町、森下町、古京町之内字濱屋敷ヲ除ク</p>	

(津高郡)																		
十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	白石	玉柏	三野	島山	伊福
牧郷	菅野	高野	芳賀	香橋	東原	松尾	辛川市場	白石	松尾	辛川市場	尾上	尾上	白石	津高郡	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
中牧村	菅野村	田原村	富吉村	芳賀村	佐山村	柏谷村	中原村	松尾村	辛川市場	辛川市場	尾上村	尾上村	白石村	津高郡	同	同	同	同
<p>白石村、久米村、花尻村            尾上村            西辛川村、一宮村、辛川市場村ノ内字新町            金岡村、松尾村、大窪村、辛川市場村ノ内字本郷、福谷村、長野村            首部村、檜津村、山崎村            中原村、富原村、横井上村ノ内字小幸田            柏谷村、田益村、横井上村ノ内字小幸田ヲ除ク、            佐山村            芳賀村、富吉村ノ内字山内            三和村、富吉村ノ内字山内ヲ除ク、横尾村、日應寺村            田原村、菅野村ノ内字瀧田            菅野村ノ内字本郷、吉宗村            北野村、高野村            下牧村、中牧村、芳谷村(赤坂郡)</p>																		

十五	弘智	津高郡	河内村	野々口村、中山村、吉尾村
十六	龍	同	金川村	河内村、宇垣村
十七	隊	同	草生村	草生村
十八	承	同	紙工村	高津村、中泉村、宇甘村
十九	承	同	紙工村	紙工村、虎倉村
二十	今	同	建部上村	櫻村、市場村、中田村、中原村
二十一	今	同	建部上村	田地子村、品田村之内元品田ヲ除ク、建部上村、宮地村、富澤村
二十二	加	同	下加茂村	下加茂村、上加茂村、廣面村
二十三	高	同	高谷村	平岡村、高谷村、美原村、加茂市場村
二十四	富	同	富永村	下土井村、富永村、和田村、井原村
二十五	富	同	富永村	圓城村、上田東村、上田西村、細田村、三納谷村、案田村
二十六	高	同	高富村	高富村、小森村、神瀬村ノ内上神瀬、伊中原、下神瀬、大向ヲ除ク
二十七	豐	同	豐岡下村	豐岡下村、豐岡上村、大木村、三谷村
二十八	溫	同	尾原村	尾原村、栗井谷村、杉谷村、溝部村、福澤村、笹目村
二十九	伊	同	江與味村	江與味村
三十	伊	同	下田村	下田村
三十一	今	同	今保村	今保村
三十二	今	同	今保村	今保村

(赤坂郡)

二	裳佐	赤坂郡	高屋村	長尾村、立川村、河本村、下市村、上市村、南方村、齋富村、沼田村、中島村、日古木村、二井村、高屋村、正崎村ノ内字下分、津崎村、神田村、尾谷村、正崎村ノ内字上分
三	馬屋	同	牟佐村	牟佐村、尖甘村字地藏(上道郡)
四	西中	同	馬屋村	馬屋村、穗崎村、岩田村、和田村
五	西原	同	西中村	熊崎村、鴨前村、西中村、下仁保村、上仁保村
六	國原	同	國ヶ原村	國ヶ原村、川高村
七	幡山	同	山口村	山口村、斗有村
八	石相	同	町苺田村	東窪田村、大苺田村、由津里村、西窪田村、町苺田村
九	孤松	同	西輕部村	西輕部村、東輕部村
十	今井	同	今井村	今井村、北佐古田村、南佐古田村
十一	多賀	同	多賀村	多賀村
十二	琢成	同	坂邊村	坂邊村、惣分村、小原村、合田村ノ内字瀧河原
十三	周匝	同	周匝村	山手村、大屋村
十四	周匝	同	周匝村	福田村、稻蒔村(磐梨郡)
十五	周匝	同	周匝村	周匝村、草生村
十六	黒本	同	黒本村	黒本村、黒澤村ノ内字本村
十七	鳩岡	同	是里村	是里村、河原屋村

		(磐梨郡)														
		三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八
三	矢田部			新庄	平岡	土師	長谷	小鎌		龍南	仁堀	鹽木			香石	
二	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	赤坂郡
一	矢田部村	伊田村	新庄村	平岡西村	土師方村	太田村	小鎌村	中畑村	仁堀西村	仁堀東村	鹽木村	中山村	戸淺野村	中勢實村	瀧山村	
	字生村、加三方村、矢田部村	伊田村	新庄村	平岡西村、石上村、矢知村	土師方村、吉田村、小倉村、鹿瀬村(津高郡)	太田村	小鎌村、西勢實村、京尾村(久米南條郡)、峠村(同郡)	中畑村、合田村ノ内字山之上	仁堀西村、廣戸村	仁堀中村、仁堀東村、平山村、合田村ノ内字河原毛	鹽木村、光木村之内字鹽木(磐梨郡)	中山村	戸淺野村	中勢實村	瀧山村、黒澤村ノ内字持井田	

		(和氣郡)															
		十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四
二	新庄	洪原	江尻	下村		鍛冶屋		彌上	稗田	可眞下	殿谷	釣井	吉原		田原	白石	
一	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	弓削村	大内村	江尻村	下村		鍛冶屋村		彌上村	稗田村	可眞下村	殿谷村	釣井村	吉原村		田原上村	岡村	
	新庄村、島田村	大内村	江尻村、肩骨村	瀨戸村、下村、沖村		南方村、鍛冶屋村、鹽納村、宗堂村、坂根村、彌上村ノ内字山之池		萬富村、二日市村、大井村	稗田村、石連寺村、野間村	彌上村ノ内字本村、可眞上村	可眞下村	澤原村、佐古村、殿谷村、父井原ノ内字大成	釣井村、徳富村、小瀧木村、河田原村	吉原村、圓光寺村、松木村	田原上村、田原下村	岡村、酌田村	小坂村、田賀村

三	勢	和氣郡	勢力村
四	香登	香登本村、香登西村、福田村、坂根村、大内村	
五	齋部	伊部村	
六	詠海	西片上村、浦伊部村、久々井村	
七	伊里	東片上村	
八	伊里	伊里中村、木谷村	
九	閉谷	閉谷新田村	
十	梶島	友延村、穂波村ノ内字井田	
十一	梶島	穂波村ノ内字灘	
十二	日生	(十二番ヲ缺ク)	
十三	日生	日生村、大多府村、穂波村ノ内字木生	
十四	寒河	寒河村	
十五	福浦	福浦村	
十六	蕃山	蕃山村、麻字那村	
十七	三石	三石村、八木山村	
十八	金谷	金谷村、野谷村	
十九	永保	吉永中村、南方村、福瀧村、三股村、岩崎村	
二十	神根	神根本村、今崎村、高田村	

二十一	大藤	多麻村	多麻村、加賀美村ノ内字八塔寺瀧谷
二十二	瀧谷	都留岐村	都留岐村、加賀美村ノ内字城ヶ畑
二十三	岩戸	和意谷村	和意谷村
二十四	吉田	吉田村	吉田村
二十五	藤野	藤野村	藤野村ノ内字坂本
二十六	野吉	泉村	泉村、日室村、大田原村、藤野村ノ内字田ヶ原、北村、宿
二十七	平松	衣笠村	衣笠村、尺所村、福富村
二十八	松	大中山村	大中山村
二十九	東光	清水村	清水村
三十	東光	奥吉原村	奥吉原村
三十一	和氣	和氣村	和氣村、福字村
三十二	益原	益原村	益原村、岩戸村ノ内字天瀧
三十三	修養	日笠下村	日笠上村、日笠下村
三十四	笹目	木倉村	木倉村
三十五	笹目	笹目村	笹目村
三十六	田土	保會村	保會村
三十七	田土	田土村	田土村、丸山村ノ内字片倉、岩戸村ノ内字河本
三十八	矢田	矢田村	矢田村

三十九	鹽田	和氣郡	鹽田村	鹽田村、苦木村、奥鹽田村
四十	三保	同	北山方村	北山方村、南山方村、丸山村ノ内字大岩
(邑久郡)	一	尾張郡	尾張村	尾張村、豊安村、大窪村
二	星川	同	福中村	福中村、大富村、宗三村、百田村、福元村、福山村
三	今城	同	北島村	北島村、向山村、射越村、新地村、門前村
四	薰陶	同	濱村	濱村、川口村
五	同	同	新村	新村
六	同	同	五明村	五明村
七	同	同	神崎村	神崎村、北幸田村
八	同	同	乙子村	乙子村
九	西幸西	同	西幸西村	西幸西村、東幸西村
十	同	同	南幸田村	南幸田村
十一	西幸崎	同	西幸崎村	東幸崎村、西幸崎村
十二	西片岡	同	西片岡村	西片岡村
十三	久々井	同	久々井村	久々井村
十四	同	同	東片岡村ノ内字寶傳、鹿忍村ノ内字西脇	東片岡村ノ内字寶傳、鹿忍村ノ内字西脇
十五	東片岡	同	東片岡村	東片岡村ノ内字本村、藤井村
十六	同	同	邑久郷村、宿毛村	邑久郷村、宿毛村

十七	上阿知	同	上阿知村	上阿知村、下阿知村、千手村
十八	鹿忍	同	鹿忍村	鹿忍村ノ内字本村
十九	牛窓	同	牛窓村	牛窓村
二十	就將	同	長濱村	長濱村
二十一	啓心	同	下山田村	下山田村、上山田村
二十二	潤徳	同	豊原村	豊原村、長沼村、北島村ノ内字仁生田
二十三	衣笠	同	本庄村	本庄村
二十四	錦海	同	尻海村	尻海村、庄田村
二十五	玉葛	同	福谷村	福谷村
二十六	裳掛	同	虫明村	虫明村
二十七	鶴海	同	鶴海村	鶴海村
二十八	狭山	同	佐山村	佐山村
二十九	高松	同	東須惠村	東須惠村、牛文村、飯井村、西須惠村
三十	鴨田	同	磯上村	磯上村
三十一	明倫	同	服部村	服部村、長船村
三十二	神山	同	土師村	土師村、福里村
三十三	晚翠	同	福岡村	福岡村、八日市村
三十四	同	同	豆田村	豆田村

三十五	淳風	邑久郡	上笠加村	上笠加村、下笠加村、箕輪村、北池村
三十六	高砂	同	山手村	山田庄村、山手村
一	(上道郡) 原尾島	上道郡	原尾島村	國富村、原尾島村
二	中井	同	中井村	濱村、東川原村、西川原村、竹田村
三	中井	同	中井村	賞田村、國府市場村、今在家村、祇園村、中井村、湯場村
四	中井	同	中井村	中島村、八幡村、新屋敷村、清水村、穰村
五	中井	同	中井村	藤原村、赤田村、高屋村、關村、今谷村、澤田村
六	上道	同	大多羅村	土田村、四御神村、雄町村、乙多見村、長岡村、兼基村、神下村、下村
七	上道	同	大多羅村	中川村、米田村、長利村、目黒村、大多羅村、松崎村、松崎新田村、益野村
八	穴甘	同	穴甘村	南方村、穴甘村ノ内字地藏ノ除ク、宿村、藤井村、鉄村、北方村
九	草ヶ部	同	草ヶ部村	菊山村、宿奥村、觀音寺村、笹岡村、
十	草ヶ部	同	草ヶ部村	中尾村、沼村、草ヶ部村、谷尻村、砂場村、西平島村、東平島村
十一	檜原	同	檜原村	南古郡村、檜原村、矢井村、浦間村、淺川村
十二	檜原	同	檜原村	吉井村、一日市村、西祖村、寺山村
十三	政津	同	政津村	才崎村、内ヶ原村、百枝月村、西藤寺村、竹原村
十四	政津	同	政津村	原村、久保村
十五	政津	同	政津村	廣谷村、淺越村、西庄村、吉原村、富崎村、福治村、金岡新田村ノ内字川

十六	西大寺	同	西大寺村	西大寺村、中野村
十七	金岡	同	金岡新田村	金岡村、金岡新田村ノ内字川北ノ除ク
十八	政津	同	政津村	九幡村、豊田村
十九	政津	同	政津村	舛田村、君津村
二十	政津	同	政津村	光津村、政津村
二十一	藤崎	同	藤崎村	桑野村、沖元村
二十二	藤崎	同	藤崎村	江崎村、江並村、藤崎村
二十三	倉田	同	倉田村	倉田村、倉富村、倉益村
二十四	倉田	同	倉田村	圓山村、山崎村、福泊村、海吉村
二十五	湊	同	湊村	湊村
二十六	平井	同	平井村	平井村
二十七	門田	同	門田村	網濱村、門田村
一	(兒島郡) 龍王	兒島郡	味野村	味野村、小川村
二	龍南	同	赤崎村	赤崎村、菰池村
三	鶯嶺	同	大島村	大島村
四	扇嶺	同	吹上村	吹上村、田ノ浦村
五	筆海	同	下津井村	下津井村
六	潮生	同	鹽生村	鹽生村、通生村、宇野津村

七	呼松	兒島郡	呼松村	呼松村
八	廣江	同	廣江村	廣江村
九	東塚	同	東塚村	東塚村、北畝村
十	松江	同	松江村	南畝村、松江村
十一	中畝	同	中畝村	中畝村
十二	故新	同	福田古新田村	福田古新田村
十三	浦田	同	福田村	福田村
十四	浮洲	同	浦田村	浦田村
十五	天城	同	粒江村	粒江村、粒浦村、黒石村
十六	西疇	同	天城村	天城村、藤戸村、有城村(都字郡)
十七	會根	同	西疇村	西疇村
十八	中疇	同	會根村	會根村
十九	易疇	同	中疇村	中疇村
二十	東疇	同	内尾村	内尾村
二十一	彦崎	同	東疇村	東疇村
二十二	櫻井	同	彦崎村	植松村、彦崎村
二十三	硯池	同	林村	林村、福江村、會原村、串田村、木見村之内字本村
二十四	硯池	同	尾原村	尾原村、木見村之内字畑谷

二十五	鷺尾	同	片岡村	片岡村、川張村、宗津村
二十六	迫川	同	迫川村	迫川村、奥迫川村
二十七	常山	同	周吉村、宇藤木村	周吉村、宇藤木村
二十八	木島	同	木目村	木目村、小島地村
二十九	長尾	同	瀧村、廣岡村、長尾村	瀧村、廣岡村、長尾村
三十	樋ヶ原	同	樋ヶ原村	樋ヶ原村、迫間村
三十一	硯井	同	大崎村	大崎村
三十二	八濱	同	八濱村	八濱村、石見村
三十三	甲南	同	波知村	波知村
三十四	甲北	同	郡村	郡村
三十五	北尾	同	北浦村	北浦村
三十六	新華	同	飽浦村	飽浦村
三十七	玉房	同	宮浦村	宮浦村
三十八	位領	同	阿津村	阿津村
三十九	清水	同	小串村	小串村、番田村之内畝引
四十	龍淵	同	北方村	番田村之内字本村、北方村、下山坂村、上山坂村
四十一	養才	同	胸上村	胸上村、梶岡村
三十二	養才	同	山田村	山田村、東野崎村、西田井地村、東田井地村



四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二
後閑	田井	進開	響灘	琴浦	仙髓	漸磨	保田	榴濱	鵜瀨
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
兒島郡	後閑村	田井村	宇野村	和野村	引網村	田之口村	山村、白尾村	上村	下村
後閑村、沼村、大藪村	田井村	玉村、宇野村	和田村、日比村、蓋川村	引網村	田之口村	山村、白尾村	上村	下村	稗田村、柳田村

(都字郡)

都字郡

下撫川村、中撫川村

加茂村、總爪村、矢部村

上東村、下庄村、西尾村、栗坂村、山地村、日畑村之内字納所ヲ除ク

松島村、二子村

中庄村、黒崎村ノ内黒崎、福島村字中津ヲ除ク(窪屋郡)

鳥羽村、徳芳村

大内田村

山田村、妹尾崎村之内字高尾

九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
前坂	妹尾	進取	早島	精成	資生	如水	宏壯
同	同	同	同	同	同	同	同
大福村	妹尾村	箕島村	早島村	早島新村	早島新村	早島新村	新庄上村
大福村、古新田村	妹尾村字高尾立川廻リ石ヲ除ク	箕島村	早島村、前湯村、矢尾村	早島新村、高須賀村ノ内字添新田	早島新村	西田村、早高村、高須賀村字添新田ヲ除ク、帶高村(窪屋郡)、龜山村(同)	新庄上村、新庄下村、津寺村

(窪屋郡)

窪屋郡

倉敷村、白樂市村、八軒屋村(兒島郡)

二日市村、羽島村、福島村ノ内字中津、加須山村、中帶江村(都字郡)、五日市村(同)

笹沖村、西中新田村、吉岡村、沖村字堀川

富井村、福井村、沖村ノ内字四軒屋鬼山

沖村ノ内字本村、安江村、四十瀬村、老松村字田ノ上

中島村

水江村、酒津村ノ内字本村

富久村、老松村ノ内字蓋江

濱村、平田村、子位庄村ノ内字祐安ヲ除ク、大島村

十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	(淺口郡)					二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六														
生坂	片山	日新	上林	三須	培遠	中原	三輪	輕部	酒津						玉島	立志	誠意	益習	西浦	龜島	連島	得知	西原	蓮江	水江	船穗	長雄	又新	龔村	上竹	浩然	有進	觀生	克巳	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						
生坂村	地頭片山村	赤濱村	上林村	三須村	溝口村	中原村	三輪村	輕部村	酒津村	玉島村	乙島村西	乙島村東	上成村	西浦村	龜島村	連島村	片島村	西原村	柳井原村	水江村	船穗村	長尾村	爪崎村	八島村	道越村	道越村	上竹村	下竹村	占見新村	鴨方村	地頭上村	本庄村			
生坂村、西坂村、淺原村、三田村	西郡村、地頭片山村、岡谷村、宿村	赤濱村、下林村ノ内字本村	上林村、下林村ノ内字中林	三須村、總社村ノ内字清水(賀陽郡)	溝口村、眞壁村	中原村	三輪村、柿木村、三因村	輕部村、上中島村、古地村	酒津村字木屋、黒田村、子位庄村字禰安	玉島村	乙島村ノ内西部	乙島村ノ内東部	上成村	西之浦村、鶴新田村	龜島新田村	連島村	片島村	西阿知村、西阿知新田村、西原村	柳井原村	水江村	船穗村	長尾村	爪崎村	八島村ノ内南部	八島村ノ内中部	八島村ノ内北部	道越村	道越村	上竹村、富村	下竹村、八重村	占見新村	占見村、地頭下村	鴨方村	地頭上村、益坂村	本庄村

九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六									
西原	蓮江	水江	船穗	長雄	又新	龔村	上竹	浩然	有進	觀生	克巳	西原	柳井原村	水江村	船穗村	長尾村	爪崎村	八島村	道越村	道越村	上竹村	下竹村	占見新村	鴨方村	地頭上村	本庄村
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同									
西阿知村、西阿知新田村、西原村	柳井原村	水江村	船穗村	長尾村	爪崎村	八島村ノ内南部	八島村ノ内中部	八島村ノ内北部	道越村	道越村	上竹村、富村	下竹村、八重村	占見新村	占見村、地頭下村	鴨方村	地頭上村、益坂村	本庄村									

二十七	杉谷	淺口郡	小坂東村
二十八	崇道	同	小坂西村
二十九	懷德	同	深田村
三十	池口	同	里見村ノ内北部
三十一	松雄	同	里見村ノ内南部
三十二	大原	同	里尾村ノ内西部
三十三	醇成	同	新庄村、濱中村
三十四	大島	同	西大島村、西大島新田村
三十五	泰秀	同	大島中村
三十六	日新	同	寄島村ノ内西部
三十七	鳴瀧	同	寄島村ノ内東部
三十八	誠貫	同	六條院村ノ内西部
三十九	眞貫	同	六條院村ノ内中部
四十	一貫	同	六條院村ノ内東部
四十一	盧左	同	佐方村
四十二	敬業	同	須惠村
四十三	南浦	同	黑崎村ノ内西部
四十四	佐見	同	黑崎村ノ内南部

四十五	本村	同	黑崎村 中部
四十六	宮地	同	勇崎村
四十七	松柏	同	柏島村
四十八	阿賀崎	同	阿賀崎村
四十九	(小田郡)	小田郡	笠岡村
二	笠岡	同	笠岡村
三	吉濱	同	吉濱村、西濱村、大宜村、木之目村、生江濱村
四	茂平	同	茂平村
五	有田	同	用ノ江村
六	大江	同	篠坂村、押撫村、有田村
七	稻木	同	大江村
八	入田	同	上稻木村、下稻木村
九	入田	同	岩倉村
十	河戸	同	入田村
十一	桑岡	同	西大戸村、大河村
十二	小平井	同	東大戸村
十三	吉田	同	小平井村

十四	尾坂	小田郡	尾坂村	尾坂村
十五	新賀	同	新賀村	關戸村、新賀村
十六	山口	同	山口村	山口村
十七	走出	同	走出村	走出村、甲弩村
十八	小田	同	小田村	小田村
十九	宇内	同	宇内村	宇内村
二十	宇内支校	同	黒木村	黒木村
二十一	水砂	同	東水砂村	西水砂村、東水砂村
二十二	星田	同	星田村	星田村
二十三	三山	同	三山村	三山村、大倉村
二十四	宇戸	同	宇戸谷村	宇戸谷村、上高末村ノ内字麥草
二十五	支戸	同	鳥頭村	宇戸村、鳥頭村
二十六	高末	同	下高末村	上高末村ノ内字麥草ヲ除ク、下高末村、内田村ノ内字三谷
二十七	宇角	同	宇角村	宇角村
二十八	内田	同	内田村	小林村、内田村ノ内字三谷ヲ除ク
二十九	西川	同	西川面村	本堀村、江良村、淺海村、東川面村、西川面村
三十	矢掛	同	矢掛村	矢掛村
三十一	東三成	同	東三成村	東三成村

三十二	溫知	同	中村	中村
三十三	山田	同	横谷村	横谷村
三十四	今立	同	奥山田村	奥山田村
三十五	富岡	同	里山田村	里山田村
三十六	富岡	同	今立村	今立村、圓井村、馬飼村
三十七	横島	同	富岡村	廣濱村、富岡村、繪師村
三十八	神島	同	横島村	入江新田村、横島村
三十九	白石	同	神島内浦	神島内浦、神島外浦
四十	北木	同	白石島	白石島
四十一	北木	同	北木島	北木島ノ内字本浦、金風呂
四十二	眞鍋	同	眞鍋島	眞鍋島
(後月郡)	井原	後月郡	井原村	井原村
二	有源	同	高屋村	高屋村、笹賀村、下出部村
三	齊秀	同	上出部村	上出部村
四	對龍	同	門田村	西方村、門田村
五	慎思	同	木之子村	木之子村
六	江原	同	神代村	神代村
七	東江原	同	東江原村	東江原村

八	義之	後月郡	西江原村
九	精徳	同	山野上村
十	好問	同	青野村、北山村、稗原村
十一	嚶鳴	同	字戸川村
十二	擴業	同	種村、花瀧村
十三	欲齊	同	片塚村、池谷村、佐屋村、井山村、仁賀村ノ内字佐屋耕地(川上郡)
十四	後調	同	東三原村、西三原村
十五	聖園	同	山鷗村
十六	忍讓	同	川相村
十七	化	同	天神山村
十八	鼎成	同	吉井村
十九	足成	同	梶江村、築瀨村、奥井村
一	時習	下道郡	岡田村、辻田村、有井村
二	鳴川	同	川邊村
三	二万	同	下二万村
四	有終	同	上二万村
五	正誼	同	陶村
六	育幼	同	服部村

七	明誠	同	尾崎村
八	日新	同	箭田村
九	育英	同	市場村
十	新本	同	新本村
十一	弘道	同	山田村
十二	九城	同	久代村
十三	倉山	同	下倉村
十四	維新	同	影村、原村、中尾村
十五	福谷	同	福谷村
十六	明道	同	秦村ノ内字上秦
十七	上原	同	上原村、富原村、八代村、秦村ノ内故秦下、故南秦
十八	泉原	同	下原村
一	庭瀨	賀陽郡	庭瀨村
二	庭瀨	同	庭瀨村、平野村、延友村、川入村、日畑村ノ内字納所(都字郡)
三	鯉山	同	西花尻村、東花尻村
四	館	同	眞金村、川入村ノ内字小西東山
五	茅	同	高松村、立田村、原古才村、三手村
六	福井	同	茅村、總社村ノ内故金井戸、長良村、黒屋村、小寺村、福井村、刑部村、總社村字西山

七	申	賀陽郡	總社村	總社村ノ内故金井戸字西山ヲ除ク
八	井尻野	同	門田村	門田村
九	日羽	同	井尻野村	井尻野村
十	種井	同	日羽村	日羽村、宇山村
十一	同	同	種井村	美袋村、種井村、延原村、稿村
十二	同	同	西村	西村、宮池村
十三	同	同	北村	北村
十四	同	同	榎谷	榎谷村
十五	同	同	榎谷	榎谷村
十六	同	同	見延	見延村
十七	同	同	尖栗	尖栗村
十八	同	同	久米	久米村
十九	同	同	奥坂	奥坂村
二十	同	同	西阿曾	西阿曾村
二十一	同	同	東阿曾	東阿曾村ノ内字宮原、下岡ヲ除ク
二十二	同	同	上足守	上足守村、東阿曾村ノ内字宮原、下岡
二十三	同	同	大井	大井村、栗井村ノ内奥分ヲ除ク
二十四	同	同	河原	河原村、西山内村、掛畑村、眞尾村、東山内村、間倉村、若山村、庄田村、栗井村字奥分、黒山村(上房郡)

(川上郡)

二十五	竹	川上郡	竹部村	竹部村
二十六	新	同	上野村	上野村
二十七	高	同	山上村	山上村、石妻村、勝尾村(津高郡)
二十八	旭	同	下高田	下高田村、上高田村、吉村
二十九	同	同	日近	日近村
三十	同	同	杉谷	杉谷村
三十一	同	同	下足守	下足守村
三十二	同	同	門前	上土田村、下土田村、小山村、門前村、福崎村、高塚村、田中村
三十三	同	同	同	稻荷村、平山村、和井元村、大崎村
一	確	川上郡	下原	下原村、臘敷村ノ内字星原、佐々木村字本村
二	洗	同	下日名	下日名村、上日名村ノ内字福松ヲ除ク
三	花	同	下切	下切村
四	榮	同	玉	玉村
五	遷	同	增原	增原村
六	明	同	明治	明治村、三澤村ノ内字池田
七	立	同	黒忠	黒忠村
八	通	同	三澤	三澤村ノ内字池田ヲ除ク、上日名村ノ内字福松
九	地	同	地頭	領家村、地頭村、臘敷村ノ内字本村、佐々木村ノ内字吉木

二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十
平章支校	愛日	希賀	有修	西山	飯山	智進	平章	明義	大竹	立誠	有義	七瀨	布瀨
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	川上郡
長屋村	東油野村	坂本村	西油野村	西山村	平川村	布賀村	布賀村	高山村	上大竹村	仁賀村	下大竹村	七地村	布瀨村
長屋村	東油野村、布寄村ノ内字田原、平川村ノ内惣田、角子	坂本村	西油野村ノ内字加合木、佐原目、石風呂、本明、柳平ヲ除ク	西山村	平川村ノ内字角子、井川、惣田、後谷、中迫、木ノ村、野元、二又瀨、竹ノ倉ヲ除ク、高山市村ノ内字横松、西油野村ノ内字石風呂、左原目、加合木、本明、柳平	布賀村ノ内字惣、東組、北迫、大地、敷ノ瀨向、大原、中郷、黒島、布寄村ノ内字長砂、阿部山、平川村ノ内字竹ノ倉、中迫、二又瀨、野元、木ノ村、後谷、井川	布賀村ノ内字中迫、前谷、長谷ヲ除ク	高山村、高山市村ノ内字横松ヲ除ク、大原村	上大竹村	仁賀村ノ内字佐屋耕地ヲ除ク	下大竹村	七地村	布瀨村、佐々木村ノ内字四藤用瀨

二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	
修齋支校	修齋支校	高應	修身	觀瀾	化成	夜山	成美	維新	泉原	煮鮮	擴智	中野	轍音	轍音	轍音	轍音	轍音	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
飯部村	田井村	神原村	原田村	近似村	阿部村	福地村	成羽村	松岡村	小泉村	宇治村	吹屋村	中野村	穴田村	穴田村	穴田村	穴田村	穴田村	
飯部村	田井村	神原村	原田村	近似村	阿部村	福地村、大津寄村	成羽村	松岡村、春木村	小泉村、羽山村	宇治村、穴田村ノ内字丸山、白羽	吹屋村	中野村	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク	長地村、桐坂村、羽根村、穴田村ノ内字丸山ヲ除ク、布寄村ノ内田原、長砂、阿部山ヲ除ク

二	松山	上房郡	松山村	松山村
三	日新	同	今津村	今津村
四	古溪	同	川面村	川面村
五	弘智	同	八川村	八川村
六	三溪	同	巨瀬村	巨瀬村
七	知新	同	有漢村	有漢村
八	高原	同	上有漢村	上有漢村
九	崇道	同	有津井村	有津井村
十	開明	同	稔村	稔村
十一	行定	同	豐野村	豐野村
十二	明智	同	吉川村	吉川村
十三	齊之	同	湯山村	田土村、湯山村、澤土村
十四	終南	同	納地村	納地村
一	阿賀郡	阿賀郡	新見村	新見村
二	球松	同	正田村	正田村
三	晚翠	同	唐松村	唐松村
四	知足	同	足見村	足見村
五	開盛	同	土橋村	土橋村

六	金銘	同	佐伏村	佐伏村、赤馬村ノ内留倉、神場、湯井ヲ除ク
七	宇山	同	宇山村	宇山村、津々村ノ内山際
八	天澤	同	草間村	草間村ノ内井倉野ヲ除ク
九	平溪	同	西方村	西方村、草間村ノ内井倉野、津々村ノ内山際ヲ除ク
十	習之	同	下中津井村	下中津井村、上中津井村
十一	雲洞	同	上水田村	上水田村
十二	貫誠	同	宮地村	宮地村、山田村ノ内境、法崎、野田
十三	乘鼻	同	山田村	五名村、山田村ノ内境、法崎、野田ヲ除ク
十四	開明	同	阿口村	下菅部村、上菅部村、阿口村
十五	布教	同	布瀨村	布瀨村、田治部村ノ内勘定、大下畑、赤馬村ノ内留倉、神場、湯井
十六	弘道	同	田治部村	田治部村ノ内勘定、大下畑ヲ除ク
十七	靜修	同	上熊谷村	上熊谷村
十八	熊谷	同	下熊谷村	下熊谷村
十九	高尾	同	高尾村	高尾村
二十	功精	同	花見村	花見村
二十一	秀青	同	井原村	井原村、實村ノ内成地
二十二	雄嶽	同	大井野村	大井野村
二十三	養蒙	同	山奥村	山奥村、小坂部村ノ内篠原



二十四	矢削	阿賀郡	小坂部村	永富村、小南村、小坂部村ノ内篠原ヲ除ク
二十五	成章	菅生村	菅生村	
(管多郡)	知新	菅多郡	井村	
二	耐勵	同	西方村	
三	明新	同	金谷村	
四	盛德	同	石蟹村、長屋村	
五	合翠	同	井倉村	
六	弘業	同	法會村、荻尾村	
七	誘進	同	花木村	
八	弘業	同	宮河内村	
九	弘業	同	則安村、成松村ノ内宇下成松	
十	戸榮	同	矢戸村、老榮村、成松村ノ内宇上成松	
十一	誠暉	同	蚊家村	
十二	荒谷	同	田瀬村、大野村	
十三	中山	同	畑木村、大竹村、八島村	
十四	漸進	同	矢田村	
十五	上神代	同	上神代村	
十六	神文	同	下神代村	

十七	三麓	同	油野村	油野村
十八	松室	同	高瀬村	高瀬村
十九	加磨	同	釜村	釜村
二十	信精	同	千屋村	千屋村、實村ノ内宇成地ヲ除ク(阿賀郡)
二十一	信智	同	坂本村	坂本村、馬塚村(阿賀郡)
二十二	野部	同	大野部村	大野部村
(眞島郡)	一 顯山	眞島郡	高田村	高田村、組村、横部村、竹原村
二	田藍	同	本郷村	本郷村、福谷村、三田村、江川村
三	究蘊	同	草加部村	草加部村、神村
四	立身	同	杉山村	富尾村
五	顯微	同	下市瀬村	中村、福田村、開田村、高谷村、影村、日名村、杉山村
六	聯里	同	下方村	上市瀬村、下市瀬村
七	笠場	同	野原村	日野上村
八	日向	同	吉村	下方村、西河内村、木山村
九	日向	同	吉村	垂水村、向津矢村、野原村
十	日向	同	吉村	吉村
十一	日向	同	吉村	田原山上村、上山村
十二	日向	同	吉村	鹿田村

十三	誠意	同	栗原村	栗原村、一色村
十四	成業	同	別所村	別所村、佐引村
十五	成業	同	別所村	月田村ノ内下田ヲ除ク、月田本村ノ内森久、濱田、岩坪、合之坪、手ノ尾、小市、殿河内
十六	成章	同	下岩村	下岩村、若代村、月田本村ノ内出井谷、友定、篠尾、岩井畝村上村、岩井谷村
十七	成章	同	下岩村	後谷村、若代畝村、高田山上村
十八	後谷	同	後谷村	荒田村、月田村ノ内下田、後谷畝村
十九	後谷	同	後谷村	古呂々尾中村、野村、曲リ村、清合村
二十	後谷	同	後谷村	神代村
二十一	神代	同	神代村	神代村
二十二	神代	同	神代村	田口村、延風村
二十三	請肆	同	美甘村	美甘村ノ内町分、黒田村
二十四	請肆	同	美甘村	美甘村ノ内在分
二十五	新庄	同	新庄村	新庄村
二十六	新庄	同	新庄村	鉄山村
二十七	見明戸	同	見明戸村	見明戸村、本庄村
二十八	種村	同	種村	種村、栗谷村

二十九	茅部	眞島郡	東茅部村	東茅部村
三十	茅部	同	西茅部村	西茅部村、本茅部村
三十一	星山	同	星山村	黒杭村、小童谷村、藤森村、三世七原村(大庭郡)
三十二	星山	同	星山村	見尾村、星山村、菅谷村、仲間村牧方ヲ除ク、都喜足村(大庭郡)、山久世村向見尾(同)
三十三	旭日	同	眞賀村	柴原村、岡村、正吉村、神庭村、眞賀村、山久世村ノ内二ノ屯、原、高原、下谷門所、戸尻、土居前、角ノ目
一	遷喬	大庭郡	久世村	久世村、中島村、多田村、鍋屋村、三坂村、惣村(眞島郡)
二	調蒙	同	古見村	古見村、野川村、平松村、大庭村
三	逝川	同	下河内村	下河内村、赤野村、法界寺村、西原村、田原村
四	進良	同	中河内村	中河内村
五	進良	同	上河内村	上河内村
六	明新	同	目木村	目木村、三崎村、中原村、臺金谷村
七	揚善	同	樫村	樫西村、樫東村
八	盛盛	同	余野下村	余野上村、余野下村
九	成功	同	久見村	田羽根村、湯本村、下湯原村、社村、久見村、針貫小川村、仲間村ノ内宇
十	中和	同	下和村	別所村、吉田村、下和村、眞加子村、初和村

(西北條郡)

十六	源	泉	同	上齋原村
一	成	器	西北條郡	津山京町
二	時	習	同	津山宮脇町
三	鶴	山	同	津山山下
四	修	明	同	山北村
五	田	邑	同	下田邑村
六	成	修	同	澤田村
七	精	勤	同	東田邊村
八	不	休	同	香々美村
九	誠	之	同	眞經村
十	章	明	同	越畑村
十一	明	性	大庭郡	上德山村
十二	近	知	同	上長田村、下長田村、下見村(眞島郡)
十三	誠	憲	同	中福田村、富掛田村、富山根村、下福田村
十四	擇	善	同	上德山村、下德山村、上福田村、湯舟村
十五	及	泉	同	二宮村
十六	自	近	同	院庄村、神戸村、戸島村
十七	自	磨	同	下原村、薪森原村、河本村、原村、高山村
十八	切	磋	同	古川村、吉原村、宗枝村、寺元村、眞加部村、布原村
十九	自	修	同	圓宗寺村、竹田村、和田村
二十	千	之	同	土居村、瀬戸村、小坐村、貞永寺村
二十一	盈	進	同	塚谷村、馬場村、上森原村、下森原村、入村
二十二	片	山	同	中谷村、山城村
二十三	二	宮	同	楠村、大村、富西谷村ノ内字金秀
二十四	西	宮	同	富西谷村ノ内字金秀ヲ除ク、富東谷村、富仲間村
二十五	明	性	同	久田下原村、土生村

(東南條郡)

十六	源	泉	同	上齋原村
一	成	器	西北條郡	津山京町
二	時	習	同	津山宮脇町
三	鶴	山	同	津山山下
四	修	明	同	山北村
五	田	邑	同	下田邑村
六	成	修	同	澤田村
七	精	勤	同	東田邊村
八	不	休	同	香々美村
九	誠	之	同	眞經村
十	章	明	同	越畑村
十一	日	新	東南條郡	中之町
十二	玉	琳	同	川崎町
十三	高	野	同	本郷村
十四	上	野	同	林田村、上之町、中之町、東新町、西新町、橋本町、勝間田町
十五	高	野	同	川崎町、林田村、野介代村
十六	高	野	同	高野本郷村、山西村、押入村

五	四	知新	勝部	同	東南條郡 勝部村	勝部村、根保村、太田村、沼村、志戸郡村
一	二	寄松	寄松	同	東北條郡 東一宮村	東一宮村、西一宮村(西北條郡)
三	三	育英	育英	同	東北條郡 下高倉村	綾部村、吉見村
四	四	弘明	弘明	同	下高倉村	下高倉村
五	五	清水	清水	同	大篠村、上高倉村	大篠村、上高倉村
六	六	至誠	至誠	同	下高倉村	下高倉村
七	七	昌業	昌業	同	下高倉村	下高倉村
八	八	郁々	郁々	同	下高倉村	下高倉村
九	九	小中原	小中原	同	下高倉村	下高倉村
十	十	青柳	青柳	同	下高倉村	下高倉村
十一	十一	成美	成美	同	下高倉村	下高倉村
十二	十二	立誠	立誠	同	下高倉村	下高倉村
十三	十三	盡善	盡善	同	下高倉村	下高倉村
十四	十四	倉見	倉見	同	下高倉村	下高倉村
十五	十五	倉見	倉見	同	下高倉村	下高倉村

一	二	開蒙	開蒙	同	勝加茂西	勝加茂西村、勝加茂東村、上野田村、下野田村、植月北村字恒重、前田
三	三	成知	成知	同	檜村	檜村、野村(東南條郡)、草加部村(東北條郡)
四	四	植月	植月	同	田熊村	田熊村、福井村、河面村、近長村
五	五	求心	求心	同	石生村	植田東村、植月中村、植月北村ノ内字恒重、前田ヲ除ク
六	六	美田	美田	同	美野村	河原村、石生村、下町川村
七	七	豐久	豐久	同	豐久村	美野村、田井村
八	八	豐久	豐久	同	豐久村	上香山村、曾井村
九	九	矢田	矢田	同	矢田村	豐久村
十	十	文真	文真	同	真加部村	大町村、小畑村
十一	十一	西原	西原	同	西原村	真加部村、余野村
十二	十二	梶並	梶並	同	梶並村	西原村、皆木村
十三	十三	右手	右手	同	右手村	久賀村、真殿村、東谷上村、東谷下村、楮村、梶並村
十四	十四	豐並	豐並	同	廣澤村	右手村
十五	十五	吉野	吉野	同	高圓村	廣澤村、宮内村、是宗村、成松村、久常村、廣圓村、柿村
十六	十六	中島	中島	同	荒内西村	高圓村、行方村、關本村、馬桑村、小坂村
十七	十七	中島	中島	同	中島村	荒内西村、瀧本村、上町川村
十八	十八	中島	中島	同	中島村	中島村

		(吉野郡)																				
		二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
(英田郡)	林野	新野	致志	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	廣井	
	英田郡 倉敷村	同	勝北郡 廣戶市場村	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
		新野山形村	廣戶奥津川村、廣戶市場村、廣戶大岩村、廣戶大吉村、新野西村ノ内字西上	影石村、大茅村、坂根村、長尾村	後山村、中谷村、青野村、太田村、野原村	古野村、江ノ原村、筏津村、知社村、吉田村、川東村、辻堂村、下町村	上石井村、下石井村、西町村、奥海村、眞村、水根村	桑野村、海内村	下庄村、今岡村、笹岡村、小原田村、中山村、宮本村	川上村、野形村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村	赤田村、田井村、瀧村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、桂坪村

		(勝南郡)														
		十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二
(勝南郡)	渡里	英川	日遷	尾谷	眞神	上山	河會	里仁	水南	眞野	竹田	田原	成	芳	誘	明
	勝田郡 勝間田村	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		猪臥村	海田村	尾谷村	眞神村	上山村	北村	万善村	白水村	土居村	竹田村	田原村	鯨村	川崎村	山口村	槍原中村
		猪臥村、北原村、海内村、友野村、平田村、大原村	海田村、下倉敷村	尾谷村	福本村、眞村、井口村、三保原村、眞神村	上山村	北村、瀧宮村、南村、横尾村、中川村	万善村、國貞村、田淵村、鈴家村、柿ヶ原村	白水村、角南村	土居村、蓮花寺村	竹田村	田原村、山城村、日指村	鯨村	川崎村、原村、川北村、南海村、上福原村	山口村、平福村、山外野村	槍原上村、槍原中村、槍原下村、
		勝間田村、岡村、小矢田村、東吉田村、畑屋村、平村(勝北郡)、黒土村														
		北山村、中尾村、豊國原村、明見村、上相村、下香山村、和田村、吉村														

三	湯	湯郷村	勝田郡
四	至	稻穂村	同
五	修	鳥淵村	同
六	飯	飯岡村	同
七	秀	吉ヶ原村	同
八	有	藤田上村	同
九	又	行信村	同
十	周	周佐村	同
十一	教	國分寺村	同
十二	躬	西吉田村	同
十三	躬	池ヶ原村	同
十四	高	福渡村	同
一	至	久米南條郡上弓削村	(久米南條郡)
二	立	下二ヶ村	同
三	全	全間村	同
四	時	神目中村	同
五	明	福渡村	同

六	立	川口村	久米北條郡
七	習	下親村	同
八	成	北庄里方村	同
九	立	原田村	同
十	原	越尾村	同
十一	明	高尾村	同
十二	明	一方村	同
十三	明	一方村	同
十四	原	横山村	同
十五	原	大戸下村	同
十六	圓	久木村	同
十七	得	久木村	同
一	秀	桑上村	(久米北條郡)
二	油	油木下村	同
三	身	山手公文村	同
四	里	北村	同
五	牛	中山手里村	同
六	温	奥山手村	同

川口村、品田村ノ内元品田(津高郡)  
 上親村、下親村、別所村  
 北庄里方村、北庄山手村、山之城村、南庄村  
 西幸村、小原村、頼元村  
 原田村、新城村、金堀村  
 越尾村  
 高尾村、福田村  
 一方村、平福村、中島村、皿村、種村ノ内字上福、北村、井口村  
 大谷村、横山村、八出村、小桁村、金屋村、荻神山村、種村ノ内字下種  
 塚角村、押淵村  
 定宗村、大戸上村、大戸下村、栗子村  
 藤原村、久木村、山ノ上村、小瀬村、橋原村(勝南郡)  
 桑上村、桑下村、里公文上村、里公文村、福田上村、福田下村、神代村  
 油木上村、油木北村、油木下村  
 山手公文北村、山手公文南村  
 中山手里村  
 中山手奥村  
 奥山手村、且土村(眞島郡)、舞高村(同)、下見村(大庭郡)

七	開	久米北條郡通谷村	通谷村
八	文	中堺和歌村	中堺和歌村、東堺和村、西堺和村ノ内吉澤、西在所、東在所、三畝、鬼切、流古、ヒシ畝、小山村、中堺和上口村
九	場	中堺和谷村	中堺和谷村、和田南村ノ内笑田、割船、谷口、御手倉、船津村(津高郡)、西堺和村ノ内稻目、西ノ原、松之尾、城ノ尾、神瀬村ノ内上神瀬、下神瀬(津高郡)
十	就	和田北村	和田北村、大堺和西村
十一	本	角石谷村	角石谷村、三明寺村、和田南村ノ内鶴田、下曲リ、上曲リ、大倉、眞名子、北條、長尾、神瀬村ノ内伊中原、大向(津高郡)
十二	明	角石畝村	角石畝村、角石祖母村
十三	有	境村	境村、大堺和東村、兩山寺村
十四	共	上打穴里村	打穴上村、上打穴里村、上打穴北村
十五	西	打穴西村	打穴西村、下打穴中村
十六	厚	下打穴下村	下打穴下村、戸脇村、錦織村ノ内須崎、小麥尾、兼藤、櫻田、河原
十七	錦	錦織村	錦織村ノ内大久保、久米川南村ノ内大久保
十八	成	宮尾村	宮尾村、久米川南村ノ内山背、足山
十九	精	久米川南村	南方一色村、領家村、南方中村ノ内西尾、林ノ尾、高德、鳥ノ餌、城山、上千代、内田、千代、古峪、久米川南村ノ内中畝、大渡リ、龜町、中組

二十	五	中北下村	中北下村
二十一	博	宮部下村	宮部下村、宮部上村
二十二	喬	坪井下村	坪井下村、南方中村ノ内谷川、岸ノ上、岸ノ下、大地、東岸ノ上、出口、峪尻、久保田、龍王、七面、御先、柳、中北村ノ内山根、磯尾
二十三	岩	北上村	坪井上村、中北上村ノ内明谷、木原、岩谷

明治十八年の學區 學區劃定後五ヶ年間の据置は、實情に則應しなかつたため、明治十八年四月二十七日左の如く改劃した。(岡山縣布達)

學區	區	内	町	村	名
第一番(岡山區)					弓之町、上出石町、中出石町、下出石町、石關町、小畑町、廣瀬町、一番町、二番町、三番町、四番町、五番町、六番町、七番町、八番町、瀧本町、富田町、難波町、萬町、下市町、岩田町
第二番					上ノ町、中ノ町、下ノ町、内山下、東中山下、西中山下、山崎町、桶屋町、柿屋町、野田屋町、野殿町、丸龜町、磨屋町、東田町、西田町、西川七ノ橋以北
第三番					西大寺町、天瀬、橋本町、船着町、川崎町、紙屋町、榮町、常盤町、仁王町、高砂町、濱田町、大雲寺町、瓦町、尾上町、櫻町、大工町、七軒町、下田町、西川七ノ橋以南
第四番					片瀬町、久山町、上内田町、船頭町、二日市町、油町、紺屋町、平野町、藤野町、兒島町、高橋町、山科町、瀬尾町、小野田町、小原町、下内田町、新道

第五番	西中島町、東中島町、小橋町、門田屋敷、大黒町、下片上町、上片上町、古京町、森下町
第一番 (御野郡)	玉柏村、金山寺村、畑鮎村、原村、中原村、宿村、北方村、三野村、津島村、南方村、上伊福村、上出石村、万成村、巖井村、大安寺村、野殿村、島田村、高柳村、野田村、北長瀬村、上中野村、今村、中仙道村、西長瀬村、平田村、辰巳村、田中村、下出石村、大供村、内田村、西古松村、岡村、東古松村
第三番	奥田村、富田村、新保村、下中野村、西市村、米倉村、万倍村、當新田村、青江村、泉田村、福田村、豊成村、濱野村、福富村、福成村、福島村、洲崎村、十日市村、七日市村、二日市村
第一番 (津高郡)	今保村、久米村、白石村、花尻村、尾上村、一宮村、西辛川市場村、大窪村、今岡村、松尾村、福谷村、長野村、檜津村、山崎村、佐山村、芳賀村
第二番	首部村、富原村、中原村、横井上村、柏谷村、田益村、三和村、富吉村、横尾村、日應寺村、田原村、菅野村、吉宗村
第三番	北野村、高野村、中牧村、下牧村、野々口村、吉尾村、中山村、河内村、宇垣村、金川村、草生村、高津村、中泉村、宇甘村、紙工村、虎倉村、下田村、中田村、西原村、櫻村、市場村、建部上村、富澤村、田地子村、宮地村、品田村、赤坂郡芳谷村
第四番	下加茂村、上加茂村、廣面村、高谷村、平岡村、美原村、加茂市場村、富永村、下土井村、和田村、井原村、圓城村、上田西村、上田東村、案田村、三納谷村、細田村、高富村、小森村、豊岡下村、大木村、三谷村、豊岡上村、尾原村、笹目村、溝部村、福澤村、杉谷村、粟井谷村江與味村
第一番 (赤坂郡)	長尾村、立川村、河本村、下市村、上市村、高尾村、南方村、齋富村、沼田村、中島村、日古木村、正崎村、二

第二番	井村、牟佐村、馬屋村、穗崎村、岩田村、和田村、津崎村、神田村、尾谷村、上道郡尖甘村之内字地藏 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ删除)
第三番	熊崎村、鴨前村、西中村、下仁保村、上仁保村、山口村、斗有村、東窪田村、西窪田村、大苅田村、由津里村、町苅田村、西輕部村、東輕部村、今井村、北佐古田村、南佐古田村、多賀村、國ヶ原村、川高村、大屋村、坂邊村、惣分村、小原村 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ合田村ト改正)、合田村之内字瀧河原山ノ上 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ河原毛ト併合、合田村ト改正)、山手村、土師方村、吉田村、小倉村、中畑村、平岡西村、石上村、矢知村、新莊村、伊田村、矢原村、太田村、津高郡鹿瀬村
第四番	福田村、周村、草生村、黒木村、是里村、河原屋村、瀧山村、中勢實村、戶津野村、中山村、鹽木村、仁堀中村、仁堀東村、仁堀西村、平山村、廣戸村、合田村之内字河原毛、小鎌村、西勢實村、磐梨郡稻蒔村、同郡光木村之内字鹽木、久米南條郡京尾村、同郡峠村
第一番 (磐梨郡)	八島田村、暮田村、花光木村之内字來光寺 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ光木村ト改正)、石村、佐伯村、米澤村 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ父井原村ト改正)、父井原村之内字本村、津瀨村、字生村、加三方村、矢田部村、小坂村、田賀村
第二番	釣井村、徳富村、小瀨木村、河田原村、澤原村、殿谷村、佐古村 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ删除)、父井原村之内字大成、岡村、酌田村、可眞下村、禰田村、石蓮寺村、野間村、可眞上村 (明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ彌上村ト改正)、彌上村之内字本村
第三番	万富村、二日市村、大井村、南方村、鍛冶屋村、鹽納村、宗堂村、坂根村、彌上村之内字山ノ池、森末村、神村、江尻村、肩背村、大内村、寺地村、光明谷村、瀧戸村、下村



第一番	(和氣郡) 新庄村、島田村、弓削村、勢力村、香登本村、坂根村、香登西村、福田村、大内村
第二番	伊部、西片上村、久々井村、浦伊部村、東片上村、清水村
第三番	伊里中村、木谷村、閉谷新田村、友延村、穗浪村、片上村、麻字那村、三石村、八木山村、野谷村
第四番	日生村、大多府村、穗浪村之内字木生、寒河村、福浦村
第五番	金谷村、吉永中村、南方村、三股村、福滿村、岩崎村、神根本村、高田村、今崎村、多麻村、力賀美村、都留鼓村、和意谷村、笹目村、吉田村
第六番	藤野村、泉村、日室村、大田原村、尺所村、千躰村、衣笠村、大中山村、奥吉原村、和氣村、福富村、益原村、日笠上村、日笠下村、木倉村、保會村
第七番	岩戸村、田土村、丸山村、矢田村、鹽田村、苦木村、奥鹽田村、北山方村、南山方村
第一番	(邑久郡) 尾張村、豐安村、大窪村、福中村、大富村、宗三村、百田村、福山村、福元村、北島村、向山村、射越村、新地村、門前村、濱村、川口村、新村、五明村、長沼村、豐原村、豆田村、上笠加村、下笠加村、箕輪村、北池村、山田庄村、山手村
第二番	神崎村、北幸田村、乙子村、西幸西村、東幸西村、南幸田村、東幸崎村、西幸崎村、西片岡村、久々井村、東片岡村、藤井村、邑久郷村、宿毛村、上阿知村、下阿知村、千手村、犬島村
第三番	鹿忍村、牛窓村
第四番	長濱村、下山田村、上山田村、本庄村、尻海村、庄田村、福谷村、虫明村
第五番	鶴見村、佐山村、飯井村、東須惠村、西須惠村、牛文村、磯上村、服部村、長船村、土師村、福里村、福岡村、八日市村

第一番	(上道郡) 國富村、原尾島村、西川原村、東川原村、竹田村、濱村、賞田村、祇園村、今在家村、中井村、國府市場村、湯迫村、八幡村、中島村、清水村、網濱村、門田村、澤田村、高屋村、赤田村、關村、藤原、雄町村、四御神村、新屋敷村
第二番	中川村、松崎村、目黒村、大多羅村、長利村、米田村、益野村、松崎新田村、金谷村、乙多見村、長岡村、下村、兼基村、神下村、土田村、宿村、藤井村、鐵村、北方村、南方村、突甘村宇地藤ノ除ク、廣谷村、海吉村、福泊村
第三番	觀音寺村、笹岡村、菊山村、宿奥村、砂場村、中尾村、谷尻村、草ヶ部村、西平島村、沼村、東平島村、矢井村、南古郡村、檜原村、浦間村、淺川村、一日市村、吉井村、西祖村、寺山村、内ヶ原村、才崎村、竹原村、百枝月村、久保村、原村、西大寺村、中野村、西隆寺村、淺越村、西庄村、富崎村、吉原村、福治村、豐田村、九幡村、君津村、升田村、政津村、光津村、金岡村、金岡新田村ノ内字川北
第四番	桑野村、沖元村、藤崎村、江崎村、江並村、倉富村、湊村、平井村、圓山村、山崎村、倉田村、倉益村
第一番	(兒島郡) 味野村、小川村、赤崎村、菰池村、田ノ浦村、吹上村、大島村、下津井村、潮生村、通生村、宇野津村、引網村、田ノ口村、上村、下村、稗田村、柳田村
第二番	呼松村、廣江村、東塚村、北畝村、南畝村、松江村、中畝村、福田古新田村、福田村、蒲田村
第三番	粒江村、黒石村、粒浦村、八軒屋村、天城村、藤戸村、西崎村、會根村、中崎村、内尾村、東崎村、林村、木見村、會原村、串田村、福江村、尾原村、彦崎村、植松村、川張村
第四番	迫川村、奥迫川村、用吉村、宇藤木村、木目村、長尾村、小島地村、瀧村、廣岡村、穂ヶ原村、迫間村、大崎村、

第五番	八濱村、見石村、片岡村、宗津村、山村、白尾村
第六番	田井村、宇野村、玉村、和田村、日比村、澁川村
第五番	波知村、郡村、北浦、飽浦村、宮浦村、小串村、番田村、上山坂村、下山坂村、胸上村、梶岡村、山田村、東野崎村、西田井地村、東田井地村、後閑村、沼村、大藪村
第一番 (都宇郡)	加茂村、矢部村、惣爪村、上東村、山地村、日畑村西組、西尾村、新庄上村、新庄下村、津寺村、下撫川村、中撫川村、下庄村、栗坂村、二子村、松島村、中庄村、黒崎村、鳥羽村、徳芳村、大内田村、日畑村東組、窪屋郡福島村
第三番	山田村、妹尾崎村、妹尾村、大福村、古新田村、箕島
第四番	早島村、前瀧村、矢尾村、高須加村、早島新田村、帶江新田村、早高村、西田村、窪屋郡帶高村
第一番 (窪屋郡)	倉敷村、羽島村、二日市村、加須山村、龜山村、有城村、都宇郡中帶江村、同郡五日市村
第二番	笹沖村、吉岡村、福井村、富井村、沖村、西中新田村、四十瀨村、安江村、白樂市村
第三番	中島村、水江村、酒津村、富久村、老松村、黒田村
第四番	濱村、大島村、平田村、子位庄村、生坂村、西坂村、三田村、淺原村、岡谷村、地頭片山村、宿村、西郡村、赤濱村、下林村、上林村、三須村
第五番	溝口村、眞壁村、中原村、三輪村、柿木村、三因村、上中島村、輕部村、古池村
第一番 (淺口郡)	西之浦村、鶴新田村、龜島新田村、連島村、片島村、西阿知村、西阿知新田村、西原村

第二番	玉島村、乙島村、上成村、柳ヶ原村、水江村、船穩村、長尾村、爪崎村、八島村
第三番	道口村、道越村、上竹村、富村、下竹村、八重村、黒崎村、勇崎村、柏島村、阿賀崎村
第四番	占見新田村、占見村、地頭下村、鴨方村、地頭上村、益坂村、本庄村、小坂東村、小坂西村、深田村、里見村、六條院村、佐方村、須惠村、大谷村
第五番	新庄村、濱中村、西大島村、西大島新田村、大島中村、寄島村
第一番 (小田郡)	笠岡村、東大戸村、小平井村、吉田村、尾坂村、關戸村、新賀村、山口村、今立村、園井村、馬飼村、廣瀬村、繪師村、富岡村、入江新田村、横島村、神島内浦
第二番	西濱村、吉濱村、大宜村、生江濱村、木ノ目村、茂平村、用ノ江村、有田村、篠坂村、押村、大江村、上稻木村、下稻木村、岩倉村、入田村、西大戸村、大河村
第三番	甲弩村、走出村、小田村、宇内村、黒木村、東水砂村、西水砂村、星田村、三山村、大倉村、宇戸谷村、上高末村、宇戸村、烏頭村、下高末村、内田村、宇角村、小林村、西河面村、東河面村、江良村、本堀村、淺海村、矢掛村、東三成村、中村、横谷村、奥山田村、里山田村
第四番	神島外浦、白石島、北木島、眞鍋島
第一番 (後月郡)	井原村、高屋村、笹賀村、下出部村、青野村、稗原村、北山村、宇戸川村、築瀨村、與井村、梶江村、天神山村、吉井村
第二番	上出部村、西方村、門田村、木之子村、神代村、東江原村、西江原村、山野上村
第三番	種村、花瀧村、池谷村、井山村、佐屋村、片塚村、東三原村、西三原村、山村、上鴨村、下鴨村、川相村、川上

第一番	郡高山市村
第二番	岡田村、辻田村、有井村、川邊村、上二万村、市場村、下二万村ノ内字坪田ヲ除ク
第三番	陶村、服部村、妹村、尾崎村、箭田村、下二万村ノ内字坪田
第四番	新本村、山田村、久代村
第五番	下倉村、影村、中尾村、原村
第一番	福谷村、秦村、上原村、富原村、八代村、下原村
第二番	庭瀬村、延友村、平野村、川入村、東花尻村、西花尻村、眞金村、高松村、立田村、原古才村、三手村、稻荷村、平山村、和井元村、大崎村、上土田村、下土田村、小山村、門前村、福崎村、高塚村、田中村、窪木村、北溝手村、長良村、金井戸村、黒尾村
第三番	久米村、奥坂村、西阿曾村、東阿曾村、上足守村、下足守村、大井村、粟井村、河原村、西山内村、東山内村、掛畑村、間倉村、苔山村、庄田村、眞星村、上高田村、竹部村、上野村、山上村、石妻村、杉谷村、下高田村、吉村、日近村、上房郡黒田村、津高郡勝尾村
第三番	福井村、小寺村、刑部村、總社村、井手村、門田村、井尻野村、見延村、尖栗村、日羽村、宇山村、種井村、美袋村、稿村、延原村、西村、宮地村、北村、蛆谷村、楳谷村
第一番	下原村、鷹敷村、佐々木村、下日名村、上日名村、下切村、玉村、増原村、明治村、成羽村、福地村、大津寄村
第二番	領家村、地頭村、黒忠村、三澤村、七地村、下大竹村、仁賀村、上大竹村、布瀬村

第三番	布賀村、高山村、大原村、長屋村、平川村、西油野村、西山村、東油野村、高山市村
第四番	坂本村、穴田村、布寄村、羽根村、長地村、相坂村、中野村、吹屋村、宇治村、小泉村、羽山村
第五番	阿部村、近似村、原田村、神原村、田井村、飯部村、松岡村、春木村
第一番	高梁本町、同川端町、同片原町、同仲之町、同石火矢町、同御前町、同小高下、同頼久寺町、同伊賀町、同寺町、同向町、同柿木町、同大工町、同荒神町、同間ノ町、同田賀町、同八幡町、同中間町、同新町、同鉄砲町、同本町、同下町、同南町、同鍛冶町、松山村、今澤村
第二番	川面村、八川村、巨瀬村、有漢村、上有漢村
第三番	有津井村、稔村、豊野村、湯山村、黒土村、吉川村、納地村
第一番	新見村、正田村、唐松村、足見村、土橋村、高尾村、上熊谷村、下熊谷村、草間村字井倉野ヲ除ク
第二番	佐伏村(明治十九年縣布達甲第十九號ヲ以テ赤馬村ト改正)、赤馬村字湯井、神場、留倉ヲ除ク、宇山村、津々村、西方村、草間村ノ内字井倉野、上中津井村、下中津井村、上水田村、宮地村、山田村、五名村、下菅部村、下菅部上村、阿口村
第三番	布瀬村、赤馬村ノ内湯井、神場、留倉、田治部村、花見村、井原村、實村ノ内字成地、大井野村、山奥村、小坂部村、永富村、小南村、養生村
第一番	井村、西方村、金谷村、下神代村、油野村、高瀬村、釜村、千屋村、坂本村、阿賀郡實村字成地ヲ除ク、同郡馬塚村
第二番	石蟹村、長屋村、井倉村、法會村、萩尾村、花木村、宮河内村、則安村、成松村、矢戸村、老榮村

第三番	致家村、田淵村、大野村、大竹村、八島村、畑木村、矢田村、上神代村、大野邊村
第一番	高田村、横部村、組村、竹原村、本郷村、福谷村、三田村、江川村、草加部村、神村、神代村、見尾村、屋山村、菅谷村、仲間村、柴原村、岡村、正吉村、神庭村、眞賀村、惣村
第二番	富尾村、中村、福田村、開田村、高屋村、影村、日名村、杉山村、上市瀬村、日野上村、下方村、木山村、西河内村、垂水村、野原村、向津矢村、吉村、田原山上村、上山村、鹿田村、栗原村、一色村、且土村、舞高村
第三番	別所村、佐引村、月田村、月田本村、下岩村、若代村、岩井畝村、上村、岩井谷村、後谷村、若代畝村、高田山上村、荒田村、後谷畝村、古呂々尾中村、野村、曲り村、清谷村、關村
第四番	田口村、延風村、美甘村、黒田村、新庄村、鉄山村
第五番	見明戸村、本庄村、種村、栗谷村、東茅部村、西茅部村、本茅部村
第一番	川崎村、林下村、野介代村、本郷村、山西村、押入村、勝部村、親保村、太田村、瀝村、志戸部村、東一宮村、北條郡西一宮村
第一番	下高倉村、大笹村、上高倉村、下横野村、土横野村
第二番	行重村、猶井村、宇野村、原口村、戸賀村、小中原村、塔中村、小淵村、才ノ谷村、中原村、百々村、桑原村、黒木村、公郷村、成安村、下津川村、倉見村
第三番	青柳村、知和村、河井村、山下、物見村、阿波村
第一番	勝加茂東村、勝加茂西村、上野田村、下野田村、捨村、河面村、田熊村、福井村、近長村、廣戸市場村、廣戸大

第二番	岩村、廣戸大吉村、廣戸奥津川村、新野西中村、新野西下村、新野西上村、新山形村、新野東村、堀坂村、津川原村、妙原村、東南條郡野村、東北條郡綾部村、同郡吉見村、同郡草加部村
第三番	植月中村、植月東村、植月北村、石生村、下町川村、河原村、美野村、田井村、曾井村、上香山村、豊久田村、矢田村、大町村、小畑村、眞加部村、河内村、余野村
第一番	西原村、皆木村、眞殿村、梶並村、東谷上村、楮村、東谷下村、久賀村、右手村、高岡村、行方村、關本村、小坂村、馬桑村、豊澤村、宮内村、是宗村、成松村、廣岡村、久常村、柿村、荒内西村、瀧本村、上町川村、中島村
第一番	影石村、大茅村、坂根村、長尾村、青野村、後山村、中谷村、野原村、太田村、古町村、筏津村、知社村、江ノ原村、吉田村、川東村、辻堂村、下町村、上石井村、下石井村、奥海村、眞村、水根村、西町村、海内村、桑野村、下庄村、小原田村、笹岡村、宮本村、金岡村、中山村
第二番	川上村、野形村、赤田村、立石村、壬生村、澤田村、川戸村、栗野村、田井村、瀧村、桂坪村、五名村、宮原村、大聖寺村、豆田村、山手村、小ノ谷村、小野村、梶原村、小房村、鷺巢村、栗井中村、馬形村、長谷内村、宗掛村、田殿村
第一番	倉敷村、三倉田村、三海田村、栃木村、捨原上村、捨原中村、捨原下村、下倉敷村、海田村、猪臥村、海内村、友野村、北原村、大原村、平田村
第二番	山口村、平福村、山外野村、川崎村、原村、上福原村、川北村、南海村、鯨村、吉田村、藤生村、豊野村、藍河内村、松脇村、瀬戸村、大内谷村、岩邊村、田原村、山城村、日指村

第三番	竹田村、土居村、蓮花寺村、泉村、角南村、万善村、國貞村、柿ヶ原村、田淵村、錦家村
第四番	北村、瀧宮村、南村、横尾村、中川村、上山村、福本村、奥村、井口村、三保原村、眞神村、尾谷村
第一番 (勝南郡)	勝間田村、畑屋村、岡村、東吉田村、小矢田村、黒土村、北山村、豊國原村、吉村、中尾村、上相村、和田村、下香山村、明見村、勝北郡平村
第二番	湯郷村、中山村、入田村、稻穂村、則平村、金尿村、殿所村、北坂村、青木村、下大谷村、奥大谷村、位田村、岩見田村、長内村、鳥淵村、青梅村、安蘇村、下山村、中河内村、飯岡村、王子村、高下村
第三番	吉ヶ原村、藤田上村、藤田下村、惣田村、休石村、鹽氣村、重藤村、吉留村、上間村、城田村、行信村、百々村、安井村、羽仁村、松尾村、周佐村、書副村、蓮石村、下谷村、宮山村
第四番	國分寺村、日上村、瓜生原村、河邊村、西吉田村、福力村、中原村、金井村、新田村、池ヶ原村、爲本村、堂尾村、黒坂村、福吉村
第一番 (久米南條郡)	下二ヶ村、佛教寺村、上二ヶ村、下二ヶ山手村、全間村、川口村、神目中村、安ヶ乳村、南畑村、下神目村、上神目村、宮地村、福渡村、豊樂寺村、上親村、下親村、別所村
第二番	下弓削村、西山寺村、羽田木村、鹽ノ内村、上弓削村、松村、泰山寺村、北庄里方村、山之城村、北庄山手村、南庄村、西幸村、小原村、頼元村、原田村、新城村、金堀村、越尾村
第三番	高尾村、福田村、一方村、北村、平福村、井口村、中島村、種村、皿村、大谷村、荒神山村、金星村、小村、横田村、八出村
第四番	塚角村、押淵村、定宗村、大戸下村、大戸上村、栗子村、藤原村、小瀬村、久木村、山ノ上村、勝南郡橋原村

第一番 (久米北條郡)	神代村、里公文村、里公文上村、桑上村、桑下村、福田下村、福田上村、油木上村、油木下村、油木北村、打穴上村、上打穴北村、上打穴里村、打穴西村、打穴中村、戸脇村、下打穴下村、錦織村
第二番	宮尾村、久米川南村、南方一色村、南方中村、中北下村、宮部下村、領家村、宮部上村、坪井下村、中北上村、坪井上村、山手公文北村、山手公文南村、中山手里村、中山奥村、奥山手村、通谷村
第三番	中井和畝村、東井和村、西井和村、中井和村、小山村、中井和村、和田南村、和田北村、大和西村、角石谷村、三明寺村、角石畝村、角石祖母村、境村、兩山寺村、大和東村、津高郡船津村、同郡神瀨村
第一番 (大庭郡)	久世村、中島村、鍋屋村、三坂村、多田村、古見村、野川村、平松村、大庭村、下河内村、赤野村、法界寺村、西原村、田原村、中河内村、上河内村、目木村、三崎村、中原村、台金屋村、樫西村、樫東村、余野下村、余野上村、山久世村、下見村
第二番	田羽根村、湯本村、下湯原村、社村、久見村、釘貫小川村、別所村、吉田村、下和村、眞加子村、初和村、上長田村、下長田村、中福田村、富掛田村、富山根村、下福田村、下徳山村、上徳山村、湯舟村、三世七原村、都喜尾村、上福田村
第一番 (西之條郡)	二宮村、院庄村、神戸村、戸島村、下原村、薪森原村、河本村、原村、高山村、古川村、吉原村、宗枝村、寺元村、眞加部村、布原村、圓宗寺村、和田村、竹田村、土居村、瀧戸村、小座村、貞永寺村、塚谷村、馬場村、入村、上森原村、下森原村、中谷村、山城村
第二番	楠村、大村、富西谷村、富東谷村、富仲間村、久田下原村、土生村、久田上原村、黒木村、河内村、箱村、杉村、井坂村、養農村、西屋村、女原村、至孝農村、羽出村、羽出西谷村、奥津村、奥津川西村、長藤村、下齋原村、

(西北條郡) 第一番	上齋原村 津山山下、同田町、同椿高下、同北町、同城代町、同材木町、同伏見町、同京町、同堺町、同二階町、同元魚町、同下紺屋町、同銀治町、同美濃職人町、同二町目、同三町目、同戸川町、同桶屋町、同新魚町、同新職人町、同吹屋町、同船頭町、同小性町、同河原町、同細工町、同上紺屋町、同坪井町、同福渡町、同宮脇町、同南新座、同鉄砲町、同西今町、同西寺町、同茅町、同安岡町、同新茅町、東南條郡同上ノ町、同郡同中ノ町、同郡同東新町、同郡同西新町、同郡同橋本町、同郡同勝間田町、同郡林田町 山北村、小田中村、總社村、小原村、上河原村、上田邑村、下田邑村 澤田村、市場村、久保田村、沖村、東田邊村、西田邊村、香々美村、寺和田村、百谷村、眞經村、大町村、岩屋村、越畑村
第二番	
第三番	

小學校教則綱領 明治十四年五月四日 文部省布達『小學校教則綱領』によると、小學校を初等・中等・高等の三等に分ち、初等科には修身・讀書・習字・算術の初歩・唱歌・體操を、中等科には、初等科の科目に、地理・歴史・圖畫・博物・物理の初歩を加へ、女子には裁縫を、高等科には、中等科の科目に、化學・生理・幾何・經濟の初歩を加へ、女子には男子の經濟に代へて家事經濟大意を課した。

以上の學科を本則とするが、土地の情況によつては、某學科を増減し、又は農工商業の初歩を加へ得るが、修身・讀書・習字・算術は缺くことを得ない。修業は初等科・中等科共に三箇年、高等科は二箇年、通じて八箇年とした。尤も土地の情況によつては、これを伸縮し得るが、初等科は三箇年を下ることを得ず、各科合して八箇年を超えることは出

來ない。

小學校概則 『小學校教則綱領』に次いで、同十四年七月二十八日『町村立小學校概則』の制定を見た。

町村立小學校概則 (明治十四年七月二十八日)

- 第一條 町村立小學校ハ學區即チ獨立町村或ハ聯合町村ニテ設立シ、其生徒ヲ教育スル一切ノ便ヲ備フベシ、即チ教員準備校舍ノ位置教場ノ分劃書籍器械ノ整備永遠維持ノ方法等満足セシムベシ
- 第二條 町村立小學校ノ教則試驗規則ハ縣令ヲ定ム、校則賞典條例ハ縣令ノ定ムルモノニ準據スベシ
- 第三條 町村立小學校教師ハ男女ノ別ナク官公立師範學校全科卒業證書、若ハ本縣小學校教員免許狀所持年齢十八年以上ニシテ品行方正ナルモノトス
- 第四條 土地ノ情況ニ由リ全科具備ノ教員ヲ得難キ場合ニ限り、一科若ハ數科ヲ修ムルモノヲ合セテ一校ヲ擔當セシメントスルトキハ、本縣一科若ハ數科ノ免許狀ヲ所持年齢十八年以上ニシテ品行方正ナルモノトス
- 第五條 町村立小學校設置ノ後經伺ノ事項中變更アルトキハ、設置ノ手續ニ從ヒ縣令ノ認可ヲ經ベク、校舍ノ修繕及臨時閉閉等ハ郡區長ノ認可ヲ經ベシ
- 第六條 町村立小學校ヲ合併分離セントスルトキハ、惣テ設置ノ手續ニ從ヒ從來ノ資産處分方等ヲ具シ縣令ノ認可ヲ經ベシ

第七條 町村立小學校ヲ廢止セントスルトキハ、廢止ノ事由及資産處分方等ヲ具シ縣令ノ認可ヲ經ベシ

第八條 巡回授業ヲ設クルニハ其授業日數ハ一箇所ニ付毎年十六週日以上ニシテ、授業時間ハ一日三時間以上六時

間以下タルベシ

第九條 學齡兒童ヲ學校ニ入レズ又巡回授業ニ依ラズシテ、別ニ家庭教育ヲ受タル兒童ノ學力ハ其學區内ノ小學校ニ於テ試験セシムベシ

第十條 町村立小學校ヲ創立スルトキハ、第一號書式省ニ基キ事由ヲ詳記シ及ビ教場分畫體操場等ノ圖面ヲ添ヘ伺出ツベシ

第十一條 町村立小學校ノ門標ハ第二號、校旗ハ第三號ノ雛形省ニ由リ掲グベシ

第十二條 町村立小學校々印ハ第四號雛形省ニ由リ調製シ、生徒試験賞與等ノ節捺用スベシ

小學校教則 翌十五年三月『岡山縣小學校教則』、『岡山縣小學校教則課程授業要旨』、『岡山縣小學校教科書表』、『岡山縣小學校諸規則』等の制定を見た。(岡山縣布達)

岡山縣小學校諸規則 (抄)

第一章 通 則

第一條 小學ノ科程ヲ初等中等高等ノ三科ニ區別シ、初等中等ノ二科ハ各六級、高等科ハ四級ニ別チ每級半ケ年ノ修業ト定ム

第二條 初等科ハ年齡滿六年ヨリ滿九年ニ至リ、中等科ハ滿九年ヨリ滿十二年ニ至リ、高等科ハ滿十二年ヨリ滿十四年ニ至リ合セテ在學八ケ年トス

第三條 學期ハ半ケ年ヲ一期トナシ即チ四月十一日ヨリ十月十五日迄ヲ前半期トシ、十月十六日ヨリ四月十日迄ヲ

後半期トス

學科數	級別	年次	科別	
			小 學	初 等 科
六	級六第	第一	小 學	初 等 科
	級五第	第二	小 學	初 等 科
	級四第	第三	小 學	初 等 科
七	級三第	第一	小 學	初 等 科
	級二第	第二	小 學	初 等 科
	級一第	第三	小 學	初 等 科
七	級六第	第一	小 學	中 等 科
	級五第	第二	小 學	中 等 科
七	級四第	第一	小 學	中 等 科
	級三第	第二	小 學	中 等 科
七	級二第	第一	小 學	中 等 科
	級一第	第二	小 學	中 等 科
七	級四第	第一	小 學	高 等 科
	級三第	第二	小 學	高 等 科
七	級二第	第一	小 學	高 等 科
	級一第	第二	小 學	高 等 科

讀 書	修 身	學 科	
		小 學	初 等 科
濁音圖	修身兒訓	前六級	後五級
		前六級	後五級
伊呂波單語圖	同上	同上	同上
		同上	同上
五十音圖連語圖	同上	同上	同上
		同上	同上
漢史簡	學修身小	前六級	後五級
		前六級	後五級
國史略	朱子小	前四級	後三級
		前四級	後三級
同上	同上	同上	同上
		同上	同上
同上	同上	同上	同上
		同上	同上
同上	同上	同上	同上
		同上	同上
同上	同上	同上	同上
		同上	同上
同上	同上	同上	同上
		同上	同上
同上	同上	同上	同上
		同上	同上

算術	數	減	實物ノ加	方	實物ノ計	習字	片假名	平假名	行	次清音
	字	算用數字	減乘除	實物加	筆算	苗字等	十二支	十干	數字	單語圖
	用	珠	珠	加	命	ノ	日用庶物	著名ノ	行	作文
	法	算	算	法	法	類	口上書	地名ノ	書	同上
	法	減	同上	法	法	類	日用書	同上	書	同上
	法	乘	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上
	法	除	同上	法	法	類	同上	同上	書	同上

生理	化學	物理	博物	圖書	歷史	地理
			動物學 植物學	小學 普通	日本史	岡山縣 地誌 日本地 略
			同上	同上	同上	同上
			同上	同上	同上	同上
			同上	同上	同上	同上
			同上	同上	同上	同上
		物理 梯	同上	同上	同上	同上
		同上	同上	同上	同上	同上
		同上	同上	同上	同上	同上
		同上	同上	同上	同上	同上
理解 淺剖 一說 生	學訓 蒙化 同上		植物學 蒙物學 具氏傳	同上	同上	同上
同上	同上		同上	同上	同上	同上
同上	同上		同上	同上	同上	同上
同上	同上		同上	同上	同上	同上



幾何	經濟	體操	裁縫	家事	經濟
		遊			
		戲			
		同			
		同			
		徒			
		動手			
		同			
		同	運針法		
		同	類單衣之		
		同	同		
		同	拾		
		同	類		
		同	同		
		同	同		
幾何		運器	類		
階梯		機械	類		
同上		同	類		
中			同		
同	經濟	同	同	內家	
下	上	同	同	事	
諸難題	下	同	同	同	

第三章 生徒心得

- 一、毎朝早く起キ父母ニ禮ヲナシ學校有用ノ書器ヲ取揃ヘ遺忘ナキ様注意スベシ
- 一、上校ハ始業時限十分前タルベシ
- 一、上校中ハ何事ニ限ラズ總テ教員ノ指圖ヲ待ツベシ

- 一、言語應對ハ禮讓ヲ主トシ相互ノ交際ハ常ニ親切ナルベシ
- 一、何物ニ限ラズ相互ニ貸借スベカラズ、若シ止ヲ得ザル事アルトキハ教員ノ指圖ヲ請フベシ
- 一、途中ニテ教員又ハ親戚朋友ハ勿論其他知リタル人ニ逢フトキハ必ズ慰勸ニ禮節ヲ爲スベシ
- 一、途中ニテ遊戯等ヲ爲スベカラズ
- 一、途中ニテ牛馬又ハ車等ニ遇フトキハ路傍ニ避ケ怪我ナキ様注意スベシ
- 一、教場ニ在テハ特ニ恭敬ヲ旨トシ總テ教員ノ指揮ニ從ヒ着實ニ業ヲ受ケ、若シ不審ノ件アレバ徐ニ質問スベシ、妄リニ意見ヲ述べ我意ヲ主張スベカラズ

第五章 試験規則

- 第一條 試験ヲ區別シテ恒例進級卒業ノ三種トス、其他各校生徒ノ優劣ヲ檢センガ爲メ數校ノ生徒ヲ合シテ臨時ニ試験ヲ行フ事アルベシ
- 第二條 恒例試験ハ毎月末其月學修セシ所ノ諸學科ヲ檢シ且ツ其優劣ニヨリ席次ヲ定ムルモノトス
- 第三條 進級試験ハ一ヶ年兩度即チ三月二十六日ヨリ四月十日迄、十月一日ヨリ同月十五日迄ノ間ニ其級ニ於テ修學セシ諸學科ヲ檢シテ其優劣ト本級毎度恒例試験ノ優劣トヲ照合シ合格ノ者ハ進級セシメ不合格ノ者ハ尙ホ原級ニ止ムルモノトス

- 第四條 卒業試験ハ初等又ハ中等高等ノ科ヲ踏ミ終リシ後チ、其教科ヲ驗シ其優劣ト各級進級試験ノ優劣トヲ合算シ、合格ノ者ハ進等セシメ不合格ノ者ハ尙ホ原等ニ止ムル者トス、但卒業試験ハ各級相通シ一科毎ニ驗スベシ

第五條 諸科驗スル處ハ其級各生同一ノ箇所タルベシ

岡山縣小學校教科書表

科別	種別	修身	讀										習字
			以呂波	五十音	濁音	次清音	單語	連語	小學讀本	小學日本史略	算	術	
初等	科	修身 小學修身 修身訓	一 枚	一 枚	一 枚	一 枚	八 枚	八 枚	三 冊	二 冊	六 冊	算 用 數 字 圖 一 枚	數 字 圖 一 枚
中等	科	修身 小學 泰西勸善訓蒙	三 冊	一 冊	漢 史 簡 覽 五 冊 (岡山縣師範學校藏版)	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	算 學 教 授 書 一 冊	算 學 教 授 書 一 冊	
高等	科	朱子 小學	四 冊	國 史 略 五 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	算 學 教 授 書 一 冊	算 學 教 授 書 一 冊	

科別	種別	修身	讀										習字
			以呂波	五十音	濁音	次清音	單語	連語	小學讀本	小學日本史略	算	術	
初等	科	修身 小學修身 修身訓	一 枚	一 枚	一 枚	一 枚	八 枚	八 枚	三 冊	二 冊	六 冊	算 用 數 字 圖 一 枚	數 字 圖 一 枚
中等	科	修身 小學 泰西勸善訓蒙	三 冊	一 冊	漢 史 簡 覽 五 冊 (岡山縣師範學校藏版)	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	算 學 教 授 書 一 冊	算 學 教 授 書 一 冊	
高等	科	朱子 小學	四 冊	國 史 略 五 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	六 冊	算 學 教 授 書 一 冊	算 學 教 授 書 一 冊	

史 歴	日 本 史 略	日 本 史 略 續 編	小 學 普 通 書 學 本 (甲)	七 冊	小 學 普 通 書 學 本 (甲)	四 冊	動 物 小 學	上 下 二 冊	植 物 小 學	上 下 二 冊	礦 物 小 學	一 冊	物 理 階 梯	三 冊	化 物 學 理	調 蒙 化 學	二 冊	理 生	解 剖 生 理 淺 說	三 冊	何 幾	幾 何 學 階 梯	三 冊	濟 經	經 濟 要 旨	上 下 二 冊	事 家	家 事 要 訓	前 編 二 冊
	日 本 史 略	日 本 史 略 續 編	小 學 普 通 書 學 本 (甲)	七 冊	小 學 普 通 書 學 本 (甲)	四 冊	動 物 小 學	上 下 二 冊	植 物 小 學	上 下 二 冊	礦 物 小 學	一 冊	物 理 階 梯	三 冊	化 物 學 理	調 蒙 化 學	二 冊	理 生	解 剖 生 理 淺 說	三 冊	何 幾	幾 何 學 階 梯	三 冊	濟 經	經 濟 要 旨	上 下 二 冊	事 家	家 事 要 訓	前 編 二 冊

學期は半ケ年一期制なるため、入學も毎期の進級試験後即ち、四月・十月の兩度とし、學期中臨時に入學を欲するもの、出願は、毎月第一・第三月曜日である。

**小學校等科規定** 明治十七年三月三日、縣當局は郡區長に對して、『小學校教則綱領』に依り、小學校の等科規定方を達した。等科は、「小學校ヲ分テ高中初等小學校・中初等小學校・初等小學校トス、但町村ノ事情ニ因リ高等小學校ノミ特ニ設置スルヲ得。高中初等小學校ハ地勢ノ便否人戸ノ疎密ニ因リテ特立又ハ聯合設置スルヲ得ベシト雖モ、中初等及ビ初等小學校ニ於テハ他ノ高等ナル小學校ト聯合シ必ズ各等科ヲシテ完備ナラシムベシ。小學校ヲ聯合設置スルニハ初等科生徒通學最遠距離ヲ概ネ二十町トシ、中等科ヲ四十町、高等科ヲ六十町内外トスヘシ。」を條件とした。

この示達と同時に、左の如く内訓したのである。

抑モ教育ハ治國齊家ノ大本ニシテ苟クモ此人アレバ此ノ教ナカル可ラズ、況ンヤ邊陲僻邑ノ教育ニ在テハ小學ヲ措テ將タ何クニ求ンヤ、故ニ小學校ハ益完全ヲ謀リ善良ノ教育ヲ施行セザル可ラザルノ處、盛衰恒ナク或ハ一朝物價ノ變動ニ當リ、忽チ影響ヲ及ボシ甚シキハ一時學校ヲ閉鎖シ以テ其費用ヲ免レントスルノ箇所往々有之、是レ皆平素維持方ノ鞏固ナラザルニ職由スル者ニシテ、固ヨリ郡區長ノ深ク注意スベキ所ナリ。

**小學校等科決定** 如上の規定に基き、明治十七年より翌年に互つて、各郡區共小學校等科の決定を告げた。(岡山縣連)

岡 山 區 (明治十八年三月廿四日)

等 科	學 區 位 置	校 名	備 考	等 科	學 區 位 置	校 名	備 考
高中初等	第一番學區弓ノ町弘西小學校			同	第三番學區 天 濱晚翠小學校		
同	第二番學區西中山下又新小學校			同	第四番學區船頭町清輝小學校		

高中初等科 第五番學區小橋町環翠小學校

御野郡 (明治十七年七月二十三日)

高中初等科	第十番學區下出石村御野中學校充用	高中初等科	第十番學區下出石村	同	第五番學區進智小學校	中等科ハ青江村小學校ト聯合教授
初中等科	第四番學區今村	初中等科	第七番學區青江村	同	第八番學區福富小學校	同上
同	第十三番學區三野村	同	第一番學區石井小學校	同	第九番學區春日小學校	同上
初等科	第二番學區富山小學校	同	第四番學區順則小學校	同	第十番學區放海小學校	同上
同		同		同	第十二番學區烏山小學校	中等科ハ下出石村小學校ト聯合教授
同		同		同	第十四番學區玉柏小學校	同上

御野郡 (明治十八年五月改正)

高等科	第二番學區下出石村御野中學校充用	高等科	第一番學區三野村	同	第一番學區上伊福村伊福小學校	中等科ハ野田小學校ト聯合教授以下三校之ニ同ジ
初中等科	第三番學區青江村	初中等科	第一番學區玉柏村玉柏小學校	同	第二番學區巖井村石井小學校	同上
同		同	第一番學區津島村烏山小學校	同	第二番學區大安寺村富山小學校	同上
初等科		同		同	第二番學區辰巳村順則小學校	同上
同		同		同	第二番學區大供村放海小學校	同上

同 同 第三番學區西市村通知小學校

津高郡第一部聯合 (明治十七年十月二十五日)

高中初等科	第三番學區辛川市場村	高中初等科	第一番學區白石村白石小學校	同	第四番學區松尾村	同
初中等科		初中等科		同		

津高郡第二部聯合 (同上)

高中初等科	第七番學區柏谷村香橋小學校	高中初等科	第六番學區中原村東原小學校	同	第十番學區富吉村高山小學校	
初中等科		初中等科		同	第十二番學區菅野村菅野小學校	

津高郡第三部聯合 (同上)

高中初等科	第十七番學區金川村臥龍小學校	高中初等科	第十四番學區中牧村牧郷小學校	同	第十六番學區河内村弘智小學校	
初中等科		初中等科	第二十番學區紙工村承芳小學校	同	第二十二番學區建部上村今福小學校	

津高郡第四部聯合 (明治十八年二月七日)

高中初等科	第二十六番學區圓城村圓城小學校	高等科ハ圓城小學 校ト聯合授業、以下六校之ニ同シ	同	第二十七番學區高富村高富小學校	
中初等科	第二十三番學區下加茂村加茂小學校		同	第二十八番學區豐岡下村豐岡小學校	
同	第二十四番學區高谷村高谷小學校		同	第二十九番學區尾原村溫良小學校	
同	第二十五番學區富永村富永小學校		同	第三十番學區江與味村伊吹小學校	

赤坂郡 (明治十七年八月十一日)

高等科	第九番學區西輕部村元赤坂中學校	高等科ハ西輕部村 高等小學校ト聯合授業、以下十四校之ニ同シ	同	第十六番學區黑本村黑本小學校	
中初等科	第一番學區高屋村高陽小學校		同	第二十三番學區仁堀東村仁堀小學校	
同	第四番學區馬屋村		同	第二十八番學區土師方村土師小學校	
同	第五番學區西中村		同	第三十番學區新庄村	
同	第八番學區町田村石相小學校		初等科	第六番學區國ヶ原原小學校	
同	第十番學區今井村		同	第七番學區山口村橋山小學校	
同	第十二番學區坂邊村琢成小學校		同	第二十六番學區小鎌村小鎌小學校	
同	第十五番學區周匝村周匝小學校		同	第二十七番學區太田村長谷小學校	

赤坂郡 (明治十八年五月十八日改定)

高中初等科	第一番學區高屋村高陽小學校	高等科ハ高陽小學校ト聯合授業	中初等科	第一番學區馬屋村	高等科ハ高陽小學校ト聯合授業
-------	---------------	----------------	------	----------	----------------

初等科	第一番學區尾谷村陽或小學校	高等科ハ石相小學校ト聯合授業、以下三校之ニ同シ	中初等科	第三番學區土師方村土師小學校	高等科ハ新庄小學校ト聯合授業、以下三校之ニ同シ
高中初等科	第二番學區町田村石相小學校		同	第三番學區坂邊村琢成小學校	
中初等科	第二番學區西中村西山小學校		初等科	第三番學區太田村長谷小學校	中等科ハ土師小學校ト聯合授業
同	第二番學區今井村		高中初等科	第四番學區仁堀東村仁堀小學校	
初等科	第二番學區山口村橋山小學校	中等科ハ石相小學校ト聯合授業	中初等科	第四番學區黑本村黑本小學校	高等科ハ仁堀小學校ト聯合授業
同	第二番學區國ヶ原原小學校	中等科ハ西山小學校ト聯合授業	初等科	第四番學區小鎌村小鎌小學校	高等科ハ仁堀小學校ト聯合授業
高中初等科	第三番學區新庄村				

磐梨郡 (明治十七年九月一日)

高中初等科	第八番學區吉原村	高等科ハ吉原村高等小學校ト聯合授業、以下七校之ニ同シ	初等科	第一番學區石村平岩小學校	中等科ハ矢田郡村聯合授業
中初等科	第三番學區矢田郡村		同	第六番學區田原上村田原小學校	中等科ハ吉原村高等小學校ト聯合授業
同	第十一番學區可眞下村		同	第十番學區殿谷村	中等科ハ可眞下村聯合授業
同	第十五番學區銀冶屋村		同	第十九番學區大內村淇原小學校	中等科ハ銀冶屋村聯合授業
同	第十八番學區江尻村				

和氣郡第一部聯合 (明治十七年八月一日)

高中初等科 中初等科	第六番學區西片上村協和小學校 第一番學區新庄村新庄小學校 第二番學區弓削村弓削小學校 第四番學區香登本村香登小學校 第八番學區伊里中村伊里小學校	高等科ハ協和小學校 校ト聯合授業、以下七校之ニ同シ	同 同 同 同 同	第十一番學區穗浪村穗浪小學校 第十七番學區三石村三石小學校 第六番學區久々井村詠海小學校 第十六番學區蕃山村蕃山小學校	中等科ハ協和小學校 校ト聯合授業、以下七校之ニ同シ
---------------	--	------------------------------	-----------------------	--	------------------------------

和氣郡第二部聯合 (同上)

高中初等科 中初等科	第十三番學區日生村日生小學校及支校 第十四番學區寒河村寒河小學校	高等科ハ日生小學校 校ト聯合授業、以下二校之ニ同シ	同 同	第十五番學區福浦村福浦小學校 第十三番學區大多府村大多府小學校	中等科ハ寒河小學校 校ト聯合授業、以下二校之ニ同シ
---------------	-------------------------------------	------------------------------	--------	------------------------------------	------------------------------

和氣郡第三部聯合 (同上)

高中初等科 中初等科	第二十六番學區泉村野吉小學校 第十九番學區吉永中村永保小學校 第二十番學區神根本村神根小學校 第二十一番學區多麻村瀧谷小學校 第二十二番學區都留岐村大藤小學校 第三十一番學區和氣村和氣小學校	高等科ハ野吉小學校 校ト聯合授業、以下之ニ同シ	同 同 同 同 同 同	第卅三番學區日笠下村修養小學校 第三十八番學區矢田村矢田小學校 第三十九番學區鹽田村鹽田小學校 第四十番學區北山方村三保小學校 第二十七番學區衣笠村平松小學校 第三十番學區奧吉原村東光小學校	中等科ハ野吉小學校 校ト聯合授業、以下之ニ同シ
---------------	--	----------------------------	----------------------------	--	----------------------------

同	第卅三番學區保會村泉野小學校	中等科ハ修養小學校 校ト聯合授業	同	第卅七番學區田土村田土小學校	中等科ハ矢田小學校 校ト聯合授業
---	----------------	---------------------	---	----------------	---------------------

邑久郡第一部聯合 (明治十七年十月十四日)

高中初等科 中初等科	第三十六番學區山手村高砂小學校 第二番學區福中村星川小學校 第四番學區濱村薰陶小學校 第二十番學區長濱村就將小學校 第二十二番學區豐原村潤德小學校 第二十三番學區本庄村衣笠小學校 第二十四番學區尻海村錦海小學校 第二十六番學區虫明村雲掛小學校 第二十七番學區鶴海村鶴海小學校 第二十九番學區東須惠村高松小學校	高等科ハ高砂小學校 校ト聯合授業	同 同 同 同 同 同 同 同 同 同	第三十二番學區土師村神山小學校 第卅三番學區福岡村晚翠小學校 第卅五番學區上笠加村淳風小學校 第三番學區北島村今城小學校 第廿一番學區下山田村啓心小學校 第二十五番學區福谷村玉島小學校 第二十八番學區佐山村狹山小學校 第一番學區尾張村汲古小學校 第三十番學區磯上村鴨田小學校 第三十一番學區服部村明倫小學校	中等科ハ潤德小學校 校ト聯合授業、以下之ニ同シ
---------------	---	---------------------	--	--	----------------------------

邑久郡第二部聯合 (同上)

高中初等科 中初等科	第十一番學區西幸崎村 第九番學區西幸西村	高等科ハ西幸崎小學校 校ト聯合授業、以下四校ト同シ	同 同	第十五番學區東片岡村 第十七番學區上阿知村	中等科ハ西幸崎小學校 校ト聯合授業、以下四校ト同シ
---------------	-------------------------	------------------------------	--------	--------------------------	------------------------------

初等科	第十二番學區西片岡村	中等科ハ西幸崎ト高 聯合授業	同	第十三番學區久々井村	中等科ハ東片岡村 聯合授業
高中初等科	邑久郡第三部聯合 (同上)		中初等科	第十八番學區鹿忍村鹿忍小學校	高等科ハ牛窓小學校 ト聯合授業
高中初等科	第十九番學區牛窓村牛窓小學校		同	第十六番學區西大寺村	
高中初等科	第七番學區大多羅村上道小學校	高等科ハ上道小學校 ト聯合授業、以下十校之ニ同シ	同	第十七番學區金岡新田村	
中初等科	第一番學區原尾島村		同	第二十番學區政津村	
同	第三番學區中井村		同	第二十二番學區藤崎村	
同	第八番學區尖甘村		初等科	第二十三番學區倉田村	中等科ハ藤崎中初 等小學校ト聯合授 業 同上
同	第十番學區草ヶ部村		同		
同	第十一番學區檜原村		同		
高中初等科	第一番學區味野村龍王小學校	高等科ハ龍王小學校 ト聯合授業、以下九校同シ	同	第六番學區鹽生村潮生小學校	
中初等科	第四番學區吹上村扇嶺小學校		同	第四十八番學區田之口村仙臨小學校	
兒島郡第一部聯合 (明治十七年十二月二十四日)					

同	第五十番學區上村求仙小學校	中等科ハ龍王小學校 ト聯合授業	同	第四十七番學區引網村琴浦小學校	中等科ハ仙臨小學校 ト聯合授業
同	第二番學區赤崎村龍南小學校	中等科ハ龍王小學校 ト聯合授業	同	第五十一番學區下村檀濱小學校	中等科ハ求仙小學校 ト聯合授業
同	第三番學區大島村鷲嶺小學校	中等科ハ扇嶺小學校 ト聯合授業	同	第五十二番學區神田村觀瀾小學校	同上
同	第五番學區下津井村鉦海小學校	同上	同		
兒島郡第二部聯合 (同上)					
高中初等科	第九番學區東塚村	高等科ハ東塚村高 中初等科ト聯合授業、以下二校之ニ同シ	同	第十二番學區福田古新田村故新小學校	中等科ハ故新小學校 ト聯合授業
中初等科	第七番學區呼松村呼松小學校		初等科	第十四番學區浦田村浦田小學校	
兒島郡第三部聯合 (同上)					
高中初等科	第十六番學區天城村天城小學校	高等科ハ天城小學校 ト聯合授業	同	第二十三番學區林村櫻井小學校	中等科ハ天城小學校 ト聯合授業
中初等科	第十五番學區粒江村浮洲小學校		初等科	第十七番學區西崎村西崎小學校	
同	第十九番學區中崎村易崎小學校		同	第十六番學區藤戸村藤戸小學校	
同	第二十一番學區東崎村東崎小學校		同	第二十四番學區尾原村硯池小學校	
同	第二十二番學區彦崎村彦崎小學校		同		
兒島郡第四部聯合 (同上)					

高中初等科 中初等科	第三十番學區 榎ヶ原村 第二十六番學區 迫川村 迫川小學校 第二十九番學區 長尾村 長尾小學校 第三十二番學區 八濱村 八濱小學校	高等科ハ榎ヶ原高 中初等科ハ迫川小學校以下六 校聯合授業ニ同ジ	同 初等科	第四十九番學區 山村 漸磨小學校 第二十五番學區 片岡村 鷺尾小學校 第二十八番學區 木目村 木島小學校 第三十一番學區 大崎村 硯井小學校	中等科ハ迫川小學 校ト聯合授業 校ト聯合授業 同上
---------------	--	---------------------------------------	----------	---	------------------------------------

兒島郡第五部聯合 (同上)

高中初等科 中初等科	第四十番學區 北方村 清水小學校 第三十五番學區 北浦村 北尾小學校 第三十七番學區 宮浦村 新華小學校 第三十九番學區 小串村 位領小學校 第四十一番學區 胸上村 龍淵小學校	高等科ハ清水小學 校ト聯合授業ニ同ジ	同 初等科	第四十二番學區 山田村 養才小學校 第四十三番學區 後閑村 後閑小學校 第三十四番學區 郡井村 甲北小學校 第三十八番學區 阿津村 玉房小學校	中等科ハ北辰小學 校ト聯合授業 校ト聯合授業 同上
---------------	--	-----------------------	----------	--	------------------------------------

兒島郡第六部聯合 (同上)

高中初等科 中初等科	第四十五番學區 宇野村 通開小學校 第四十四番學區 田井村 田井小學校	高等科ハ通開小學 校ト聯合授業ニ同ジ	同 初等科	第四十六番學區 和田村 琴灘小學校 第四十六番學區 日比村 琴灘小學校	中等科ハ琴灘小學 校ト聯合授業
---------------	--	-----------------------	----------	--	--------------------

都宇郡第一部聯合 (明治十七年九月一日)

高等科 中初等科	第三番學區 下庄村 第一番學區 下孫川村 孫川小學校 第二番學區 加茂村 鴨溪小學校 第三番學區 上東村 第三番學區 下庄村	高等科ハ下庄村高 等科ト聯合授業 以下七校之ニ同ジ	同 初等科	第五番學區 中庄村 擴充小學校 第六番學區 中庄村 萬壽小學校 第十六番學區 新庄上村 宏壯小學校 第五番學區 黑崎村 格致小學校	中等科ハ擴充小學 校ト聯合授業
-------------	--	---------------------------------	----------	--	--------------------

都宇郡第二部聯合 (同上)

高等科 中初等科	第十一番學區 箕島村 第八番學區 山田村 盈進小學校 第九番學區 大福村 前坂小學校 第十番學區 妹尾村 妹尾小學校 第十一番學區 箕島村 進取小學校	高等科ハ箕島小學 校ト聯合授業ニ同ジ	同 初等科	第十二番學區 早島村 早島小學校 第十三番學區 早島新田村 精成小學校 第十四番學區 帶江新田村 養生小學校 第十五番學區 早高村 如水小學校	
-------------	---	-----------------------	----------	--	--

窪屋郡第一部聯合 (明治十七年八月一日)

高中初等科 中初等科	第一番學區 倉敷村 倉敷小學校 第二番學區 二日市村 帶江小學校 第三番學區 笹沖村 笹沖小學校	高等科ハ倉敷小學 校ト聯合授業ニ同ジ	同 初等科	第八番學區 老松村 第六番學區 中島村 中島小學校 第七番學區 水江村 水江小學校	
---------------	--	-----------------------	----------	---	--



同	中初等科	第九番學區 濱村三進小學校	初等科	第四番學區 富井村富井小學校	中等科ハ三須小學校 校ト聯合授業
同	同	第九番學區 子位庄村三進小學校	同	第十九番學區 酒津村酒津小學校	中等科ハ水江小學校 校ト聯合授業
同	同	第十番學區 生坂村生坂小學校	同	同	同

窪屋郡第二部聯合 (同上)

同	高中初等科	第十一番學區 岡谷村養素小學校	初等科	第十二番學區 赤濱村日新小學校	中等科ハ三須小學校 校ト聯合授業
同	中初等科	第十四番學區 三須村三須小學校	同	第十三番學區 上林村上林小學校	同上
同	同	第十五番學區 溝口村培達小學校	同	第十六番學區 中原村中原小學校	中等科ハ培達小學校 校ト聯合授業
同	同	第十八番學區 輕部村輕部小學校	同	第十七番學區 三輪村三輪小學校	同上

淺口郡第一部聯合 (明治十八年三月五日)

同	高中初等科	第一番學區 玉島村玉島小學校	同	第四十八番學區 柏島村松柏小學校	中等科ハ玉島小學校 校ト聯合授業
同	中初等科	第二番學區 乙島村立志小學校	初等科	第四十九番學區 阿賀崎村阿賀崎小學校	同上
同	同	第十二番學區 船穂村船穂小學校	同	第三番學區 乙島村誠意小學校	中等科ハ玉島小學校 校ト聯合授業
同	同	第十三番學區 長尾村長雄小學校	同	第四番學區 上成村益習小學校	同上
同	同	第十八番學區 道口村養村小學校	同	第十番學區 柳井原村蓮江小學校	中等科ハ船穂小學校 校ト聯合授業
同	同	第四十五番學區 黒崎村本村小學校	同	第十一番學區 水江村水江小學校	同上

同	高中初等科	第十六番學區 八島村又新小學校	同	第四十四番學區 黒崎村佐見小學校	中等科ハ本村小學校 校ト聯合授業
同	同	第二十番學區 上竹村上竹小學校	同	第四十七番學區 勇崎村宮地小學校	同上
同	同	第二十一番學區 下村浩然小學校	同	同	同上

淺口郡第二部聯合 (同上)

同	高中初等科	第五番學區 西浦村西浦小學校	初等科	第九番學區 西原村西原小學校	中等科ハ得知小學校 校ト聯合授業
同	中初等科	第七番學區 連島村連島小學校	同	第九番學區 西阿知村升目小學校	同上
同	同	第八番學區 片島村得知小學校	同	第六番學區 龜島新田村龜島小學校	中等科ハ西浦小學校 校ト聯合授業

淺口郡第三部聯合 (同上)

同	高中初等科	第二十四番學區 鴨方村觀生小學校	同	第三十番學區 里見村池口小學校	中等科ハ眞實小學校 校ト聯合授業
同	中初等科	第二十二番學區 占見新田村有進小學校	同	第三十一番學區 里見村松雄小學校	同上
同	同	第三十番學區 六條院村眞實小學校	同	第三十八番學區 六條院村誠實小學校	中等科ハ眞實小學校 校ト聯合授業
同	初等科	第三十五番學區 地頭上村克巳小學校	同	第四十番學區 六條院村一貫小學校	同上
同	同	第三十七番學區 小坂東村杉谷小學校	同	第四十一番學區 佐方村盧左小學校	中等科ハ有進小學校 校ト聯合授業
同	同	第三十八番學區 小坂西村崇道小學校	同	第四十二番學區 須惠村敬業小學校	同上
同	同	第二十九番學區 深田村懷德小學校	同	同	同上

淺口郡第四部聯合 (同上)

高中初等科	第三十六番學區寄島村日新小學校	高等科ハ日新小學	同	第卅五番學區大島中村資政小學校	中等科ハ泰秀小學
中初等科	第三十二番學區新庄村醇成小學校	校ト聯合授業、以下七校之ニ同ジ	同	第卅五番學區大島中村波明小學校	校ト聯合授業
同	第卅四番學區西大島村大島小學校	同	同	第三十七番學區寄島村鳴瀧小學校	同上
同	第卅五番學區大島中村泰秀小學校	同	同	第四十三番學區黑崎村南浦小學校	同上
初等科	第三十二番學區里見村大原小學校	中等科ハ醇成小學	同		同上

[註] 明治十八年五月十五日初等科大原小學校ハ第三部ヘ編入、高等科ハ觀生小學校、中等科ハ眞實小學校ト聯合授業。初等科南浦小學校ハ第一部ヘ編入。高等科ハ玉島小學校、中等科ハ本村小學校ト聯合授業。

淺口郡第二番學區・第三番學區小學校等科左之通改定 (明治十八年七月三日)

高中初等科	第二番學區玉島村玉島小學校	高等科ハ玉島小學	同	第二番學區柳井原村蓮江小學校	中等科ハ船穂小學
中初等科	第二番學區乙島村立志小學校	校ト聯合授業、以下六校之ニ同ジ	同	第二番學區水江村水江小學校	同上
同	第二番學區船穂村船穂小學校	同	同	第三番學區阿賀崎村阿賀崎小學校	高等科ハ阿賀崎小學
同	第二番學區長尾村長雄小學校	同	初中等科	第三番學區道口村豐村小學校	校ト聯合授業、以下八校之ニ同ジ
同	第二番學區乙島村誠意小學校	中等科ハ玉島小學	同	第三番學區黒崎村本村小學校	同上
初等科	第二番學區上成村益習小學校	校ト聯合授業、以下一校之ニ同ジ	同	第三番學區柏島村松柏小學校	同上

小田郡第一部聯合 (明治十七年九月三十日)

初等科	第三番學區八島村又新小學校	中等科ハ豊村小學	同	第三番學區黒崎村南浦小學校	中等科ハ本村小學
同	第三番學區上竹村上竹小學校	同上	同	第三番學區黒崎村佐見小學校	同上
同	第三番學區下竹村下竹小學校	同上	同	第三番學區黒崎村宮地小學校	同上

小田郡第一部聯合 (明治十七年九月三十日)

高中初等科	第一番學區笠岡村笠岡小學校	高等科ハ笠岡小學	同	第三十七番學區富岡村富岡小學校	同上
中初等科	第十五番學區新賀村新賀小學校	校ト聯合授業、以下十四校之ニ同ジ	同	第三十八番學區横島村横島小學校	中等科ハ神島小學
同	第卅九番學區神島内浦神島小學校	同	同	第三十九番學區神島外浦	校ト聯合授業
初等科	第三番學區小平井村小平井小學校	中等科ハ笠岡小學	同	第四十番學區白石島白石小學校	同上
同	第十三番學區吉田村吉田小學校	校ト聯合授業	同	第四十一番學區北木島北木小學校	同上
同	第十四番學區尾坂村尾坂小學校	同上	同	第四十一番學區北木島ノ内字豐浦	同上
同	第十六番學區山口村山口小學校	同上	同	第四十二番學區眞鍋島眞鍋小學校	同上
同	第三十六番學區今立村今立小學校	中等科ハ笠岡小學	同	第四十二番學區眞鍋島ノ内字六島	同上

小田郡第二部聯合 (同上)

高中初等科	第二番學區吉濱村吉濱小學校	高等科ハ吉濱小學	同	第二番學區大宜村宇濱川	中等科ハ吉濱小學
中初等科	第七番學區下稻木村稻木小學校	校ト聯合授業、以下六校之ニ同ジ	同	第三番學區茂平村茂平小學校	同上

初等科	第五番學區有田村有田小學校	中等科ハ吉濱小學校ト聯合授業	同	第十番學區大河村河戶小學校	同上
同	第九番學區入田村入田小學校	同上	同	第十一番學區東大戸村桑園小學校	同上

小田郡第三部聯合 (同上)

高中初等科	第三十番學區矢掛村矢掛小學校	高等科ハ矢掛小學校ト聯合授業、以下十校之ニ同シ	同	第廿番學區黒木村字内小學校支校	同上
中初等科	第十七番學區走出村走出小學校	同上	同	第十八番學區山田村山田小學校	同上
同	第二十八番學區内田村内田小學校	同上	同	第廿六番學區下高末村高末小學校	同上
同	第廿九番學區西川面村川面小學校	同上	同	第二十九番學區江良村	同上
同	第卅五番學區里山田村山田小學校	同上	同	第三十一番學區三成村三成小學校	同上
初等科	第十九番學區宇内村宇内小學校	中等科ハ川面小學校ト聯合授業	同	第三十三番學區横谷村温知小學校	中等科ハ内田小學校ト聯合授業、中等科ハ川面小學校ト聯合授業、中等科ハ矢掛小學校ト聯合授業

小田郡第四部聯合 (同上)

高中初等科	第二十三番學區三山村三山小學校	高中中等科ハ三山小學校ト聯合授業	同	第二十四番學區宇戸谷村宇戸谷小學校	同上
同	第廿一番學區東水砂村水砂小學校	同上	同	第二十五番學區鳥頭村宇戸谷小學校支校	同上
同	第二十二番學區星田村星田小學校	同上	同		

小田郡第一部聯合 (明治十八年四月二十四日改正)

高中初等科	第一番學區笠岡村笠岡小學校	高等科ハ笠岡小學校ト聯合授業、以下十五校之ニ同シ	初等科	第十四番學區尾坂村尾坂小學校	中等科ハ吉田小學校ト聯合授業
中初等科	第十一番學區東大戸村桑園小學校	同上	同	第十五番學區新賀村新賀小學校	中等科ハ山口小學校ト聯合授業
同	第十三番學區吉田村吉田小學校	同上	同	第三十九番學區神島外浦	中等科ハ笠岡小學校ト聯合授業
同	第十六番學區山口村山口小學校	同上	同	第四十番學區白石島白石小學校	同上
同	第三十六番學區今立村今立小學校	同上	同	第四十一番學區北木島北木小學校	同上
同	第三十七番學區富岡村富岡小學校	同上	同	第四十二番學區北木島字金風呂豊浦	同上
同	第三十八番學區横島村横島小學校	同上	同	第四十二番學區眞鍋島眞鍋小學校	同上
同	第卅九番學區神島内浦神島小學校	同上	同	第四十二番學區眞鍋島字六島	同上
初等科	第卅番學區小平井村小平井小學校	中等科ハ桑園小學校ト聯合授業	同		

小田郡第二部聯合 (同上)

高中初等科	第二番學區吉濱村吉濱小學校	高等科ハ吉濱小學校ト聯合授業、以下五校之ニ同シ	初等科	第三番學區茂平村茂平小學校	中等科ハ用ノ江小學校ト聯合授業
中初等科	第七番學區下稻木村稻木小學校	同上	同	第九番學區入田村入田小學校	中等科ハ有田小學校ト聯合授業
同	第五番學區有田村有田小學校	同上	同	第十番學區大河村河戶小學校	中等科ハ吉濱小學校ト聯合授業
同	第四番學區用ノ江村	同上	同		

小田郡第三部聯合 (同上)

高中初等科	第三十番學區 矢掛村 矢掛小學校	高等科ハ矢掛小學 校ト聯合授業、以 下十五校之ニ同シ	同	第二十九番學區 江良村 江良小學校	中等科ハ山田小學 校ト聯合授業
初中等科	第十七番學區 走出村 走出小學校		同	第三十一番學區 東三成村 三成小學校	
同	第十八番學區 小田村 小田小學校	同	第三十三番學區 橫谷村 溫知小學校	中等科ハ高末小學 校ト聯合授業 同上	
同	第二十一番學區 東水砂村 水砂小學校	初等科	第三十五番學區 山田村 山田小學校		
同	第二十二番學區 星田村 星田小學校	同	第十九番學區 宇內村 宇內小學校	同上	
同	第二十三番學區 三山村 三山小學校	同	第二十番學區 黒木村 黒木小學校		
同	第二十四番學區 下高末村 高末小學校	同	第二十四番學區 宇戶谷村 宇戶谷小學校	同上	
同	第二十八番學區 內田村 內田小學校	同	第二十五番學區 烏頭村 烏頭小學校		
同	第二十九番學區 西川村 西川小學校	同			

後 月 郡 (明治十七年七月二十六日)

高等科 第一番學區 井原村

高中初等科	第一番學區 井原村 元之小學校	高等科ハ井原小學 校ト聯合授業、以 下二十校之ニ同シ	同	第四番學區 門田村 對龍小學校
初中等科	第二番學區 高尾村 有源小學校		同	第五番學區 木之子村 慎思小學校
同	第三番學區 上出部村 齋秀小學校	同	第七番學區 東江原村 江原小學校	

後 月 郡 (明治十七年九月二十二日)

初等科	第八番學區 西江原村 義之小學校	中等科ハ横葉小學 校ト聯合授業	同	第十八番學區 吉井村 化成小學校
同	第九番學區 山野上村 精徳小學校		同	第十九番學區 築瀨村 鼎足小學校
同	第十番學區 青野村 好間小學校	同	第十二番學區 花瀧村 花瀧小學校	中等科ハ横葉小學 校ト聯合授業
同	第十一番學區 宇戸川村 慶鳴小學校	同	第十三番學區 池谷村 欲齊小學校	
同	第十二番學區 種村 擴葉小學校	同	第十三番學區 佐屋村 佐屋小學校	同上
同	第十四番學區 東三原村 後湖小學校	同	第十三番學區 井山村 井山小學校	
同	第十五番學區 山鳴村 聖園小學校	同	第六番學區 大江村 大江小學校	
同	第十六番學區 川相村 忍讓小學校	同		

下 道 郡 (明治十七年八月二十二日)

高中初等科	第一番學區 岡田村 時習小學校	高等科ハ時習小學 校ト聯合授業、以 下十五校之ニ同シ	同	第十番學區 新本村 新本小學校
初中等科	第二番學區 川邊村 鳴川小學校		同	第十一番學區 山田村 弘道小學校
同	第四番學區 上二万村	同	第十二番學區 久代村 九城小學校	中等科ハ上原小學 校ト聯合授業
同	第五番學區 陶村 正讀小學校	同	第十三番學區 下倉村 倉山小學校	
同	第六番學區 服部村 育幼小學校	同	第十四番學區 原村 維新小學校	同上
同	第七番學區 尾崎村 明誠小學校	同	第十五番學區 福谷村 福谷小學校	
同	第八番學區 箭田村 日新小學校	同	第十七番學區 上原村 上原小學校	同上
同	第九番學區 市場村 育英小學校	初等科	第十六番學區 秦村 明道小學校	